7・18K・1ドリーム速報！アーツ、グレコを2RKO！

1999年8月12日発行（毎月第2・第4木曜日発行）第1巻・第3号・通算3号

SRS DX

Special Ring Side

スペシャル・リング・サイド

K-1 DREAM'99 完全速報

創刊第3号
1999
8・12
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

魔性のハイキック！グレコまでも…

K-1戦線、これでいいのか？

RANDA
666
AERTS

前田日明引退メモリアル

FIGHTING NETWORK RINGS 公認・選手入場テーマ曲集

RISE

前田日明のテーマ「CAPTURED」、田村潔司「FLAME OF MIND」、大会参加全選手入場テーマ「THEME OF RINGS」をはじめ、今や幻のA・カレリンのテーマ、山本宜久の新テーマ、さらには新たる時代を迎えたRINGSにふさわしい新・公式テーマなど御馴染みの曲から、6/24の後楽園ホール大会「RISE 4th」から正式に採用される新曲まで全18曲収録のなんと2枚組。RINGSの歴史と未来がここにある!

プロデュース：前田日明

PSCR-5774〜5　価格¥4,500(税込)

1999.8.1 OUT!

収録曲

DISC 1	DISC 2
RINGS公式テーマ.1 "VICTORY TRACK"	1.オープニング全選手入場テーマ "THEME OF RINGS"
田村潔司のテーマ.2 "FLAME OF MIND"	2.山本宜久のテーマ "BORN TO FACE THE PAIN"
髙阪剛のテーマ.3 "FIRST IMPULSE"	3.金原弘光のテーマ "A FATHER'S NIGHTMARE(DRAGON THEME)"
坂田亘のテーマ.4 "DEPENS ON"	4.ビターゼ・タリエルのテーマ "IN YER FACE"
ヴォルク・ハンのテーマ.5 "SECOND RENDEZ VOUS"	5.ギルバート・アイブルのテーマ "MAD HURRICANE"
ヴァレンタイン・オーフレイムのテーマ.6 "HIT OUT"	6.グロム・ザザのテーマ "KURSKI FUNK"
成瀬昌由のテーマ.7 "SPARKLE"	7.アレキサンダー・カレリンのテーマ "PERRY MASON"
滑川康仁のテーマ.8 "RUMBLE RUSH"	8.前田日明のテーマ "CAPTURED "
上山龍紀のテーマ.9 "BRUTAL THE FIST"	9.オープニング選手入場テーマ(NEW MIX) "THEME OF RINGS(RISE'99MIX)"

(注) DISC1-7の成瀬昌由のテーマのみイメージテーマです。

初回購入特典　1999.2.21横浜アリーナ前田日明vsアレキサンダー・カレリン戦
超特大A全サイズポスター（未発売・完全限定品）

初回特典の為、数に限りがございます。御近くのCDショップにての御予約をお勧めします。尚、御予約の際は品番「PSCR-5774〜5」を添えてお店の方にお伝え下さい。

CD発売記念イベント決定!　前田日明&RINGS JAPAN「トークライブ&握手会」

現・無差別級王者、田村潔司を筆頭にRINGS JAPAN勢があなたの街に登場!
過激なトーク必死!出るか、前田の重大発言!乞う御期待!
※HMV横浜は前田、田村のみ参加。※当日CD購入の方のみ、握手会に参加できます。

8/1(日) 神奈川・HMV横浜イベントスペース　15:00 START　8/2(月) 東京・池袋サンシャインシティ・アルパ噴水広場　18:00 START

FIGHTING NETWORK RINGS

RISE 5th　8月19日(木) 横浜文化体育館　18:00 OPEN 19:00 START

(株)リングス　株式会社ポリスター

SRS・DX創刊記念ショップ

WORLD SPORTS PLAZA

KINGS オープン

夏休み、池袋パルコが格闘技ワールドに変身！

7月31日(土)～8月31日(火)　池袋パルコ5F

日時未定
K-1 GIRLS

8.1（PM2:00～）
桜庭和志&松井大二郎（高田道場）

8.15（PM2:00～）
宇野薫（和術慧舟會）

8.22（PM2:00～）
小川直也（UFO）

8.29（PM2:00～）
エンセン井上&朝日昇&加藤鉄史
（PUREBREDシューティングジム大宮）

格闘家たちもサイン会とトークショーで電撃参戦！

（諸事情により、選手や日時が変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承下さい）

**ルミナー、カオルコも大集合！
Tシャツ、ビデオ、
『SRS・DX』バックナンバー、
格闘技グッズが大量に買える！**

問い合わせ先:
ワールドスポーツプラザ 池袋店
☎03-5391-8388

若者たちに大人気のスポーツ・ショップ『ワールドスポーツプラザ』池袋店（池袋パルコ5F）で、なんと夏休み中の7月31日(土)～8月31日(火)までの毎日、本誌『SRS・DX』創刊記念フェスティバルを開催することが決定した。『ワールドスポーツプラザ』とは、渋谷を中心に全国に10店舗以上もあるスポーツ・ショップで、メジャーリーグやNBA、サッカー以外にもプロレス・格闘技に力を入れており、スポーツマニアに限らずファッションに敏感な若者たちの流行の発信地となっている。最近、格闘技界でブームになっているTシャツも、K-1もの、修斗もの、パンクラスもの、プロレスものと豊富に取り揃えており、店内はストリート系の若者たちで常に賑わっている。その『ワールドスポーツプラザ』池袋店はこの期間、店内をオール格闘技コーナーにし、本誌のバックナンバー以外にフジテレビ制作のビデオや、グッズ、各団体のTシャツなどを大々的に売り出す。そして、毎週日曜日には大物格闘家を呼んでトークショーやサイン会を行う予定だ。もちろん、この模様はフジテレビ『SRS』でもオンエア。さあ、格闘技ファンよ、大山倍達も愛した池袋に集合せよ！

速攻

さすが石井館長！ 8・22有明で注目のカード画策
異種格闘技戦はオレにまかせろ！
佐竹VSグッドリッジ戦が浮上

10月3日、大阪ドームで開催される「K―1グランプリ99開幕戦」の代表選手を決める最後の大会が、8月22日有明コロシアムで「K―1スピリッツ99」と題して行われる。

とは言っても、この大会は日テレで放送するジャパンシリーズで「K―1ジャパングランプリ99」を中心に開催。優勝者1名が大阪ドームのキップと、賞金一千万円を手にすることができるイベントである。

トーナメントの出場予定選手には、武蔵、中迫剛、宮本正明、タケル、天田ヒロミの正道会館勢に加え、プロレスラーの安生洋二、長井満也、士道館の村上竜司、大石亨、キックボクサーの安部康博、港太郎。そしてチャクリキ・ジムで修行する日本人ノブ林、中国散打の選手が候補に上がっており、最終的には16名のトーナメントになる模様。いずれにせよ、立ち技格闘技「日本最強」を決めるのにふさわしいメンバーが揃うことは、まず間違いないだろう。

注目の佐竹雅昭は、今年のジャパングランプリには不参加。昨年すでにK―1グランプリのベスト8に入っており、大阪ドームのキップを手にしていることや、2年連続で同大会の優勝を飾っているため「後輩たちに胸を貸すつもりはない」というのが、本音のようだ。

しかし、佐竹はスーパーファイトに出場。なんと石井館長は対戦相手として、ゲーリー・グッドリッジの出場を『プライド』に打診したという。

グッドリッジと言えば『プライド6』で小川直也と対戦し、小川を光らせた個性豊かなバーリ・トゥードの喧嘩屋。その最も旬なグッドリッジをK―1の異種格闘技戦士・佐竹にぶつけようとするあたり、さすが石井館長は動きが早い。K―1と『プライド』はすでに、武蔵VSグッドリッジ、角田VS黒澤、ホーストVSボブチャンチンで交流済み。このカードに障害はないだろう。

もちろん、佐竹としても「異種格闘技戦はオレにまかせろ！」と受けて立つのは間違いない。グッドリッジに関しては、K―1にとっても因縁の選手。今年4月25日の「K―1リベンジ99」に初出場し、武蔵と対戦したのだが、1Rに金的蹴りの反則負けという前代未聞の結果を残した。勝ったとはいえ、武蔵はリングでしばらく失神。石井館長は「試合に勝って、喧嘩に負けた」と控室で武蔵をビンタするという一幕もあった。

正道会館としても、このままグッドリッジに対して黙っているわけにはいかない。そこでキラー佐竹の登場である。

佐竹はデビュー戦のニールセンとの試合で、頭突きをしながら1RでKO勝ちしたという喧嘩強さをここ一番で発揮する選手。リングスやK―1で異種格闘技戦を一番経験していることもあり、久々に佐竹の凄味が引き出される試合になる可能性は高い。これは久しぶりに緊張感の漂う試合となりそうだ。

またスーパーファイトには、アンディ・フグとマイク・ベルナルドの出場も決定。石井館長によれば「マット・スケルトンやロイド・ヴァン・ダム、そしてUFCでモーリス・スミスと闘うマルコ・ファスらの出場を考えている」と豪華なカードを用意しているという。当日は、日テレの24時間テレビ「愛は地球を救う」で放送される予定だ。

また、日テレの『超K―1宣言』で「ジャパングランプリ」の出場者を募集したところ、なんと150名の応募者が集まったという。そのため、「とても書類選考で決めるのはかわいそう」ということで、石井館長は9月15日に、代々木第2体育館で「K―1ジャパンオープン」という新しいイベントを開催することを決意。この大会は、応募した150名を階級別に分け、リングではなく、空手の試合場で試合をするというもの。そして、その上位入賞者に来年の「ジャパングランプリ」の代表権と新たに賞金を与えるという方向だ。

この「K―1ジャパンオープン」は、新しいグローブ空手のアマチュア試合として、新空手とは違った形で格闘技界に波紋を起こしそうだ。果たして、一気にK―1の底辺拡大なるか？

▼久々にキラー佐竹が見られるか？　グッドリッジとの対戦は非常に興味深い

▲マルコ・フアスは、7月16日アメリカで開催されるUFCでモーリス・スミスと闘う

キーパーソン

いったい、どうなるんだ!?　9・12『プライド7』
トーナメント開催の鍵を握るホイス
DSE、説得工作のために渡米!

小川効果でついに大ブレイクした7・4『プライド6』だが、次回興行は9月12日横浜アリーナで開催することが決定。小川や髙田がプロレス復帰の動きもある中で、いったいどんなマッチメイクが組まれるか、『プライド』にとっても正念場の大会になりそうだ。

　というのも、横浜アリーナクラスのキャパを埋める『プライド』を支えるファンは、大量のプロレスファンを動員しなければ成り立たない話。しかも『プライド6』では、前半の格闘家たちの試合がドロー判定ばかりで、大きなミソをつけた。『プライド』としては、なんとかしてプロレスファンに話題を提供できるカードを組まないと、いっぺんにブレイク前の状態に戻ってしまうことにもなりかねない。そこで、エンセン井上VSマーク・ケアー以外にも夢のカードをいくつ出せるかが勝負になってくるのだ。

　そのへんは『プライド』を主催するドリームステージエンターテインメント（DSE）も十分承知している。そこでDSEが現在考えているのが、K―1のようなグランプリ・トーナメントの構想である。

　DSE関係者によると、「トーナメントに踏み切るかどうかは、ホイス・グレイシー次第。やっぱり、柔術VSプロレスのコンセプトで始めた『プライド』がグレイシー柔術なしでトーナメントを開くのは、ファンも納得しないでしょう。ヒクソンは無理としても、ホイスはやる気があるので体調が回復するかどうかの問題なんです」と語る。

　そのため、DSEのブッカーはなんとしてもホイスを9・12横浜アリーナ大会に引っぱり出そうと、7月下旬に説得工作のため渡米した。ホイスは昨年痛めた腰痛で、まだ手にシビれが残っており、ヴァリッジ・イズマイウに柔術の試合で負けたこともあって、現在は復帰に対して慎重になっている。果たして、DSEは9月にホイスを引っぱり出すことができるだろうか。

　もし、ホイス出場が決まった場合、『プライド』は9月、11月の2回に渡って、16名の最強トーナメントを開催する。そして、1回戦ではできるだけ選手の意向に沿ったカードを組もうということで、いきなり「髙田VSホイス」、「エンセンVSケアー」、「桜庭VSフランク」といった夢のカードを実現させるつもりだ。

　もちろん、切り札である小川直也を再び『プライド』に上げるための交渉も継続するだろう。トーナメントの中で、「髙田VS小川」を実現させるのか、あるいはヒクソンを担ぎ出すのか、ぜひ注目したい。

　また髙田の近況に関しては、負けたとはいえ、ケアーと闘ったことがバーリ・トゥードに対する精神的な自信をつけ、今は「打倒ホイス」に一番、目が向いているという。もちろん本誌前号のインタビューでも再三語っていたように、良い形での交渉がもてればプロレスのリングにも上がる気持ちに変わりはないが、ホイスと対戦してグレイシー柔術を倒すことが髙田にとって、レスラー生活におけるライフワークとなりそうだ。

　そのため髙田は、8月からアメリカ・シアトルにあるモーリス・スミス・キックボクシング・ジムに行き、バーリ・トゥードのトレーニングに専念する。

　したがって、今のところ8・28新日・神宮球場大会に上がる話は微妙なところ。それに対し小川は、神宮球場大会、10・11東京ドーム決戦に出場するべくUFOと新日が再び交流するとも噂されているし、リングスでの小川VS山本戦も7月16日の時点では、まだ結論が出ていない。小川が髙田やホイスを目当てに『プライド』再登場となれば、グランプリはとんでもない夢のカードが連発しそうだが、それもホイス次第だ。

　しかし、『プライド7』には『プライド2』でマーク・ケアーに反則負けしたブランコ・シカティックが登場することはほぼ間違いないようだ。シカティックと『プライド』はまだ契約が残っており、シカティック自身も汚名返上とばかりに総合格闘技の練習に取り組んでいる。髙田、ホイス、小川、ケアー、エンセン、桜庭、フランク、シカティック、――果たしてこんな夢のようなトーナメントが本当に実現するのだろうか?

　すべては、ホイス次第だ。

◀本当にこれだけ凄いメンバーで、バーリ・トゥードのグランプリはできるのだろうか?　ホイスの交渉結果を待ちたい!

猪木イズム

「もう国内でUFOの興行はやらない」と断言！
猪木、北朝鮮平和イベントの参加リストに掣圏道の名前が

▼ＵＦＯの主戦場は海外！　を目論むアントニオ猪木とＵＦＯ軍団

小川直也が『プライド6』で大激闘を繰り広げていた頃、北朝鮮を訪問していたUFOアントニオ猪木会長。その猪木が7月10日に帰国し、小川の『プライド』次回参戦問題やリングス参戦問題に対して、まったく眼中にない素振りをしながら、またまた壮大なプランをブチ上げた。

猪木が今回、北朝鮮を訪問した理由は、4年前に開催した「平和の祭典」を再び開催しようというもの。95年4月28、29日の2日間に渡って催されたこのイベントには、なんと38万人の観客を動員。まさにギネスブックものの記録を打ち立てている。

今年3月に北朝鮮の不審船が日本領海を侵犯し、海上自衛隊が出動。威嚇射撃を行うという物騒な事件が起こったり、テポドンがいつ日本に飛んでくるかわからないと言われている現在の日朝関係だが、そこでプロレスをやるのが猪木イズムの真骨頂。

猪木は成田空港に集まった記者団に対し、「早い時期に開催したい。4年前の成功をこのままで終わらせたくないということで、今月中に検討して答えを出す方向に向かっている」と語った。

そもそも、現在の猪木は海外でのこうしたビッグイベントにしか目が向いていない。猪木UFOの新日本復帰の本当の理由は、この「平和の祭典」シリーズを成功させるためとも言われている。つまり、新日本とUFOが対抗戦をやることで、今の新日本に刺激を与えたいと考えているだけではなく、海外イベントに新日本の選手を使いたいという本音があるようだ。

その証拠に記者の質問に対し、猪木は「UFOの国内シリーズは考えていない」と明言し、北朝鮮でのイベントに関しても「みんなが参加できるものにしたい」とハッキリ断言している。その「みんな」とは、UFOと新日本を指しているのは間違いない。そんな猪木にとって、リングスや『プライド』はまさにどうでもいい話なのだ。

しかし、新日本が警戒しているのは、UFOとの対抗戦ではなく、むしろこの「平和の祭典」のほうだ。というのも、「新日本VSUFO」の対抗戦は、ドームのドル箱カードになるのは間違いないが、北朝鮮イベントではかなりの費用がかかる。4年前の前回イベントでは、2億円という大金が持ち出しとなった。蝶野ら三銃士が猪木UFO復帰を警戒しているのは、そんな背景があるからだ。

しかも、猪木は最近になってUFOを脱退し、北海道で「掣圏道」を旗揚げした佐山聡のことについても、スポーツ紙のインタビューで触れている。

UFOから離れたとはいえ、今でも連絡を取り合っているという猪木と佐山。また、頼まれれば断れない佐山が、再び「掣圏道」の選手を引き連れてUFOと合流する可能性もないわけではない。

実際、佐山は7月10日の旗揚げ戦を旭川で行った翌日、沖縄の「カキダミシ」という真樹道場主催のイベントに参加し、さらに夕方にはキックの先輩・藤原敏男のディナーショーにも出席しているのだ。佐山といえば、大の飛行機嫌いで有名で、めったなことでは飛行機に乗らない。その佐山が、北海道から沖縄、そして東京へ、自ら次々と飛行機で移動したというから、関係者もビックリしているほどである。

また、北朝鮮でのイベントとなれば、掣圏道の主力であるロシア人選手なら入国はさほど難しくない。すでに、猪木自身「佐山の掣圏道を通じて、ロシアから凄い実力をもった強豪が小川打倒に名乗りを挙げてくるだろう」と発言しており、メインイベントが決定している小川の相手は掣圏道の選手になる可能性も高い。そうなれば、UFOを出た佐山が、かつての弟子に自分の理想の格闘技で立ち向かうという、凄い構図となりそうだ。

それにしても、藤波新社長の政権交代→UFO新日本復帰に「北朝鮮イベント」という大変な火種も含まれている。リングス、『プライド』にとって猪木の動向は気が気でないはずだ。

▲佐山にＵＦＯ参戦のこだわりはないか？

▶ロシア人の掣圏道選手が小川に闘いを挑む？

復活

97オールジャパン倒産から約2年……

元ヤン魔裟斗で全日本キック復活
11月、5対5ビッグマッチ開催へ

　今から25年前、視聴率30%以上の数字を叩き出しプロレスを凌ぐ人気を誇った格闘技「キックボクシング」。キックの鬼・沢村忠から始まったこのキック・ブームは一時、民放5局すべてがゴールデンタイムで放送していた時代を、今のファンは信じられるだろうか。

　そのキックは、テレビ局の放送に合わせて団体が乱立し、ムエタイ500年の歴史を破って唯一の外国人王者になった藤原敏男の第二次黄金期が過ぎると、ブームはいっぺんに去って、テレビ局は全面撤退。その後も、団体は分裂を繰り返し、プロの格闘技でもインディー的存在になってしまっている。とくにK―1の登場もあって、今や「キックボクシング」という言葉より、「K―1」のほうが一般的に浸透する時代になった。

　それでも、90年代に入ってから、モーリス・スミスやドン・中矢・ニールセンがプロレスのリングで活躍し始めたことや、正道会館の佐竹雅昭がキックのリングに上がったことで日本武道館といった大会場でイベントを開催するまでに復活。立嶋篤史、前田憲作らのカリスマも現れ、テレビなしで第3次キック・ブームを迎えるまでに至った。

　ところが、その立嶋、前田らエースが勝てなくなり、さらに興行母体のオールジャパンが倒産すると、キック界は再び何度も分裂を繰り返すというドロ沼状態へ突入。現在は、①MA日本キックボクシング連盟、②全日本キックボクシング連盟、③新日本キックボクシング協会、④ニュージャパンキックボクシング連盟、⑤日本キックボクシング連盟、⑥J―NETWORK、⑦K―Uの7団体もあるというから、ファンにとって分かり難いのは無理もない状況だ。

　これらの分裂はとくに全日本キックの力が弱まって加速したものだ。それでも、連盟の金田敏男会長はシュートボクシングのシーザー武志やMA日本キックの山木敏弘代表と交流路線を敷くことで地道に活動。

　そして、今年に入って新たなスポンサーも決まり、東京・大久保に全日本キック連盟本部「作真会館・AJパブリックジム」を開設するまでに復興した。同ジムのコーチには前田憲作が就任し、現役選手として復活も宣言している。

　そして、後楽園ホールながら最近は毎回会場を満員にし、SVGをはじめとする主要ジムが全日本キックに戻り始めている。

　この全日本キック復活の兆しが見えたのは、やはり元ヤンキーのエース魔裟斗が頭角を現したことだ。修斗の佐藤ルミナや桜井速人らのカッコイイ系のスターが、キックにも出始め、修斗のような現象が生まれている。その主役が魔裟斗や小比類巻貴之の茶髪コンビだ。

　勢いに乗る全日本キックは、8月からも月イチのペースで後楽園ホールで興行を開催。8・17魔裟斗、小比類巻、立嶋、9・3土屋ジョー、金沢久幸、小林聡、10・8魔裟斗、小比類巻と実力者を毎回ラインナップ。そして11・22大会では、「日本VS世界5対5マッチ」を開催することが明らかになってきた。

　日本人5名は、魔裟斗、土屋、立嶋、小比類巻、金沢。そして、対する外国勢は、ランバー・ソムデートM16、ジョン・ウェインら強豪がリストアップされているという。

　この「日本VS世界5対5マッチ」に向けて今年の興行をすべてチケット完売にし、来年代々木第2体育館や横浜文化体育館に進出しようと企てる全日本キック。果たしてキック界の勢力図は再び変わるか？　とにかく、魔裟斗はぜひ一度チェックしていただきたい。

▲魔裟斗

▲土屋ジョー

▲立嶋篤史

▲金沢久幸

▲小比類巻貴之

遺恨

UFC・Jとの提携がついに発表された。そして、パンクラス、『プライド』へ宣戦布告 船木VS桜庭戦の実現はある！

本誌・創刊号でお伝えしたようにパンクラスとUFC・Jの提携がついに現実のものとなった。

パンクラスは7・6後楽園大会の前に記者会見を行い、パンクラス尾崎社長とUFC・J坂田晶プロデューサーが出席し、両者の業務提携を発表した。UFC・Jとは、97年12月21日に本場アメリカのUFCの「日本版」として横浜アリーナ大会を開催した組織。今思えば、桜庭和志（当時キングダム）がマーカス・コナンを破って日本人初のヘビー級チャンピオンとなり、ブレイクのキッカケを作った大会でもある。

しかし、UFC・Jは興行的には失敗し、その後新しい組織となって再スタート。尾崎社長とは、何度も意見交換を行った上で提携に踏み切ったようだ。

この提携が実現したことで、今後は①パンクラスの日本人選手によるUFC・J参戦と②UFCの選手によるパンクラス参戦の二つの可能性が浮上し、パンクラスの中でもパンクラス・ルール、パンクラチオン・ルール、アルティメット・ルールの3本立ての試合を展開していくことになった。

もちろん、パンクラスがこの提携に踏み切ったのは、『プライド』の存在があってのこと。実際、記者会見で一番注目された発言は、記者の「『プライド』への宣戦布告ということですか？」という質問に対し、坂田プロデューサーが「そう受け取って結構です」とキッパリ答えたこと。

また後楽園ホール大会終了後、船木は桜庭の挑戦に対して「受けて立つ」と語った。

これで総合格闘技界の編成は、大きく分けると『プライド』、パンクラス&UFC・J連合軍、修斗の3つになったと見ていい。今後はこの3つのグループで熾烈なサバイバル戦が繰り広げられる。

その中で、パンクラス連合軍と『プライド』のカギを握っているのが、船木VS桜庭戦である。『プライド6』のリング上で、桜庭が「船木さんと闘いたい」と発言したことに対し、パンクラス側は「ウチかUFC・Jのリングに上がるというのなら可能性はある」と示唆。『プライド6』の控室で桜庭は「船木さんとやるなら、『プライド』のリングで」と語っていたので、一見この対戦は実現が難しそうだが、本誌は可能性十分だと考えている。

というのも、桜庭が控室で「船木さんと闘うなら『プライド』のリングで」と語ったのは、試合後のリング上のマイクアピールで自身が「船木と闘いたい」と言ったとは思っていなかった時点での発言で、船木とやるのならパンクラスやUFC・Jのリングに上がることに対して特別な感情はないからだ。もちろん、それは高田にしても同じ気持ちだろう。問題は『プライド』を主催するDSEがどう判断するかにかかっている。

いずれにせよ、パンクラスに若手の豊永稔を出している高田道場としては高田―尾崎社長のトップ会談が早急に実現するのは間違いない。

また、UFCとUFC・Jの関係だが、UFC・Jは本場UFCの中のひとつのシリーズではなく、あくまで別路線のもの。お互いの協力関係はもちろんあるだろうが、UFC・Jが開催されることで、本場UFCの開催数が減るわけではない。坂田プロデューサーも「年間3、4大会を予定していて、そのうち1、2大会を、米国PPV（ペイ・パー・ビュー）を目的とした大会とし、あとは日本大会として開催を分ける」と発表している。

そして、当初は9月23日（木＝祝日）代々木第2体育館で旗揚げと思われていたが、パンクラスが9月4日仙台、18日NKホールでの開催が決まっており、もし開催が実現しても若手選手のみの参戦になりそうな気配。今のところパンクラス王者・近藤有己の出場がオクタゴンの闘いに興味をもっており、船木の参戦は「来年になりそう」だ。

▶船木誠勝は桜庭の挑戦に「パンクラスか、UFC・Jのリングならやる」とキッパリ

カン違い

桜庭、やっぱり「船木さん」と「フランクさん」を間違えていた！

7・4『プライド6』の翌日、新聞紙上で躍った「船木VS桜庭実現」の文字。事の起こりは、ブラガに完勝した桜庭が試合後のマイクアピールで「頑張って船木さんに勝ちたいです」と発言したことに始まった。試合後の控室でも記者の質問は船木戦に及んだのだが、当の桜庭はポカンと口を開けて、「ボク、そんなこと言いましたっけ？」と不思議がっていたが「でも、やるのなら『プライド』のリングがいいですね」と答えた。

ところが、翌朝のスポーツ紙を見て桜庭本人がビックリ。じつを言うと知人から「なぜ船木さんと闘いたいって言ったの？」と聞かれて、初めて自分が「フランクさん」ではなく、「フナキさん」と口にしていたことに気づいたのだった。考えてみれば、フランク・シャムロックにリング上で挑戦を表明されておいて、「船木さんに勝ちたい」と言うのもおかしな話。桜庭は本誌関係者にも、しきりに「ラ行をもっとハッキリしゃべれるようにします」と反省していた。それでも「船木さんとももちろん闘いたいし、いつかはそのチャンスはあると思う」という気持ちに変わりはないそうだ。

▶相変わらずマイペースの桜庭。桜庭らしいエピソードがまたひとつ増えた

◀このグラウベが世界大会ではフィリォ以上の怪物になる

謎

想像を絶する秘密特訓をしていることをキャッチ！
磯部師範がグラウベに課した秘密特訓は花形満の鉄球特訓か!?

6月12〜13日、大阪府立体育会館で行われた第16回全日本ウェイト制大会で、18名の世界大会日本代表メンバーが最終決定した極真空手（松井派）。

すでにヨーロッパ大会、アメリカ大陸大会も終了し、11月5〜7日の3日間に渡って東京体育館で行われる世界大会に向けて、世界各国の代表選手は特訓に入る時期。日本代表メンバーは、7月30日から3日間、福島県のいわき健康センターで夏季合宿を実施する予定だ。

ところで、極真空手の世界大会に向けてファンの関心も日に日に高まる中で、本誌は聞き捨てならない情報をキャッチした。なんと優勝候補の一人あるグラウベ・フェイトーザが、フィリォのチューブトレーニング以上の想像を絶する秘密特訓をしているというのだ。

南米ブラジルでフランシスコ・フィリォ、アデミール・ダ・コスタといった怪物を次々と生み出した磯部師範は、極真空手の専門誌『ワールド空手』（ぴいぷる社発行）で、そのことを匂わせている。

「過去を振り返って考えてみれば、時代によって組手も徐々に変化し、レベルも高くなってきた。だから、例をあげればアデミールに足りなかったものがチューブトレーニングでフィリォに加わった。しかし、それでも足りなかった。今ではフィリォの組手もかなり研究されているので、同じことを練習、特訓して終わっていては意味がない。だから、今度はグラウベにフィリォが足りなかった部分を補うために特訓を施しているというわけです。特訓の内容？　チューブトレーニングはもちろんやっているけど、それ以外は世界大会まで絶対に見せないし、言わないし、嗅がせもしない。他の人に『えっ、ここまでブラジルはやっているのか！』と思わせるのが進歩だと思っているからね。しかし、グラウベが特訓の成果を発揮できるかどうかは分からない。それを見せる前に優勝してしまうかもしれないから……」（『ワールド空手』8月号より抜粋）と磯部師範は激白する。

それにしても、さすがは磯部師範だ。世界広しと言えども、いまだに師・大山倍達の超人追求を真剣に守って実践しているのは、磯部師範しかいない。

磯部師範は、レールで吊り下げた可動式サンドバッグや『巨人の星』の大リーグボール養成ギプスを連想させるチューブトレーニングといった独創的なトレーニング方法を編み出して怪物を作り上げてきた。初めてチューブトレーニングが公開された時は、日本の格闘技界に大きな衝撃を与えたものである。

では、そのチューブトレーニングをはるかに超える秘密特訓とはいったい何なのか？　もしや『巨人の星』で大リーグボール1号を破るために花形満が行った鉄球特訓か？

鉄球特訓とは、鎖で吊された鉄の球を振り子のようにスイングさせ、鉄のバットで打つ瞬間に振り抜くという恐ろしい特訓。劇画では、花形満が大リーグボール1号をこの特訓によって破った瞬間、全身がボロボロになり、長期入院を余儀なくされている。

これを空手に当てはめると、鉄球を磯部師範が至近距離から思いきり投げ、それをグラウベが体で受け止めたり、突きや蹴りをぶつけていく特訓ではないかというのが本誌編集部の推理である。

そこで、どうしても気になったので磯部師範に確認すべく国際電話をかけてみた。

――もしもし、磯部師範ですか？　『ワールド空手』にグラウベが秘密特訓をやっていると書いてあったんですが、やっぱり教えてくれないんでしょうね。

磯部　ダメダメ！　世界大会まで一切秘密！　門外不出！

――磯部師範、もしかしてグラウベの体に鉄の球を投げつけていませんか？

磯部　ガハハハハッ、そんなことない、普通の特訓（笑）。

――あ、でも、電話の向こうで獣のような声が……。

磯部　シィーッ！　いやいや稽古してるだけですよぉ。

――ぜひヒントだけでも。

磯部　ダ〜メだって。ところで用事は何？

――だから、それを聞きたいんです。じゃあ、次に日本に来た時に教えてください。

磯部　世界大会まではもう日本に行かない。特訓に次ぐ特訓の毎日なんだから日本に行ってるヒマなんかないですよ。こっちに来たって絶対に見せないからね。用がないんだったら電話切りますよ（ガチャン！）

●

以上が磯部師範との会話。ただでさえ、今年の世界大会はフィリォかグラウベが優勝すると思っていたが、これで彼らのどちらかの優勝は間違いないと確信した。読者の中で、グラウベの特訓が想像できた方は、『SRS・DX』編集部「グラウベ秘密特訓」係まで。正解者には世界大会終了後、豪華賞品をプレゼント!?

▼サンドバッグに「数見肇」の顔（へのへのもへじ）を描いて弟子に蹴らせる磯部師範

◀このグラウベが世界大会ではフィリォ以上の怪物になる

日清カップヌードル
K-1 DREAM'99
7.18★名古屋レインボーホール

アーツが本気でビビった!

グランプリ直前の大一番
グレコの打倒アーツへの道

グレコのローキックにアーツの顔がゆがむ。
アーツのこんな顔も珍しい！

この顔でグレコの明日が見えた!

アーツ、自信タップリ そのオーラは誰もかなわない

今年は宣言する GPは私が優勝します！

「今年のグランプリでは必ず優勝する」と宣言したグレコ。今日のアーツ戦でK—1の流れを変えるつもりだ

気合い満点のアーツの全身からオーラが漂っていた。最近アーツはほとんどヘラヘラ笑わなくなっている

◀闘志満点のグレコがプレッシャーをかける。見よ、この表情を！

◀昔のように振り回すパンチだけじゃない。グレコのワンツーが、アーツの顔面を襲う！

◀グレコの右ローキックでアーツの顔がゆがむ。その顔は脅えていた

　K—1の中で「絶対君主」のように君臨する王者ピーター・アーツは、現在8連続KOの記録を更新中。もはや、K—1のテーマが「打倒アーツを果たすのは誰か」にあることは、『コロコロ・コミック』を読んでいる子供たちでも知っている話である。

　そして、その打倒アーツに一番近いのが、福岡大会でベルナルドに勝ったサム・グレコ。しかも、ホースト、ベルナルド、アンディと比べても、グレコはまだアーツと一度しか闘っていないため新鮮味がある。なんと言っても、前回の対戦はもう4年も前の話になるのだ。あの時グレコは、まだK—1三戦目という未熟者だった。

　だが、この試合には震えた。なぜ震えたかというと、2人には歴然とした実力差があったにもかかわらず、グレコは何度も立ち上がってアーツに向かっていったからである。

　それは、まるでマシンガンを持ったアーツに、グレコが竹槍で向かっていくような、そんな姿にもダブって見えた。しかもファンは、その竹槍特攻隊のグレコが、自分自身に重ねて見えてきたのだ。「俺はあの状況でグレコのように立つことができるだろうか」「向かっていくことができるだろうか」そんな思いでグレコを見守っていったのである。

　グレコがその時もっていた唯一の武器——それが「カラテ・スピリット」だということが、我々の心にいっそう染みる思いがしたのだった。

　しかし、あの時のアーツとグレコはまるで別人となって4年後に出会う。グレコもあれから、アンディ、バンナ、フィリオ、ベルナ

日清カップヌードル
K-1 DREAM'99
7.18★名古屋レインボーホール

アーツが両手を広げて苦笑い! 効いてる、効いてるぞ

▶「効いていない」と両手を広げるアーツ。だからこそ効いているのだ

今日も冴え渡る石井和義館長の挨拶全文

名古屋の皆様、本日は御来場、まことにありがとうございます。心より御礼申し上げます。ありがとうございました!!(場内大拍手)本当にあのー、暑いなか、車も凄い渋滞して、本当に間に合うのかな、と心配していた人もたくさんいると思うんですが、本当にこうしてここ名古屋で、また名古屋の聖地、このレインボー(ホール)で。僕、この会場が大好きなんですよ。あのー、上にいる人、見えますかあ?(上方の観客の「見えるぞー!!」の声) 大丈夫ですかあ!?(場内大拍手) あのー、今年はこのスーパーファイトと、そしてトーナメント、すべての選手がですねえ、12月の東京ドームに向けて、ホントに体調万全で、ホントに凄い厳しいトレーニングを積んでます。その成果を、トーナメントの選手は3分2ラウンド、そしてワンマッチの選手は3分5ラウンドの間に、自分のすべてを懸けます。一瞬たりとも、これは見逃せません。どうぞ最後まで、選手への熱い声援をお願いします。みなさんの声援が選手の勇気になります。よろしくお願いします。以上、ありがとうございました!!

◀闘志満点のグレコがプレッシャーをかける。見よ、この表情を!

◀昔のように振り回すパンチだけじゃない。グレコのワンツーが、アーツの顔面を襲う!

◀グレコの右ローキックでアーツの顔がゆがむ。その顔は脅えていた

「今年の

しかし、あの時のアーツとグレコはまるで別人となって4年後に出会う。グレコもあれから、アンディ、バンナ、フィリォ、ベルナルドといった強豪と闘い、キャリア26戦の立派な「K―1ファイター」に変身した。

そういえば、4年前のグレコはアーツ戦に空手衣を着て入場してきたが、今回はフード付きのコートを着て入場。それだけでも、この一戦は4年前とまったく違う闘いであることを象徴していた。

試合前、グレコは言った。

「今度のアーツ戦はボクが勝たないと、今年のK―1が面白くなくなるのは十分わかっている。そのためにもボクはアーツを倒すよ。そして、これは初めて言うけど、今年のグランプリはボクが優勝すると宣言させてもらうよ」

今まで、巨人の広沢のように期待されながら、期待に添えないグレコが初めてこんなセリフを言うようになった。そう、そのとおりなのだ。グレコが勝たないことには、K―1は面白くないのである。

しかし、入場してきた時のアーツのオーラは、そんなグレコをも圧倒していた。

意外なことに、格闘技の試合でどちらが勝つか、素人でも分かるのは、この選手のオーラがすべてを物語っているからである。

しかも、試合前のアーツは憎いほど余裕だった。実はアーツは3週間前の練習で左小指を脱臼し、スパーリングなしでこの試合に臨もうとしていた。驚いたことに、アーツは試合前にわざわざグレコにそれを言いに行っているのだ。

「サム! 今回はボク、小指をケガしちゃってるから、キミも結構チャンスかもよ」

まるで黒澤映画「椿三十郎」のラストシーンを見るようだった

◀ハイキックを打った後、アーツの体はすでに流れていった

◀ロープにしがみつき、必死に倒れまいとするグレコだった

◀まるでコマ送りのように崩れ落ちてしまった。ああ～

▲これがフィニッシュとなった右ハイキック。グレコの右ストレートを食いながらも、テンプルにヒット。たった一発で試合を決めた

★第10試合（K-1スーパーファイト・3分5R）
○ピーター・アーツ（2R1分38秒、KO勝ち）サム・グレコ●
（オランダ）　（オーストラリア）
※右ハイキック

そんなアーツをグレコは、「どうせウソに決まっているだろう」とまるで信じなかったという。

対するグレコは絶好調。「調子がいいことは、ボクと闘わなければならない彼にとって、いいことだね」と余裕なのである。

正直に言って、今回はやはりグレコに勝ってほしい。竹槍しか持っていなかったグレコが、アーツと同じくらいの武器を携えた。その分だけ感情移入はできなくなったが、K－1のためにとにかく勝ってほしかった。ファンとは常に強い者を求める一方で、波乱を見たい気まぐれな存在なのだ。

その期待を、グレコはやはり破らなかった。試合が始まるや、グレコはアーツと互角のプレッシャーをかけ合いながら、それでいて4年前のような無謀な攻撃はしない。

アーツのストレートに、左ミドルを合わせたり、アーツの出鼻を内股ローキックで見事にくじくのだ。特にローキック3発で、アーツの体は完全に流れた。

効いている。効いている！

アーツは思わず、下がって両手を広げて効いていないのポーズ。これに館内はどよめいた。1Rから完全にグレコのペースだ。

グレコのローキックに、グレコのプレッシャーに、アーツはマジで脅え、痛そうな顔をする。あの自信タップリのアーツの顔が、遂に変わったのだ。

いける。これはいける。そう思った2Rだった。グレコのワンツーがアーツの顔面を襲う。アーツの頭が、左ジャブ、右ストレートで大きく後ろにのけぞる。そして、アーツは大きく後退するかと思い

日清カップヌードル
K-1 DREAM'99
7.18★名古屋レインボーホール

「なんで止めるんだ!?」

「GPはもう少しハードなトレーニングをするよ」

コマ送りで崩れ落ちるグレコ

◀試合後、「オレはまだ闘える」と主張するグレコ

◀ハイキックを打った後、アーツの体はすでに流れていった

◀ロープにしがみつき、必死に倒れまいとするグレコだった

◀まるでコマ送りのように崩れ落ちてしまった。ああ〜

▶一体、誰がこの男を次に倒すのか？

石井館長自身「ベスト興行」と語る今大会は、本当にレベルの高いK-1らしい試合ばかりだった

▶会場には極真のフランシスコ・フィリォとニコラス・ペタスも来ていた

マクドナルドのセコンドに就いたアンディは、「K-1の次世代が成長しているのは、K-1が成長している証拠。マイケルは、1、2R良かったけど、3Rにミスを犯した。また自分をコントロールする力が足りないようだ」と語った

で大きく後ろにのけぞる。そして、アーツは大きく後退するかと思いきや……。

アーツの頭は後ろにのけぞりながらも、右のハイがまるで「肉を斬らせて骨を断つ」かのようにグレコのテンプルを襲った。

まさに魔性のハイキック――。グレコは、それでも倒れまいとフラフラ2、3歩よろめき、ロープをつかむようにマットに崩れ落ちていった。

ああ、なんとあっけないことか。それは黒澤明監督の映画「椿三十郎」で三船敏郎が仲代達也を一瞬のうちにブッタ斬り、仲代の体から血しぶきが飛び散ったラストシーンを思わせる結末だった。あのグレコまでもが、アーツに返り討ちにされてしまったのである。

もはや、今年のグランプリは、アーツの独走か？　いや、そんなことでは、K-1はつまらない。そして、僕が真っ先に目が行ったのは、会場に来ていた大男だった。その男の名前は、ジェロム・レ・バンナ。この日、バンナはトーナメントに出場したフィリップ・ゴミスのセコンドとして、会場に久しぶりに姿を現していた。

試合2日前、僕はバンナを見て驚いた。なんと体重が125キロもあるというではないか。あのアーツよりも20キロも重いのだ。「サムの試合を見てますますK-1に上がりたくなった。アーツとは、1回戦でも決勝でもいい。勝つのはオレだ。5Rまで行かずに倒すよ」と試合後に語ったバンナ。

もう、この男に賭けるしかないのか。石井館長、なんとしてもバンナの復帰を！

（谷川）

▶アーツのコメント

これからのサムはどんどん良くなるでしょう

—フィニッシュのハイキックは狙いどおりでしたか。

アーツ　特にあの瞬間を狙ったというよりも、それ以前にローキックを何発か出している時にサムのガードが下がってきたのが見えていたので。

—ほぼ同時にワン・ツーの右を打たれながら、ハイキックをカウンターで出しましたけど、あのパンチはどうだったですか。

アーツ　一回は非常に強いパンチをもらいました。あとのパンチも今までのサムと比べると、技術的に非常に巧くなったなっていうことを感じさせるようなパンチでした。

—1Rの終わりぐらいに相手の右ローを集中的にもらいましたが、あれは効いていなかったですか。

アーツ　1、2発、いいのが入ったなという気はしますが、それ以外は特に威力のあるものではなかったです。ただ、今日のサム選手の戦略は良かったと思います。あと、インサイドにも何発かローをもらいましたが、まだ試合の始まりだったので、自分としてはなんということもなかったです。

—今日はボディから崩していく作戦だったのでしょうか。

アーツ　作戦というか、ボディを狙っていけば、そのうちサムのスタミナもパワーも衰えてくるだろうということもあって、あとはボディだけでなく頭、脚と巧い具合にバランス良く攻撃ができたと思います。

—グレコ選手は以前闘った時と比べて、どんな部分が成長していましたか。

アーツ　去年までは正直言って、代わり映えしないなという印象だったんですけれども、今回の試合と前回のベルナルド選手との闘い方を見て、非常に進歩したなと思いました。それは、同じスタイルでずっと闘ってきたサム選手が、戦略をもって闘うようになったというところが大きな進歩だと思います。今までとは違ったファイティング・スタイルになったということで、これからサム選手はどんどん良くなると思います。

—左手の状態はどうですか。

アーツ　前からそんなに良くなかったけれど、闘いが終わってさらに状態は良くなくなったようだね（笑）。

—以前、アーツ選手が「グレコ選手は勝ちたい気持ちが出ている時と、そうでない時がある」と言っていましたけれど、今日のグレコ選手に「勝ちたい気持ち」は感じましたか。

アーツ　今日は非常に気持ちが乗っていたと思うし、やはりいい戦略を立てて「勝ちたいという気持ち」が前に出てる時っていうのは、サム選手は非常にいい闘いをします。

—グレコ選手の技で警戒していたものは何ですか。

アーツ　すべての技に注意しなければいけないなっていうのが率直な意見です。やはりサム選手は非常に強いパンチとキックをもっていますから、何か一つを警戒するというのではなくて、すべてに警戒心をもって闘う必要があると思います。

—9連続KO勝利ですが、それについてはどう思いますか。

アーツ　特にそういうことは意識していません。もちろん闘うたびに勝てるということはいいことですけれども、連続してKOで勝つとか、そういうことは特に意識していません。

—グレコ選手は試合前に「アーツ選手にどんどんプレッシャーをかけていきたい」と言っていたんですけれども、プレッシャーは感じましたか。

アーツ　プレッシャー自体はあんまり感じませんでした。それよりも自分が彼にプレッシャーを与えていたんじゃないか、と。サム選手はご存知のように爆発的な力があるので、そういう意味で一気に試合が決まる可能性はありましたけれども、今日に限っては特に彼のプレッシャーがどうこうというふうには感じませんでした。

—これだけ連続して勝っているということは、いろんな面で充実している証拠だと思うんですけれども、何が一番影響していますか。

アーツ　すべてがいい状態にあるという一言に尽きるね。やっぱりジムの環境やトレーニングの環境が非常に良くて、以前の自分だと「もう自分は完成された」とか「頂点に立った」という意識があったんですけれども、今の自分はもっと進歩する余地がある、もっと上に行く余地がある、まだ学ぶべきことがあるという気持ちにジムやトレーナーがさせてくれているのが、いい結果につながっているのだと思います。

—ディフェンディング・チャンピオンとして今年のトーナメントに臨むことになるんですけれども、何か期することはありますか。

アーツ　今までどおりのトレーニングを続けて、もしかしたらもうちょっとハードなトレーニングをして闘いに臨みます。

▶グレコのコメント

ベルナルド戦の時のダウンより
ダメージはなかった。
自分はしっかりしていた

—試合前に「プレッシャーをかけて攻めていく」と言っていたんですけれども、そのへんはどうでしょうか。

グレコ　今日お見せした闘い方が自分が言うプレッシャーというものでした。

—実際に立てていた作戦と、それがうまくいったかどうか教えてもらいたいんですが。

グレコ　自分の立てた戦略どおりにうまくいっていたと思います。ピーターは前に踏み込んで攻めてくるって分かっていますから、その脚を止めることもできました。前回ベルナルド選手と闘った時も楽な気持ちで闘えたんですが、前回と同じような精神状態で今日も闘えて、いい調子だなと思いました。

—どちらかというと、今日はローキックを重視して闘っていましたか。

グレコ　ローだけに集中していたわけではなくて、考えていた闘い方の中の一つにローキックが入っていたということです。たぶん、ピーターは否定するかもしれませんけれども、何発か自分の出したローキックで彼の脚はだいぶ傷んでいたはずです。それは当たった瞬間のピーターの顔を見れば分かると思います。痛いという顔をしていましたから。今日、最後まで結果が自分のほうに来なかったのは、パンチも良かったんだけれども、ちょっとしたタイミングのズレとかそういうことでいい結果につながらなかったのだと思います。トレーニングで今日は10R、20R闘っても大丈夫なくらいいいコンディションに作ってきたつもりです。トレーナーのほうからは「今日は戦争になるから、そのつもりで行け」と言われて、その戦争に耐えるだけの準備もしてきましたし。とにかく試合中、自分は何をしているのかとか、何が起きたのかということは全部分かっていて、ハイキックが入ったこともダウンしたことも、ちょっと早かったと思うけれどもレフェリーがストップしたこともすべてちゃんと自覚していましたし、自分の頭はしっかりしていました。

—前回のベルナルド選手との試合もタフな試合だったんですけれども、そのダメージが少し残っていたということはありますか。

グレコ　マイクとの試合でのダウンは非常にダメージの大きいものでした。世界がどうなったのかまったく分からないぐらい、その瞬間はグラグラッときていました。でも、前回の試合のダメージは残っていませんでした。

—最後のハイキックは予想がつかなかったですか。

グレコ　キックが入ってしまったということは、ある意味ではビックリする結果だったというのも分かっていただけると思います。まあ、今日の結果に関しては、とにかくピーターのいいキックが入って、それを自分がもらってしまったという一言に尽きるわけですから、ここで「あの時はこうだった」とか「こうでした」という解説をどれだけしても、これからの自分には何の糧にもならなくて、何が必要かといったら今ここでスッパリと切り替えて次のグランプリに向けて、気持ちと体を整えることが大切なことですから。回想しても仕方がないということです。

—試合前は「今年のグランプリは自分が優勝する」と言っていたんですけれども、今日の結果を受けても、その気持ちは変わらないでしょうか。

グレコ　前回の試合の後に「今年のK－1のチャンピオンに向かって本気で邁進する」と言いましたけれども、本当にその気持ちは変わっていないです。たとえ今日の試合に勝とうが負けようが、変わりないし、今も変わっていません。これは自分自身との約束でもあるし、ファンの皆さん、家族、そしてトレーナーと約束した気持ちが一番大きいんですけれども、とにかくチャンピオンになるためだったら自分はどんなトレーニングでもするし、万全に整えてグランプリに臨みたいと思います。

日清カップヌードル
K-1 DREAM'99
7.18★名古屋レインボーホール

ホースト、"北の最終兵器"
ボブチャンチンを破り暗闇にピリオド

イゴール・ボブチャンチン(左)を破り連敗から脱したアーネスト・ホースト。久々の笑顔を見せた

お帰りなさい、Mr.パーフェクト!

WELCOMEBACK MR.PERFECT!

「ようこそK−1へ」VT系キックボクサー、ボブチャンチンにローキックの洗礼!

▶ローキックの集中打で徐々に豪腕バーリ・トゥーダーを追い詰めていったホースト。動きに固さはあったが、やはり実力は筋金入り

▲持ち前のパンチ力でホーストを苦しめたボブチャンチンだが、苦手なローキックでついにダウン。K−1の手厳しい洗礼だ

★第8試合（K-1スーパーファイト・3分5R）

○**アーネスト・ホースト（3R0分51秒、KO勝ち）イゴール・ボブチャンチン**●
（オランダ）（ウクライナ）

※右ローキック。3Rにボブチャンチンは右ローキックで2度ダウンを喫した

「お待たせしました。また戻ってきました」

大会前日の記者会見での、アーネスト・ホーストの第一声である。昨年のGPでは突発性アレルギーに悩まされ、体調不良のまま準決勝で敗退。さらに4・25『K−1リベンジ』では、子供が生まれる直前で不安定な精神状態のままリングに上がり、フランシスコ・フィリォに衝撃的なKO負けを喫した。一体、ホーストにとってこの数ヵ月はどれほどつらいものだったのだろう。一時は引退すら考えたという。だが、ホーストはリングに戻ってきた。病気は完全に回復、激減していた体重も全盛期の98キロに戻っている。

ホーストの対戦相手は、イゴール・ボブチャンチン。ウクライナ出身のキックボクサーで、ロシアの『アブソリュート大会』や『プライド』など、数々のノールール系大会を、その拳一つで渡り歩いてきた強者だ。

やはり、それだけの強豪と、しかも失神KO負けを喫した後の復帰戦で対戦するからだろうか、ホーストの表情はいつになくこわばっているように思えた。超満員の観客からの大歓声も、まるで耳に入っていないかのようだ。

そんなホーストに、ボブチャンチンは容赦なく襲いかかった。身長176センチと、決して体格に恵まれているとはいえないが、サンボで鍛えたという屈強な肉体すべてをホーストに叩き付けるようにパンチを放っていく。またしても、ホーストに悪夢が訪れてしまうのか…。

だが、動きに若干の固さを残し

日清カップヌードル K-1 DREAM'99
7.18★名古屋レインボーホール

K-1ルールでも、ボブチャンチンはいかんなくその豪腕ぶりを発揮してみせた

▲ホーストは入場時からこわばった表情を見せていた。復帰戦への緊張感だろうか?

倒れるときにも前のめり!
ボブチャンチンのガッツにK-1ファンも驚愕!

愛する我が子へ歓喜のダンスを

久しぶりに見るホースト・ダンス。みんな、これを待っていたのだ

▼ダウンしながらもタックルを見舞っていったボブチャンチン。凄まじいまでの闘争心だ

実に9ヵ月ぶりの勝利を飾ったホースト。完全復活の日は近い

たが、動きに若干の固さを残しつつも、ホーストはその"闘う精密機械"ぶりを発揮してみせた。ボブチャンチンの弱点を足だと解析すると、ローキックの集中打を浴びせる。ボブチャンチンはホーストの蹴り足を掴んでのタックル→投げを盛んに放ってきたが、それも首相撲からのヒザ蹴りでいなした。

そして最後はローキックで三度のダウンを奪い、KO勝ち。ボブチャンチンが三度目のダウンを喫した瞬間、ホーストは昨年のGP開幕戦以来9ヵ月ぶりのホースト・ダンスを踊った。「今日のダンスは生まれてきた子供のためのもの」という特別の、そして会心のダンスだ。久々の勝利に安堵したのか、ホーストはその頃になってようやく笑顔を見せてくれた。

試合後のインタビューで通訳を担当した女性が、こんなことを言っていた。

「こんなに饒舌なアーネストを見るのは初めて。かなりテンションが高かったですね」

この言葉からだけでも、この勝利がホーストにとってどれだけ価値のあるものだったかが分かる。

確かに、この日のホーストはまだ本調子ではなかったかもしれない。勝ったとはいえ、ボブチャンチンのパワーと驚異的な粘りに苦戦を強いられてしまったのだ。本人も、細かいテクニックやコンビネーションの点で、まだ100%の状態ではないと言う。

ただ、これだけは言える。この日の勝利が、そして観客の「お帰りなさい」の拍手が、今後ホーストが完全復活を果たすための、大きな力になるのだ。

(橋本)

ホーストのコメント

まだ100%ではないですが、復活したと思って下さい

――快勝だったと思いますが、ボブチャンチン選手の印象はどうでしたか。

ホースト　凄く強いパンチをもっているな、というのが印象でした。もし自分が前回のフィリォ戦のような精神状態で闘っていたら、今回も前回のような結果になっていたかもしれないと思うくらい、相手のパンチは強かったと思います。

――3ヵ月前と比べて、どのようにして精神状態を建て直したんですか。

ホースト　前回の試合が終わった後、しばらくの間は、精神状態を落ち着けようということでリラックスしていました。その間に、ダメージがあったかもしれないということで、頭部のCTスキャンを撮って、チェックをしました。その結果問題がないという確認が取れた段階でウェイトトレーニングを開始しました。やはり、ウェイトがずいぶん落ちていたので、通常のウェイトに戻すために、ウェイトトレーニングをまずして、その後、ここ4、5週間前からキックボクシングのトレーニングを始めました。トレーニングを再開してすぐに、自分の調子が非常にいいということを実感できました。ですから、今この時期に闘いのリングに戻って来たというのは非常にいいタイミングだったと思います。

――前回の負けが負けだっただけに、今日の勝利のダンスというのはすごく嬉しかったと思うんですけども、その感想を。

ホースト　あのダンスは私の赤ちゃんのための、子供のためのダンスでした。

――相手がタックルを多用するようなファイトスタイルだったんですが、戸惑いはなかったですか。

ホースト　自分にとってのより良いゲームプランというのは、やはり時期を待って、じっくりタイミングを計って動くということでした。またボブチャンチン選手に関しては、足への攻撃が弱いんじゃないかということで、ローキックを意識して出しました。多分、もし彼とパンチで闘おうとしていたら、もっと苦しい試合になっていたかもしれません。やはりボブチャンチン選手は、あまり足への攻撃には慣れていないようでしたから、キックに集中して攻撃したのは正解だったと思います。

――この勝利で、自分自身が復活したと言えると思いますか。

ホースト　もちろんです。復活したと思っていただいて結構です。そして、もう2度とどこかよそへは行きませんよ。今年、自分の最大の目標に掲げているのは、やはりもう一度K-1のチャンピオンになるということです。もちろん、タフなファイターがたくさんいますから、非常に困難だとは思いますけど。私自身、まだ今の状態が100%だとは言えないでしょう。でも、12月5日、つまりグランプリ決勝戦の日には、100%の自分に、一昨年チャンピオンになった時のアーネスト・ホーストに戻って皆さんにお目にかかれると思います。

――体重自体はK-1チャンピオンになったときの体重に戻ったと思うんですけど、他に何が戻りきれていないと思いますか。

ホースト　細かいところなんですけども、コンビネーションの感覚とかカウンターパンチとかそういうもののバランスですね。もっとトレーニングを重ねて、そういうものをきちっと取り戻したいです。

――2人目のお子さんが生まれたばかりだと思うんですが、今回コンディション作りなどの最中に、赤ちゃんの泣き声は全然気にならなかったですか。もう慣れましたか。

ホースト　2番目の赤ちゃんは、前回フィリォ選手に負けた日から数えて5日後に生まれたんです。その頃はまだトレーニングを始めてなかったわけですから、まったく邪魔にはならなかったです。

ボブチャンチンのコメント

とても刺激になる試合でした。ホースト選手とはまた闘いたい

――試合の感想からお願いします。

ボブチャンチン　力の限り、自分のできるすべてを見せようと思って頑張ったんですけれども、たくさん攻撃を受けてしまいました。次回のK-1の試合までには必ず準備をして、それでまたホースト選手と闘いたいと思います。

――やはりこのようなK-1ルールと、バーリ・トゥードルールの試合をやるのとでは勝手が違うのですか。

ボブチャンチン　その違いは凄く感じました。

――今はどちらの方が好きですか。

ボブチャンチン　もちろん、K-1です。K-1の方がいいと思うんですけれども、ただ、バーリ・トゥードの方は寝技とかも出来ますし、やはりそちらのほうでの自分の戦績もかなりありますから、そういった意味では確かにバーリ・トゥードも悪くないというか。

――今日の試合を見ていて、VT的な動きが見えましたが、やはり体が自然に動いていたということでしょうか。

ボブチャンチン　そうですね。かなり自動的に体が動いてしまっていました。技術的にもVTとK-1とではかなり違いますし、一生懸命その癖を取ろうとはしたんですけども、やはり残ってしまっていて、自然に体が動いていました。

――ボブチャンチン選手の蹴りは今まで経験したことがない強さでしたか。

ボブチャンチン　ほんとうに強いキックでした。あれほどのキックは今まで受けたことがありません。特にローキックがよく効きました。

――1Rからそのローキックを受けてたんですけど、1Rからかなりダメージはありましたか。

ボブチャンチン　1R目ではそれほどダメージは感じなかったんですけど、2Rになって同じ場所に何度もキックを受けるようになってから、かなり効いてきました。

――今日は作戦としてはどういうふうに闘おうと思ってたんでしょうか。

ボブチャンチン　ホースト選手がどういった動きをするかというのは、大体予測していたんですけれども、やはりキックをかなり受けてしまいましたね。でも、パンチではホースト選手は僕の比じゃないと思います。自分の方が強いと言ってもいいと思います。ただ、本当にホースト選手の蹴りが凄かったので、かなりそれのダメージが大きかったです。

――ホースト選手にもっとパンチで打ち合ってほしいと思いましたか。

ボブチャンチン　そうですね。そういうふうに思いました。もっと、パンチを打ってくれたら良かったのにな、と。受けが間に合わずに、キックでやられましたから。

――負けた悔しさと、K-1のレベルがこれほど高いのかというショックと、どちらが心の中を占めてますか。

ボブチャンチン　もちろん負けた悔しさもありますけど、やはりK-1のレベルがここまで高いという現実を知って、その悔しさというのもあります。両方ですね。でも、今日の試合はとても刺激になりました。もっともっとトレーニングしたいと思います。

――もし、マーク・ケアー選手かピーター・アーツ選手と闘えと言われたら、どちらと闘いますか。

ボブチャンチン　今はマーク・ケアー選手です。でも、少しずつレベルを上げていって、いつかはアーツ選手とも闘いたいと思います。

石井館長も期待大！

「中迫よ、成り上がれ！」

8・22K-1ジャパンGPに向けて待ったなし！

NAKASAKO

バスケットのユニフォームをイメージした新しいコスチュームで復帰戦に登場した中迫。カラーは大好きなオレンジ色だ

ここ一番の勝負強さは ピカイチ！ K-1GP本戦のキップを掴めるか？

カウンターの右がドンピシャリ！ 中迫、一撃復活！

◀中迫の右ストレートを食らったピラーニは、もの凄い勢いで吹っ飛んだ

ングに復活してきた。
わずか45秒、一撃で『K』のリ

▶試合直前にケガをして左足が使えなかったピラーニ。左足はテーピングが巻かれていた

オスカー・デラホーヤのマネをして相手の目を見ていなかったという中迫

最後は練習をしてきたことがズバリ決まった中迫。ピラーニの右ローに完璧にカウンターを合わせた

その瞬間、石井館長は机を叩いて「ヨッシャー！」と叫び、リング上で中迫剛はどこか、ホッとした表情を浮かべながらも、力強く勝利をアピールした。

3・22「K—1チャレンジ」での対デューイー・クーパー戦では、痛めていた右足でしなるようなハイキックを放ち、KO勝ちを収めた中迫だが、その代償は骨折という形で返ってきた。

4ヵ月のブランクを経て迎えた復帰戦。

「試合があいたのでドキドキしてます。でも、グランプリ前なので負けられないです。絶対KOで勝ちます。4ヵ月間試合から離れてやらなきゃいけないと思った。試合が一番の勉強になりますから。(福岡での)佐竹師範代と武蔵さんのKO勝ちは発奮になりました」

そう切々と試合前に語っていた中迫。やはり、ジャパングランプリと、佐竹と武蔵が復活したことは大いに気にかかるようだ。

相手のピラーニは、6・6「K—1サバイバル」で長井満也と対戦。テコンドー仕込みの後ろ回し蹴りやカカト落としなどはスピードがあり、長井からダウンを奪った右ストレートも要注意な選手だ。

だが、今回は大会2日前にバスタブで転び左足にヒビが入るアクシデントが発生。左足が使えない状態で中迫に挑まなければならなかったのは、何とも不運だった。

お互いに様子をうかがいながらの1R。今後のことを考えて「いろいろ試しておきたいことがあった」という中迫だが、ピラーニの蹴りに合わせた右ストレートのカウンターがクリーンヒット！

ジャパンGP決勝で武蔵と闘いたい

ウェイトも増え、がっしりとした体格になった中迫。次はジャパングランプリ優勝が目標。同門の武蔵との対決が注目されている

◀中迫の右ストレートを食らったピラーニは、もの凄い勢いで吹っ飛んだ

▶試合直前にケガをして左足が使えなかったピラーニ。左足はテーピングが巻かれていた

カウントは進むがピラーニは結局立ち上がれず。中迫は嬉しい復帰戦勝利だ

中迫のコメント

「久しぶりだったので、緊張しました。今月末からボス・ジムにスパーリングを主に練習させてもらおうかと。今足りないのはキャリアだと思うので。技術的な不安は練習で解消できますけど、実戦を踏まないと強くはなれないですから。ジャパンGPでは決勝戦で武蔵と闘いたい。(優勝の自信は？) う〜ん、ボチボチです (笑)」

ピラーニのコメント

「ナカサコは非常にいいファイターで、大変強いですし、パンチに驚かされました。2日前にバスタブの中で足を滑らせて左足が2カ所ほど欠けてしまった。いつもは蹴り技中心なので、左で蹴られない分はパンチで補おうとしたんですけど。髪を染めたのは、会う人会う人に名前を聞かれるので、これを見てって言おうと思ったから」

「中迫？ まだ相手じゃない！」(佐竹)

「中迫は良くなってるけど、まだ相手じゃない」と佐竹。ジャパンGPに出場するのか？

「佐竹VS中迫を1回戦で組もうか？(笑)」(石井館長)

石井館長は「総合力は武蔵だが、一発の破壊力は中迫」と分析。館長にとってもジャパン勢の成長は待ち遠しいところだ

★第5試合 (K-1 DREAM99 トーナメント1回戦・3分5R)
○中迫剛 (1R0分45秒、KO勝ち) トファン・ピラーニ●
(日本)　(スウェーデン)
※右ストレート

ウンターがクリーンヒット！

わずか45秒、一撃で『K』のリングに復活してきた。

時間にしてみれば45秒と秒殺かもしれないが、勝利の瞬間の石井館長の喜び方、そして何よりもホッとした表情をしていた中迫を見ていると、この一戦が今後のジャパンシリーズにとって、そして中迫にとってどれほど、大きなものであるのかがよく分かる。

なぜなら、佐竹、武蔵だけでなく、中迫が復活を遂げたことで役者が揃い、これで8・22「K―1ジャパングランプリ」が俄然、面白くなってきたからだ。

「中迫には「成り上がれ！」と言いたい。今はもしかしたら、佐竹よりもハングリーさはあるかもしれないですね」と石井館長も、中迫には大きな期待を寄せている。

しかし、ジャパングランプリ出場が微妙な佐竹は、試合の感想を「中迫は良くはなっているけども、まだ相手ではない」とバッサリ。

その発言を聞いた石井館長は、「佐竹VS中迫を1回戦で組もうか（笑）」と本気とも冗談ともとれる発言。

どうなるジャパングランプリ？

そのジャパングランプリに向けて、中迫は7月末からオランダ修行を敢行。ボス・ジムでみっちりしごかれてくるようだ。

中迫に限らず、他のジャパン勢の中にも海外修行を予定している選手が何人かいるなど、虎視眈々と本戦へのキップを狙っている。

これで、もし佐竹が出場すれば今年のジャパングランプリは、過去最高のメンバーで争われることになるだろう。

どうする、佐竹？

（石黒）

「教えて！館長」

新連載
マーシー＆浩子の
超SRS宣言！
with今井恵理
シェイプUPガールズ

第1回ゲスト 石井和義
（K−1プロデューサー＆正道会館館長）

創刊3号目にして本誌が放つ、超ド級の新連載がスタート。タイトルもズバリ『超SRS宣言』に決定!! これから『SRS』のパーソナリティであるマーシー（田代まさし）＆畑野浩子ちゃんが交互にお贈りする格闘家との対談の数々……。栄えある第一回はやっぱりこの人しかいない。K−1プロデューサーの石井和義館長だ!!　今回は特別に、シェイプUPガールズの今井恵理ちゃんと、「K−1ドリーム’99」直前の石井館長が泊まるスイート・ルームを訪ねたぞ!!

構成◉"Show"大谷泰顕
写真◉大久保義高

畑野　今日は大会直前のお忙しいところ、お時間を取っていただいて申し訳ありません。

石井　いえいえ、大丈夫ですよお。

今井　普段、石井館長は大会直前には、何を考えているんですか？

石井　それはもう、ケガがないことだけですね。とにかく直前は選手が無事にケガがなく会場に入ってほしいな、と。で、会場に着くまでに事故を起こさないようにとか、女の子をナンパしないようにとか……（笑）。

今井　へへへへへッ。

石井　まあ、そういうことに気をつけながら。

畑野　じゃあ、それまで眠れなかったりすることもあるんですか？

石井　ぜ～んぜんないですね。昔からね、どんなに凄く嫌なことがあっても、目を瞑れば3秒で眠れるんですよ。

今井　うわあ、3秒で？

石井　そうですね。今までいろんなことがあったんですけど、本当に眠れなかったってことがないんですよね。

畑野　じゃあ熟睡で、健康ですね。

石井　はい！（元気よく）。

今井　あのー、パジャマとか着て寝てるんですか？　どういう格好で寝てるのかなって、凄く気になっちゃって（笑）。

石井　えーっとね、寝る時はね、なるべく

数日前に「婚約」が報道された今井ちゃんも、ノリノリで収録に参加してくれました。おめでとう！！

ドン・キングと接触？ 僕にも選ぶ権利はある

あんまり着ないんですよ。昔は裸でパンツ一枚だったんですけどね。今はね、肩とかが冷えるとダメだから、Tシャツを着て寝てますけどね。浴衣って変にハダけたりするじゃないですか。

今井 館長は浴衣が似合いそうですよね。

石井 似合いたいですね（笑）。

畑野 浴衣も似合いそうですけど、いつも館長の服装は凄くオシャレですよね。

石井 そうですか？ そんなことないですけどね。

畑野 あのー、館長はベルサーチがお好きだと聞いたんですよ。

石井 いや、ベルサーチが好きなんじゃなくて、ベルサーチしかね、合わないんですよ。

畑野 ベルサーチしか合わない？

石井 サイズの問題で、僕ね、手足が短くて、肩とか腕が太いんですよね。特に二の腕とか前肩が出ていて、腕回りが太い型じゃないと突っ張ったりしてスーツが合わないんです。

畑野 はっ、ちょっと触らせてください。

今井 じゃあ私も。

［そう言って、畑野・今井の二人が館長の腕を触る］

石井 けっこうね、腕が太いんですよ。

今井 ああ、ホントだ。

畑野 凄いなあ。それだったら今も館長は鍛えているんですかあ？

石井 若い時には鍛えていたんですけど、その後に止めても、やっぱりそのまま大きくなっちゃうんですね。

今井 いや、きっと今も鍛えているんですよね。

石井 フフフフフ。

今井 やっぱり色は黒とか白とか、モノトーン系ですね。

石井 そうですね。旅行が多いんで一つの色で揃えないと荷物が増えるんですよ。だから、黒とグレーで合わせれば上下で4パターンになりますよね。それにネクタイとYシャツとTシャツがあればオッケーで、最小限の荷物で最大限のオシャレができるということの計算でやってるだけなんですよ。基本的に男ってね、荷物を持つのが嫌いなんですよ。で、掃除が嫌だから館長をやってるんです。

畑野 そうなんですかあ？

石井 いやいや、それは嘘ですよ（笑）。

畑野 な～んだ（笑）。ところで、『SRS・DX』は読んでいただけましたか？

石井 あっ、見てます、見てます。

畑野 ありがとうございま～す。

今井 私たちも記事を書いたんですけど、それは覚えてますかあ？

石井 そ、それは覚えてませんねえ。

畑野 写真を撮ったんですよ、私。

石井 あっ、そうなんですか？

畑野 はい、サム・グレコ選手の試合後のインタビューの時に、報道陣の真ん前に行って撮ったんです。私が撮った写真とか、田代まさしさんがリングサイドで撮った写真が載ったり、今井さんが書いた記事も載ったんですよお!!

石井 そうですか。ちょっとそこまで細かくは読んでなかったです。

畑野 ぜひ、読み返してみてください。

今井 よろしくお願いしま～す。

石井 僕はどういう広告が入ってるのかなあとかね（笑）。どういうライター使ってるのかなあとか、そういうことが気になって読んでましたから（笑）。そうですか、じゃあ記事もしっかり読みます。

今井 あ、そういえば『SRS・DX』の創刊号に「石井館長、ドン・キング遂に接触」という記事があったんですけれども、それはどうなっていくんですか？

石井 う～ん、それは向こうにも選ぶ権利があるけど、僕にだって選ぶ権利がありますからね。だから、もしかしてドン・キングは「昔の名前で出ています」かもわかんないしね。

畑野 は、はあ？

石井 「京都にいるときゃあ～♪」って（笑）。でも、今は宇多田ヒカルですからね。

畑野 わかりました、歌の話ですね（冷静に）。

石井 いや、歌の例だとね。昔は全盛だったかもわかんないけど、また今は違うじゃないですか。だから、やっぱりその流れが

畑野さんのイメージは、「頑張り屋さん」!

ありますからね、タイミングと。ただ、ドン・キングはビッグ・ネームだし偉大な人ですよ。でも、ドン・キング以外にもスポーツの世界に偉大な人はいっぱいいるわけですよ。だから、K—1はどことドッキングしてやっていくのが一番いいか。お互いのビジネス・スタンスの中でお互いが一番いい方法を選ばないとね。「ああっ、ドン・キング!」って舞い上がってたら、彼の思う壺ですから。

畑野　じゃあ、まだ検討中だと。

石井　ゆっくりお話をして、それで決めていきたいなと思うんですけどね。

畑野　わかりました。じゃあ、さっき歌の話が出たので、館長は好きな音楽はありますか?

石井　音楽は好きですよ。音楽って12年周期とか24年周期で繰り返すんです。だから今はビジュアル系のGLAYとかラルク・アン・シエルは、昔のグループ・サウンズのザ・タイガースとかザ・テンプターズの現代版ですからね。

畑野　は、はあ。

石井　それにもっとお化粧をして、もっとビジュアルっぽく、なおかつシンセサイザーができてからいろんな音が出せるようになったんですよね。だから楽曲の多さといろんなテンポという、今の音楽がありますからね。

今井　カラオケの十八番（おはこ）は何ですか?

畑野　あっ、それ聴きた〜い!

石井　カラオケの十八番はね（笑）。それはやっぱり年寄りと飲む時は演歌を歌いますよね。ただ、若い子と飲む時はそれなりの若い歌を歌うし。それと、一人で歌ってる時は僕らの青春時代の歌を歌いますよね。

今井　たとえば誰の歌ですか?

石井　だから、沢田研二とか、内山田弘とクールファイブとかね（笑）。

今井　（ジュリーのように）振りをつけて歌ったり?（笑）。

畑野　帽子を被ったり?（笑）。

石井　いやいや、そうじゃなくて（笑）。一人で飲みながら一人で歌って、その時代を思い出す、みたいな感じがいいですよね。やっぱりカラオケは自己満足、自己チュー（中心）ですからね。

今井　えっ? 館長、カラオケ・ボックスへは行かないですよね。行くんですか。

石井　ボックスはあんまり……。

畑野　行かないんですか。

石井　いや、行きますよ、よくね（笑）。

今井　えっ、行くんですかあ?

石井　人が変わるんですよ、カラオケはストレス発散できるでしょう。

今井　今度、機会があったら、いっしょに行きたいですよね。

石井　ぜひ、今度ね（笑）。機会があったら行きましょう、はい。

畑野　じゃあ、格闘技の話なんですけど、いいですかあ?

石井　はい、どうぞ。

畑野　ズバリ言って、現時点で今年のグランプリでは誰が優勝すると思いますか?

石井　僕としてはマイク・ベルナルドに勝ってもらいたいんですよ。今、ベルナルドは「無冠の帝王」になってますからね。K—1グランプリというのは、いくらワンマッチで強くても一日に3試合を勝たないといけないですから「運」が必要になるんですよねえ。

今井　あっ、「運」ですか。

石井　まあ、現時点ではピーター・アーツが頭ひとつ出ているでしょうね。この前（4月25日、横浜アリーナ）もアーネスト・ホーストがフランシスコ・フィリォに負けましたけど、他のファイターからすると、ああいうのを見て「あ、一人敵が減ったな」と思うんですよ。別にそれは薄情なんじゃなくて、それくらい厳しい世界なんですよね。

今井　厳しい世界ですねぇ（しみじみ）。

畑野　じゃあ最後に、館長!! 『アルプスの少女ハイジ』の「クララ」って知ってますか?

石井　クララ? ええ、知ってますよ。

畑野　谷川編集長は私のことを、その「クララだ」って言うんですよ。

石井　それはどうなのかわからないけど、畑野さんは、守ってあげたいようなイメージがありますよねえ。それと印象としては「頑張り屋さん」ですね。それにしても目が大きいねえ。吸い込まれそうだなあ（笑）。

畑野　そ、そうですかあ?

石井　フフフフ。

畑野 今井　じゃあ、今日は大会直前のお忙しいところ、どうもありがとうございました。押忍!!

石井　こちらこそ、押忍!! ■

畑野ちゃんはテープレコーダーを片手に頑張ってくれたぞ。鋭い質問に石井館長もタジタジだあ!?

サダハルンバ谷川も

絶賛！

K-1が革命的ビデオを遂に発売!!

なんと1,999円という安さ。これなら毎回揃えられるのだ！

「K-1 BRAVES'99」速報版
製作・発売／ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
企画・制作／フジテレビ映像企画部
価格／1,999円（税別）

K―1から遂に革命的なビデオが発売された！

なんと1999円という驚くべき安さで大会後1ヵ月以内にコンビニで「速報版」としてリリース。格闘技ビデオの常識を破壊するこのビデオは、K―1がソニーピクチャーズエンタテインメントと組んで発売することになった。「安くて、早い！」まるで吉野屋の牛どんのようなビデオが、格闘技界でも遂に登場したわけだ。これはハッキリ言って、ファンにとっても嬉しい。

もちろん、私はK―1の解説を93年4月30日の誕生以来、ずっと続けているので、毎回テレビ放映を録画して保存しようと考えている。

ところが、根がズボラな性格なのでついつい録画し忘れたり、途中で私の大好きなトレンディ・ドラマを入れてしまって、なかなかうまくストックできていないのだ。本当はビデオ・ラックにきちんと「K―1」用に、タイトル・日付・内容を明記して並べたいのだが、何度も挫折している有り様である。かといって、ビデオを買って揃えようと思っても、1万円以上するので、これも全部揃えることはできない。こんな私と同じようなK―1ファンは何人もいるだろう。

ところが、この1999円の廉価版だと、レンタルショップで借りる金額にちょっとお金を足せば、自分でエネルギーを使わずに「K―1」シリーズを揃えることができる。これなら、学生だって、手が届く金額だ。

しかも、このビデオはそんなファンを狙ってか、表紙パッケージから日付、タイトル、内容がしっかりと明記されており、一目見ればどの試合が入っているかわかる。非常に便利なビデオだ。こんなビデオを待っていたと言っても過言ではない。

しかも、ビデオというのは実際、どこに売っているのかよく分からない。特に格闘技ビデオは専門店に行かなければ手に入らないものが多い。しかし、このシリーズはコンビニで大量に販売されるというから、ますますK―1が身近なものになるのではないだろうか。

さっそく、私も1本買ってみた。ここで驚いたのは、クオリティの高さである。普通、60分の速報版というと、スピードを優先するため編集のクオリティが落ちるものが多いのだが、さすがフジテレビが作っているだけに完成度はかなり高いのだ。

私が見たのは、6・20「K―1ブレーブス99」の速報版。「グランプリへの道は、博多から始まる」と題して行われたこの大会は、8人のトーナメントとワンマッチ3試合をダイジェストで収録。グランプリ予選トーナメントでは、本命のスケルトンとミルコが敗れ、アンディの弟子バイラミがヴァンダムを破って優勝という大波乱。

またスーパーファイトでは、グレコVSベルナルドの超ど級の初対決他、佐竹、武蔵の日本人エースがそろってKO勝ちするなど、盛りだくさんの内容が素晴らしいカメラアングルで押さえられている。全体を通してみると、この日は「カラテ家」がキックボクサーを倒すという、記念すべき大会となったといえよう。

そして、99年のK―1シリーズでは、ベルナルドに勝ったグレコが打倒アーツとして浮上し、佐竹・武蔵ら日本人にも期待感が出てきたことがよくわかる。グランプリ予選トーナメントでは、バイラミとヴァンダムが10・3大阪ドームで行われる「K―1グランプリ99開幕戦」のキップを手に入れた。

つまり、続きが揃えたくなるビデオだということだ。これで7・18名古屋大会、8・22有明大会、そして10・3大阪ドーム、12・5東京ドームと揃えば、まるで大河ドラマのようにK―1を楽しむことができるだろう。しかも値段は、1年間集めても今までの1本分で済む。今年から、私は絶対にこのビデオコレクションを始めようと思う。（谷川）

編集長インタビュー

ピッカピッカの「プロ格王」

小川直也

高田、ヒクソンが相手なら すぐに『プライド』に上がるよ

インタビュー◎谷川貞治
写真◎黒田史夫

『プライド6』はまさに小川直也の大会だった。プロレスファ

——あの日は、UFOのフロントの人が

をすることのほうがもっと大切なことじ
ゃないですか。思い切ってやって、ドロ

PRIDE. 大ブレイクの行方

『プライド6』はまさに小川直也の大会だった。プロレスファンと格闘技ファンに注目される小川は、まさに一番旬な「プロ格王」。そして、今後の動向が一番気になるのも小川である。「バーリ・トゥードもプロレス」と語る小川だが、やっぱり『プライド』のような闘いが一番本領を発揮すると思うのだが……。

——小川さん、遂に凄くピッカピッカに輝きましたね。

小川　ありがとうございます。

——あ、でも目の上に青タン作っていますね。

小川　あ、これは最初のワンツーが当たっちゃって、ずっと引かないんです。拳の先端が入ったんですけど、けっこう効きました（笑）。

——やっぱり、いいのが入ってたんですか。あとからビデオを見たんですが、全部ブロックしているんじゃないかと思いましたけど。逆に、小川さんのいいパンチが入ってますね。

小川　一発入って、ヤバイなと思って、あとは全部アゴだけしっかり引いて、頭で受けてやろうと思っていましたけどね。なんか、ブーン、ブーンとパンチを振る音が聞こえましたね。でも、オレのパンチでゲーリーも、試合後にベッドでも血吐いたらしいじゃないですか。大したヤツですね。

▶立ち技の攻防では危なかった小川。最初のワンツーで目に青タンを作ったそうだ

——あの日は、UFOのフロントの人が泣いていたり、関係者が凄く感動していたんですけど、ああいう光景も珍しいですね。

小川　ホント充実感はありましたね。自分で試合前にずいぶん吠えたんで、そのケツは拭けたんじゃないかな、と。ただ、「コマネチ」やって、浅草お兄さん会のベルトを巻くのを忘れてしまったのは、心残りでしたけどね（笑）。本当にやろうと思っていたんですよ。

——はぁ……。

小川　やっぱり、そこまでやらなきゃプロレスじゃないでしょ。でも、リングサイドの周りにいた格闘技関係者は「勝たれちゃ困るんだけどなぁ」という顔してましたね（笑）。

——そうですか？　やっぱり強いなぁと誉めてましたよ。

小川　でも、オレの試合前まで長かったじゃないですか。ドロー、ドローって、一体いつまで待たせるんだよ、って。いいかげん谷川さんだって、解説疲れてたじゃないですか。格闘技、格闘技って言って、なんであんなつまんないことしてるんだろうと思いましたね。いいかげん、白黒つけろよ、と思いますもん。

——うっ、いや、ボクは疲れていませんよ。でも、確かに小川さんの試合は、プロの試合でした。

小川　まあ、やっぱりファンの応援があったからですよ。あれだけの会場で、ファンの、目に見えない空気を感じて、いい試合が出来たことが嬉しいですね。勝ち負けも大切なことですけど、いい試合をすることのほうがもっと大切なことじゃないですか。思い切ってやって、ドローなんてズッコケた試合をするよりは、よっぽどいいんじゃないですか。

——う〜ん、ハラハラしましたもんね。

小川　あの日は、UFOの人と車で帰ったんですけど、「プロ野球ニュース」でオレの試合をやってたじゃないですか。それで、車を止めて（車の中の）テレビで見ていたんですけど、自分でも危なっかしかったですね。やってる時は全然そんな感じはしていなかったんですけどね。でも、自分で見てても、面白い試合をやってましたね。

——あの「プロ野球ニュース」は深夜で2％も数字が上がったそうですよ。

小川　あ、嬉しいですね。前の日も「プロ野球ニュース」で煽ってくれたんですけど、それが一番嬉しかったですね。「SRS」でも1時間くらい枠を広げてやれば良かったのに……。まあ、でも本当にテレビで何度もやってくれたことには、凄く感謝しています。

——そう言ってもらうと、フジの人も喜ぶと思います。その日は、興奮して眠れなかったんじゃないですか。

小川　興奮してというより、殴りすぎて痛くて眠れなかったですね。特に手首。剥離骨折しちゃったんですけど、夜中に目を覚ましてバファリンをたくさん飲みましたもん。

——猪木さんは北朝鮮に行ってたらしいんですけど、試合前に何かアドバイスはあったんですか。

小川　そうですね。「おまえは、そうい

プロ野球ニュースでオレの試合を扱ってくれたのが一番嬉しかった

オレのプロレスという言葉の定義は、ファンに夢を与え続けるもの

う星の下に生まれてるから、大丈夫だ」と。

—ハハハハ、さすが猪木さんだ（笑）。作戦とかではないんですね。

小川 それはなかったですね（笑）。あ、ただ「パンチを怖がらず前へ出ろよ」と。「行けば分かるさ」って言ってましたね（笑）。

—ハハハハハ（笑）。で、勝って猪木さんも喜んだでしょ。

小川 いや、やっぱり「そういう星の下に生まれていただろう?」でしたね（笑）。

—それにしても、小川さんはああいう試合では本当に本領発揮しますね。

小川 面白い話としてはね、試合前に村上（一成）と研究したんですよ。そうしたら村上が「ゲーリーは右利きで腕相撲のチャンピオンですから、右は強いですよ」と言うんですよ。確かに左腕で腕相撲するヤツなんて聞いたことがなかったんで、オレも左腕ばっかり狙ったんです。でも、1R実際にやってみたら、手首が強くて全然極まらないんです。こいつ凄え力だなと思って、どうしても極まらないから、2Rは右手を狙ったんです。そしたら、簡単に極まっちゃって。「なんだ、ゲーリー、左利きじゃんか」って村上に言ったら「すいません」って（笑）。それが分かってたら、もっと早く極められたんですけどね。

—へえ〜、本当に左利きなんですか。

小川 絶対、そうに決まっているじゃないですか。1Rの終了間際に、ちょっと右腕狙ってみたんですよ。そうしたら逃げ方が不器用でしたからね。あれぇ?と思って右に変えたんですよ。まあ、技術的にどうのこうのというより、面白い試合かどうかのほうが大切ですけどね。

▶「プライド6」は小川が大ブレイクした記念すべき日となった

—そのとおりです。試合後に小川さんは「バーリ・トゥードとか言ってるけど、オレにとってはこれもプロレスのひとつだ」と言ってたのが印象深かったですね。

小川 分けて考えるのも面倒臭いじゃないですか。オレは会場に入ったら、いつでもスイッチ・オンしてますし、プロとしてはどの場所であろうが気持ちの部分は全然変わらないですね。気持ちが変わるというのは、逆にお客さんに失礼だし、身が入ってないってことじゃないですか。オレはファンに勝ち負けとか、ルールがどうのと言うより気持ちを見せたいですからね。

—だけど、『プライド』に上がったことで、凄く評価は上がったんじゃないですか。

小川 お陰様で。取材は増えましたね。

—だから、今日は聞いてみたかったんですけど、小川さんにとって理想のプロレスって何ですか? 今日は「プロレス」というものの定義を小川さんに、してもらいたいんですけど。

小川 はぁ。定義付けって「理想のプロレスとは何か?」というのは、自分にとって永遠のテーマになりますからねぇ。

—たとえば、猪木さんは「プロレスは闘いである」とか「プロレスはロマンである」と言い、馬場さんは「プロレスはプロレスである」と定義付けている。武藤選手は「プロレスは終わりのないドラマ」とか、みんないろいろ言っているんですよね。だったら、小川さんはどうなのかな、と。

小川 「闘いである」というのは大前提だけど、オレにとって「プロレス」はみんなが知ってるメジャーなものであり、夢を与えるものってイメージがあるんですけどね。昔で言えば、力道山は力道山でテレビを普及させたほどの夢をプロレスで与えたじゃないですか。また、猪木会長は猪木会長で力道山とは違った夢を、ファンに与えてきましたからね。そういうものが、オレにとってのプロレスですね。

—「プロレスとは夢を与えるもの」ですか。

小川 そうですね。オレにとってプロレスは夢を与えるものですね。ファンに夢を与えたいし、自分もその夢に参加できるし。そういう仕事だって思いますね。強いとか弱い、勝ったとか負けたなんて、そういうの目指すんだったら、オリンピック目指せばいいじゃないですか。オレはそういうのも目指してきたし。それはアマチュアでやればいいことですよ。

—なるほど。小川さんはサラリーマンもやってましたけど、それも捨てたわけですよね。

小川 だから夢ですよね。先を見ちゃうとサラリーマンと一緒じゃないですか。先を見ないで、ひとつひとつデッカイ夢を自分も見たいし、ファンにも与えたいし。だから、プロレスラーになったわけですからね。

—でも、実際に入ってみて、とんでもない世界に入っちゃったなとか、いかがわしい世界に入っちゃったなとは思わなかったんですか（笑）。

小川 いや、どの世界も一緒ですよ。結局、人対人じゃないですか。

—いや、猪木さんの下にいて、その考えは立派です（笑）。

小川 いや、猪木会長とはよく話すんで、考えていることはだいたい分かるんで、そうだなぁとやってますけど（笑）。

—じゃあ、夢を与えるということで、これから何をやっていけばいいと思いま

PRIDE. 大ブレイクの行方

すか。
小川　それは問題を投げるってことですね。世間に常に夢というか、問題を投げかけて考えさせる。別にオレは「これだぁー」と投げて、「ついて来ーい」という一方的なことをするつもりじゃない。相手がいろいろ考えてくれたほうがいいと思ってますからね。そういう意味じゃいつも何かを世間とか、ファンに投げかけていきたいと思っています。

――そういう意味では、『プライド』の試合は、小川さんが言ってたことが、見事にハマったって感じなんでしょうね。

小川　闘いを通じてね。自分にとっては闘いっていうのはもちろん大前提だけど、闘いだけじゃあただの格闘技じゃないですか。それこそ、オレや高田選手や桜庭選手以外の「ドロー」って試合でしょう（笑）。でも、オレらの場合はそこに生まれるドラマだとか、夢みたいなものをファンに見せたいですね。

――なるほど。

小川　少なくとも、オレがやったことでも100％ファンに受け入れられなくても論議が沸くじゃないですか。関心ももってくれたと思うし。小川は口だけじゃないかと思ったヤツもいっぱいいたでしょう。そういう投げかけた論議を、オレは闘いを通じてひとつひとつクリアできたらな、と。

――確かに、この前は結果的にいいボールを投げたって感じでしたよね。

小川　今まではボールを投げても返って来なかったですけどね（笑）。少なくともこの前の『プライド』では、ファンの何人かは受けてくれたし、投げ返してくれた人もいたじゃないですか。ファンのニーズに応えるということは、ファンとキャッチボールすることですからね。

――う～ん、でも小川さんは本当に真面目だなぁと思いますよ。師匠の猪木さんなんかは、ファンであるこっちからボールを投げてるのに、冷たい返し方をすることがよくありますからね。スカされたりすることなんて、数えきれない（笑）。

小川　フフ（笑）。でも、それは人生いい時もあるし、悪い時もありますからね。格闘技は相手あってのことだから、出来ないことは出来ないし。

――いや、でも猪木さんは意識的にスカしますよ。

小川　よく会長は「ざまあみろ」と思わせればいいよと思ってますから（笑）。

――ええ、だから小川さんの場合は、この前のゲーリー戦で、僕らが期待していた小川さんを見事に見られたというか。本当にいいキャッチボールでしたし、それが小川さんにピッタリはまったということだと思うんですよ。でも、猪木さんの場合は、確信犯的にもうひとひねりしてぶち壊してしまう。そこに逆にファンは感情を揺さぶられたりするんです。

小川　そうですよね。スカすのもこれから覚えていかなきゃいけないのかな（笑）。

――小川さんは別にムリする必要はないんですけどね。でも、小川さん、試合前に肩を痛めていたじゃないですか。で、出るとか出ないとか。もし、猪木さんだったらブルーザー・ブロディにやられた時のように、試合前に肩に包帯をぐるぐる巻いて涙を流しながら「やらせろ」と出てきたんじゃないかな、と。で、結局、セコンドが猪木さんにぶん殴られながらも止めて、試合はなし。ファンとしては悲しいやら、凄いものを見たやら、暴動が起こっちゃったりするかもしれない。そういうキャッチボールをする人だと思うんです。

小川　でも、あれは本当に肩を痛めてたんですよ。で、試合前に『プライド』の人が「大丈夫ですか」と何回も半ベソかいて、「出なければ暴動が起こります」と言ってきた。だから出る気持ちになったんですけどね。

――ああ、駆け引きじゃなかったんだ。

小川　そういうことはしませんね。

――でも、格闘技の人でも勝ちにこだわる中で駆け引きを使う人もいるんですよ。たとえばボクシングの輪島功一さんなんて、計量の時に口にマスクしてゴホンゴホンと本当にやってたんですから。で、バケツに吐いたりして、相手の柳済斗は「体調悪いなあ」と思って油断して負けちゃうんです。輪島さんのその駆け引きは、ファンに対してのものじゃないんだけど、それはあとで聞いてファンにも幻想が膨らむんです。ボク、輪島さん大好きだったんですよ。

小川　ああ、オレも見たことあります。でも、オレはそこまで考えてないですね。

――でも、これはあくまでも個性で、小川さんの場合は逆にまともにぶつかったことが良かったし、ファンもそれを期待していた気がするし。

小川　でも、勝ったから言えるんですけど、相手の選手が良かったですね。ゲーリーは本当にいい相手ですよ。プロとして、本当に華があるし、あれ以上ないキャラクターしてますからね。試合終わったら、思わず「ネクスト、UFO！」って言いました（笑）。実際、UFOの大阪まで来てくれたし、どこかの口だけのヤツとは大違いですよ。英語よく分かんなかったけど、あんな挑発もしてくれたし。

――その来なかった人の師匠の前田日明さんは、「小川のやり方は古い」と言ってますが。

小川　古いも何もね、証拠があるじゃねえか。ちゃんと大阪があって、横浜が盛り上がってるんだからね。リングスのやり方で盛り上がるのかって。全然、盛り上がってないだろ？

――じゃあ、山本戦は気に食わない、と。

小川　気に食わないというより「いいかげんにしろ」って感じだよ。そんなに挑戦と言うんなら、巌流島でも道場でもお客さんのいない所でやろうって言うの。こっちはプロとして盛り上げようとしているのに、何だっちゅうの。やりたいの

リングスはふざけんなよって感じ それなら人のいないところでやろう

▲リングスのことになると、途端に語気が荒くなった小川

◀NWAのチャンピオンベルトを巻く小川。次に上がるリングはどこだ!?

なら、人の見てない所でやればいいだろ。それなら、いつでもやってやるよ。山本のやっていることって、挑戦しといて、オレは情けないと思うよ。盛り上がるって言っても、小っちゃな世界で盛り上げるだけだろ？　オレはそういう盛り上がりを求めているんじゃないんだから。それこそ、ゲーリーより、誰それ？　でしょ。ゲーリーはちゃんとアルティメットで実績があるんだから。アメリカで誰が知ってるの、ヤマモトって。

——んあ〜、なんか凄く怒ってます？

小川　言いたい放題言うのは構わないけど、挑戦しておいて、リングスルールでって誰が聞いてもおかしいでしょ。だったら、人のいない所でやろうって。そんなのいくらでも受けてやるよ。キレました、私は。

——え、ということはどうなるんでしょう。

小川　それが答えですよ。ふざけんな、と。

——え、え、ということは白紙ですか？

小川　白紙も何も、こっちはやるんなら盛り上げようと言ってるじゃないですか。大阪にも乗り込んで来いよ、と。で、来たのが、ゲーリーじゃないですか。じゃあ、この試合誰が盛り上げるんだ、と。そのへんがあいつらと全然考え方が違う。

——じゃあ、小川選手の次のターゲットは、新日本プロレスってことですか。藤波新社長になって、橋本選手との再戦が早くも10月のドームで噂されていますけど。

小川　なんか、新日本のほうもねぇ。橋本選手も「やる」と言いながらなんか歯切れが悪いし、目が泳いじゃってるし。もっとプロレスラーなら見栄張ってもいいのにねぇ。オレも気持ち的には、さんざん追いかけたのに、今さら何だよという気持ちもあるしね。

——小川さん自身は新日本に戻ることは望んでいないんですか。

小川　戻るとか戻らないとか、ウチの師匠と藤波新社長が雪解けとかって言っても、やるのは選手同士なんだから、橋本選手が「復讐したい」って言うんならやらせるべきだし、そうじゃないとファンも納得しないでしょう。オレのこと古いやり方って言うかもしれないけど、これは原点だし、まず本人同士がやる気になってドラマを作らないと闘う意味がないでしょ。恨みがあるんだったら、枠を捨てて来いと思いますよ。それは、リングスだって同じこと。オレは前田社長とやるんじゃないんですから。前田さんの言ってることは面白ぇけど、オイオイ、オレは誰とやるんだって思いますもん。前田さんじゃなくて、山本が言ったら面白いけどね。

師匠と藤波社長が雪解けになったからといってやるのもおかしな話

——じゃあ、小川さんはUFOで自主興行をやっていきたいんですか。

小川　UFOの自主興行に専念してったら、いろんなリングに上がれなくなるじゃないですか。特にテレビ局との問題で。そういう制限を受けるんじゃなくて、オレは『プライド』にも新日にも上がりたいんですけどね。たとえば、人間カーッとなって恨みをもって闘おうとしても、それはテレビ局との契約があるからってなったら何も前に進まないじゃないですか。

——小川さんとしてみれば、ファンに夢を与えるんだったら、自分の城は作るべきじゃない、と。

小川　城を作ったら、守りに入っちゃうじゃないですか。オレはその時その時にいろんな場所にテントを張って、逃げる時は逃げるし。まあ、そんな感じですよ。UFOの道場を持たないのも、それが理由ですからね。オレは毎日出稽古に行くことで甘えをなくそうと思っているんです。やっぱりオレがいろんな所へ行けば「小川はどれくらいできるんだろう？」とみんな見るじゃないですか。それは毎日毎日チェックされる。そんな時でもやっぱり強えんだな、練習やってるんだなと思われたほうが緊張感が出る。自分の所でやっていたら絶対に甘えが出ますからね。オレは練習でたとえ負けても、立ち技が弱くても、試合で勝ちゃいいんだから、全然関係ないッスよ。

——じゃあ、小川選手自身の気持ちは誰と一番やりたいんですか。

小川　だから高田、ヒクソンですよ。とりあえず4月29日に言っちゃいましたからね。そのケツは拭かない、と。そのためにオレは相手の要求を受けて『プライド』側の刺客の、ゲーリーとやったんですから。今度はDSEさん、オレの要望受けてよ、って感じですね。高田選手にしても「おまえにおまえと呼ばれたかない」と言われたけど、確かにそりゃそうだけど、あんなに言われて怒るんだったら向かって来いよ、と思うもん。それが裏目に出ちゃったんだけど、高田選手とヒクソンとやらせてもらえるなら、すぐにでも『プライド』に上がるんだけどね。もう勝ち負けなんてどっちだっていいんで、やろうじゃないかと言いたいですね。オレたちは面白い試合をすればいいんだから。グレイシーに関しては、何とかグレイシーと、何回もやるのは無駄なんで、ぜひヒクソンとやりたいですね。

——分かりました。では、次の試合で小川選手がどのリングに上がるのか、ぜひ楽しみにしたいと思います。■

強力レーザー脱毛！

ツルツルの肌 ムダ毛に終止符

さて、キミは自分の毛深さを考えたコトがあるかな？ムダ毛が多くない？中途半端なムダ毛はないか？ヒゲはどうだろう？毎日の手入れは本当に大変だ。しかもこの毛深さが女の子に敬遠される原因になっているという。ほんとうの原因は、男の無関心にあるのかもしれないが、今やオトコの脱毛とは＜エチケット＞であり、＜清潔感＞をアピールすることなのだ。そんなオトコ達のために、ムダ毛やヒゲまでカンタン清潔に処理できる脱毛機がついに開発された。それがこのハンディレーザー＜永久脱毛機＞だ。最新のレーザー技術を駆使したコンパクトで凄いヤツだ。さっそくその凄さを紹介してみよう。

レーザー脱毛のメカニズム

（模式図）

レーザーがムダ毛と同時にケラチン・毛乳頭を直撃！

皮脂腺
立毛筋
レーザー
ムダ毛
ケラチン
毛乳頭

男のムダ毛処理の レーザー脱毛の5大ポイント！

- ●ヒゲから剛毛まで永久脱毛できる実用性！
- ●レーザー光線を数秒間照射するだけの簡易性！
- ●米国の公式脱毛基準に基づいた信頼性！
- ●毛乳頭（毛の発生源）からレーザー処理する確実性！
- ●肌を傷めず刺激や痛みが少ないない快適性！

ハンディーレーザー＜永久脱毛機＞

一括価格　95,000円
●送料・消費税込み
●送料 1,040円／消費税別
★重さ113g　消費電力 約8W（換算）
分割価格　112,800円
★1年間品質補償　生産物賠償責任保険付き
●（月々4,700円×24回）
※詳細は、UV.ZONE本部へ

[商品構成]
ハンディレーザー（本体1台）
ACアダプター 1個
ミニ脱毛セット一式
取扱説明書（保証書）付

TANNING UV.ZONE

THE MOST POWERFUL SALON

いい男の条件！日焼けした肌！＆ツルツルの肌！

大好評！
VIP会員システム導入！焼けば焼くほど絶対得する！

スーパーベット S-5500

最強フェイス エクセドラ

最強ベット イーグル

SILVER

SonnenBräune

SALON

店舗	電話
錦糸町店	Tel.03-5600-3000
竹ノ塚店	Tel.03-5242-6231
五反田店	Tel.03-3280-7272
浅草橋店	Tel.03-3863-4000
静岡店	Tel.054-273-9696
川崎ラハイナ店	Tel.044-200-7070
川崎カハラ店	Tel.044-220-3000
池袋店	Tel.03-5391-0390
お茶の水店	Tel.03-3292-8296

スペシャルクーポン券

顔焼き10分無料
＜SRS-DX＞有効期限
99年8月31日迄

オイル無料
＜SRS-DX＞有効期限
99年8月31日迄

スペシャル
各店オリジナルサービスがご利用出来ます。
＜SRS-DX＞有効期限
99年8月31日迄

株式会社ユーブイ・ゾーン
TEL.03-5600-4000

STAFF募集！
やる気のある方！フリーターの人！
●お問い合わせは、各店へ

F.C.加盟店募集中！
※中古マシン取り扱い中！

日焼けマシン・日焼けライト・オイル・マシンメンテナンス
●日焼けサロンに関する全てを取り扱っております。

インターネット・ホームページ開設 アドレス：http://www.uv-zone.co.jp

インタビュー◎"Show"大谷泰顕
SPECIAL THANKS◎金井由紀子

UFCミドル級チャンピオン

フランク・シャムロック

ヒクソン？ 彼はペーパーチャンピオン。私に残された使命は桜庭を倒すことだけだよ。

PRIDE. 大ブレイクの行方

あのフランク・シャムロックの『プライド』参戦が明らかになったのは、7・4の『プライド6』でのこと。フランクと言えば、パンクラス、リングス、シューティング、UFCと、戦場を変える度に実績をつくってきた実力者。そのフランク自身が「最後の標的」に指名したのが桜庭和志である。本誌は『プライド6』の翌日、その真意をフランク自身に直撃した!!

――フランクさん、帽子が似合ってますねえ。

フランク　キヒヒヒヒ。ありがとう、気に入っているんだよ、この帽子。

――きっとその帽子を被らせたら世界で一番似合うんじゃないですか（笑）。それはそうと、昨日の『プライド6』は、見ていてどう感じました？

フランク　凄くいいショーで、全部がグッド・ファイトだったと思うね。

――率直に桜庭和志選手の試合をどう見たんでしょう。

フランク　とにかくサクラバサンのテクニックの凄さというか、巧さにビックリしたよ。タックルの取り方、キックもパンチのテクニックもすべてにおいて長けていて、昨日の彼の試合から学び取ることは凄く多かったね。

――次はフランクさんと桜庭選手の試合が組まれるのでは、と予想してしまうんですけど、実際に闘ったらどうなりそうですか？

フランク　さあ、「どうなりそうか？」と聞かれてもね（笑）。とにかくテクニックの攻防にはなると思うよ。サクラバサンは凄くサブミッションに優れた選手だけど、サブミッションでは私と同じレベルか彼のほうが少し上だと思うんだ。ただ、打撃に関しては私のほうが少し上でアドバンテージがあるんじゃないかな。その他に関しては、だいたい同じくらいの実力だと思っているから、凄く難しい試合になるだろうし、最初に疲れたほうが負けると思うね。

――具体的に、フランクさんは何分くらいの勝負になると思いますか？

フランク　もちろん秒殺できたらいいよね（笑）。ただ、おそらく10分以上の長い試合になると思っている。というのは、サクラバサンのゲーム・プランというか、彼のシチュエーションごとに適応できるテクニックとか、最初に立ててくる作戦が、すべてにおいて優れているから、短く終わらせたいと思っても、実際は長くなると思うんだよ。まあ、でも長い試合を闘うことに関しては用意ができているからね。

――すでに準備万端なんですね。昨日の桜庭選手の対戦相手のエベンゼール・ブラガは、船木誠勝選手を苦しめた（4月18日、横浜文化体育館）選手なんです。

フランク　ああ、知っているよ。

――その選手に桜庭選手は危なげなく勝ったという印象があったんですけど、それに関して、かつて船木選手とも闘ったことのあるフランクさんはどういう感じ方をしたのか教えてほしいんです。

フランク　まずフナキサンは年齢的にも少し上になるよね。とすると、ケガを治すことにも時間がかかると思うし、コンディションの調整自体に時間がかかると思うんだ。それに（バーリ・トゥードは）パンクラスとはまったく違ったルールだし、違ったルールで闘えば違った結果が出てきて当然だよね。それに、フナキサンとブラガの試合は、頭突きやエルボーもOKのルールだったんだろう？　だから、実際にフナキサンとサクラバサンが闘ったとしても、レベル的には同じくらいだと思うね。

――凄く的確な分析だと思います。では、フランクさんは日本でエンセン井上選手とも闘っていますけど、エンセン選手と桜庭選手では、フランクさんから見たらどういう比較になりますか？

フランク　エンセンはパワーとパンチのアグレッシブなファイターだと思うんだ。その一方でサクラバサンの関節技のテクニックは、もちろん速いし対応力があるだろう？　だから二人の違いは何かというと、関節技のテクニックになるだろうね。

――じゃあ桜庭VSエンセンがあったら？

フランク　そりゃあ、凄く面白い試合になると思うよ。でも、実際はエンセンのほうがウェイトが重いから、体重差という意味ではエンセンが少し有利かなと思うね。

――それから、昨日は小川直也VSゲーリー・グッドリッジもあったんですけど、小川選手に関してはどう思いました？

フランク　彼の強さにはビックリしたね。打撃も関節技もすべてのテクニックに対して「あっ、強いな」という印象を受けたよ。というのは、彼は「プロレスラー」だと聞いていたからね。

――どういうことですか？

フランク　オガワサンはプロレスラーで、ゲーリーはバーリ・トゥーダーだろ？　そしたら、当然、ゲーリーがKO

小川の強さにはビックリした。彼は「プロレスラー」だと聞いていたから。

▲エベンゼール・ブラガに勝利した直後の桜庭和志に対して、対戦表明を行ったフランクは、お互いの対戦を誓い、桜庭と堅い握手をかわした

◀バーリ・トゥードをやりはじめた頃は、「それまでのパンクラスで使っていた掌底を打ってしまったことがある」と、手振りをまじえて説明

するだろうと思っていたんだよ。そしたら、あんな結果になった。そりゃあ凄くビックリするよな。

——これは英語にすると、伝わりにくいかもしれないんですけど、今年の1月4日に東京ドームで小川選手が、新日本プロレスの橋本真也選手と闘ったんです。その試合は小川選手がルールを超えて相手に仕掛けてしまった、と言われているんですよね。だから、小川選手はそういう仕掛けられる肝っ玉の強さみたいなものを持っているんですよ。

フランク OH! そんなことがあったのか。ある人にオガワサンの実力をジャッジするのには、これまでのどの試合がいいかと聞いたら、「今回のゲーリーとの試合だけだ」と言われたんだよ。

——いや、「今はそうではない」と言われてもしかたがない部分もあるとは思うんですけど、特に昔の「プロレスラー」は、普段は何をしていても、いざという時に強い、という幻想を持っていたんです。その幻想を裏付ける実力を持った人物がプロレスラーだったというか。だから、今の小川直也こそ本当の「プロレスラー」の姿だと思うんです。

フランク なるほどね。

——だから、普段はバーリ・トゥードの試合をやっていなくても、小川選手みたいにバーリ・トゥードでもイケるのがプロレスラーなんですよ。たとえば、それはフランクさんのお兄さんのウエイン・シャムロックもそうだし、ダン・スバーンもそうじゃないですか。

フランク キヒヒヒヒ。いや、アメリカン・プロレスというのは単なるショーだからね（苦笑）。だから、あれはまったく試合をしていないのといっしょで、私は「ゼロ」だと割り切って見ているんだよ。でも、日本のプロレスはショーであってもテクニックを伴ったショーじゃないか。サブミッションに関しても打撃に関しても、すべてにおいて技が優っているし、技の勉強をキチンとしてショー的なことをやっているだろう？ だから、プロレスラーが普段はバーリ・トゥードをやっていなくても、バーリ・トゥードをやった時に勝つこともあると思うんだよ。

——あ、その言葉でフランクさんから見た、日本とアメリカのプロレスの認識の違いがわかりました。

フランク キヒヒヒ。アメリカのプロレスラーは筋肉を肥大させて見せることに重きを置いているだろ？ でも、日本のプロレスラーはコンディショニングに関して非常に気を遣っていたりもするし、意識としてまったく違うんじゃないかと思うね。アメリカのレスラーは悪いテクニックを悪く学んでいるんだよ（苦笑）。日本のレスラーは良いテクニックを学んでいるんじゃないのかな。だから、私の意見としては、「プロレスラー」には2種類の人がいると思うんだ。

——2種類というと？

フランク 一方のプロレスラーは見せることが好きな人、もう片方は闘うことが好きな人。その両者に分かれると思うんだ。本当に「闘う」ということは、とてもリスクを伴うことだし、もちろんケガもするし、危険だし、それらをふまえて闘わなくてはいけないんだよ。だから、ショー的な試合のほうへ行きがちな人もいるのは仕方がないと思うね。普段はショーの試合をしている人でも、本当の試合をしたくない人も、中にはたくさんいると思うんだ。

——「闘い」のない試合しか、しない人がいると。

フランク やはり「闘う」という意味においては、精神的な部分が90％以上占めるから、自分でも試合の前の気持ちが、普通の「プロレス」の試合だったら「明日試合だけど楽しもうよ」と言えるけど、自分たちのようなファイターはそういう気持ち的な部分もそうだし、コンディショニングの調整も含めて難しいんだ。そこが分かれ目だと思うね。

——そういう意味では、毎月一回試合をするために来日していたパンクラスにいる時よりは調整は楽ですか？

フランク いや、パンクラスはちょっと違うものだと思っているからね。

——すみません。パンクラスは「ウチはプロレスです」と言っているんですけど、フランクさんの認識は違いますか？

フランク AH! 「パンクラス・スタ

プロレスは「ショー」、パンクラスは「スポーツ」、そしてバーリ・トゥードは「ファイト」だよ

PRIDE 大ブレイクの行方

▶左よりフランク、フィアンセであるアンジェリーナ・ブラウンさん、パンクラスの柳澤龍志のスリーショット

イル」は「プロレス」と「ノールール」のちょうど中間に位置しているものだと思っているんだ。実際に攻撃の仕方では掌底があったり、ニー・パッドをつけての闘いだったりするだろう？　そういった意味でもちょうど中間になるんじゃないかな。実際に自分は「プロレスラー」としてパンクラスに参加して、そこからバーリ・トゥーダーになろうとしているんだけど、最初にバーリ・トゥードに出た時には掌底で攻撃をしてしまったくらいだったからね（笑）。

——パンチではなく、掌底で攻撃をしてしまった（笑）。

フランク　でも、今はその頃よりも段階を踏んできているから、まったく大丈夫だという自信はあるよ。だから、わかりやすく言うと、プロレスは「ショー」、パンクラスは「スポーツ」、バーリ・トゥードは「ファイト」ということだね。

——それはわかりやすい区分けですよ!!

フランク　もちろん、パンクラスは選手各自がキチンと調整をしてきて、トップクラスの選手が集まった「ゲーム」だと思っているしね。ただ、その場合、月に一回試合があることで、何が違ってくるかというと、ケガをしているかしていないかなんだよ。その点が一番選手に影響してくるんだ。リスクということを考えれば、「プロレス」はもっと少なくなる。だから、三つの中ではバーリ・トゥードが一番リスクが高くなるんだけど、毎月毎月コンディションを気にしなくてもいいから、その点がまったく違うものだと思うね。

——じゃあ、フランクさんから見てリングスはどれに入りますか？

フランク　私が思うに、リングスはパンクラスのような「スポーツ」とは言えない。何かファイターが「こうしなければいけない」という精神的なものを感じるね。「スポーツ」とは違ったファイティングスピリットがあるよ。

——それを前田日明イズムと言うんです（笑）。フランクさんは、過去に田村潔司選手と船木選手とも闘っていますけど、両者の違いはどこにあると思いますか？

フランク　実力的な位置は同じだと思うんだ。ただし、年齢的なものはフナキサンのほうが上だから、そういうことを踏まえて言うとしたら、今はタムラサンのほうが少し上かな、と思うね。

——田村選手のほうが上ですか。

フランク　でも、フナキサンは私の先生だったわけだし、凄く尊敬しているよ。もしバーリ・トゥード・スタイルで闘ったらフナキサンが勝つんじゃないかと思っているしね。

——ところで、フランクさんのデビュー戦は、日本でやったバス・ルッテン戦（94年12月16日、両国国技館）なんですけど、あれは本当にデビュー戦だったんですか？（笑）。

フランク　キヒヒヒヒ。いや、あれがデビュー戦だよ。

——当時は「フランク・ワレス」という名前でしたけど、本当にこの選手はこれがデビュー戦なのか、と思ってしまうくらい素晴らしい動きをしていましたよね。

フランク　デビューする前に8ヵ月間トレーニングしたんだけど、それだけであの試合に臨んだんだ。

——えっ、格闘技経験はなかったんですか？

フランク　その前は普通のスポーツをやっていた程度で、格闘技のバックグラウンドは何も持っていなかったね。

——それは凄い!!　ただ、やっぱりお兄さんから格闘技的な影響は受けたわけですよね。

フランク　もちろん兄の影響がキッカケとなって格闘技を始めた部分はあるさ。で、父の「やってみるか」という言葉でこの世界に入ったんだよ。もちろん兄は私より身体も大きいし、今はアメリカン・プロレスラーなのでスタイルも違うしね。当時は実際に兄からたくさんのサブミッションを習ったこともあるよ。でも、兄もそうだけど、本格的にサブミッションを習ったのはフナキサンとスズキサン（鈴木みのる）からになるね。

——次の試合の予定は『プライド7』（9月12日、横浜アリーナ）のリングでですか？

フランク　いや、私はUFCのミドル級チャンピオンだから、UFCのリングでティト・オーティズの挑戦を受けなければならないんだ。もし、その試合が流れたら、9月の『プライド7』に参戦したいと思っているよ。だから、サクラバサンとの試合はその後になるかもしれないね。

——ということは、日本ではリングスやパンクラスではなく、これからは『プライド』のリングに上がっていくことになりますか？

フランク　そうだね。なぜなら今の私はバーリ・トゥード・ファイターなんだよ。だから、実際に参戦するとしたらバーリ・トゥード・スタイルの試合に参加したいんだ。スポーツ・スタイルにはもう抵抗感があるし、率直に言って（スポーツ・スタイルで勝つのは）難しいと思っているしね。確かに4月にタムラサンと闘った（4月23日、大阪府立体育会館）けれど、あの時はルールで顔は殴れないし、結果もドローだったし。そこで凄く難しいスタイルだなと実感したんだよ（苦笑）。

——自分自身ではバーリ・トゥード・スタイルは、あと何年くらいやれると思ってますか？

フランク　以前は30歳までは現役としてやるつもりだったんだけど、バーリ・トゥーダーだとしたら、今から2年先（28歳）までじゃないかな。確かに、昔は自分の中では「ファイト」が一番最初にく

船木と田村ではスポーツスタイルなら田村のほうが少し上。ただ、バーリ・トゥードなら船木だね。

るものだったんだけど、今はモデルや俳優としても活動し始めているし、実際に自分がしてきたことと残してきた結果として、ＵＦＣのチャンピオンにもなったしね。もちろん、リングスやパンクラスにも上がってそれなりに成績を残してきたという自負もあるし。だから、もしこの世界で自分のやり残していることがあるとしたら、サクラバサンとの闘いしかないと思っているんだよ。

——それで標的を桜庭選手に絞ったわけですか。

フランク　イエス。ミドル・ウェイトで本当に強い選手といえば、もうサクラバサンしかいないだろう？　だから、もし彼を倒してしまったら、もう目指すものは何もないよ（笑）。

——じゃあ、もし桜庭選手を倒してしまったらどうしましょうね。

フランク　その時は、選手として休んでもいいかなと思っているくらいだよ。

——ああ、そこまで覚悟を決めているんですね。じゃあもう一度スポーツ・スタイルに戻ってくることは考えてないんですか？

フランク　そんなことは考えられないね。この世界に入ってくるまで自分には格闘技の経験もなかったから、その点で肉体的なダメージが凄く大きいと思っているんだ。実際に自分の次の夢としてバーリ・トゥードや格闘技の世界で経験したことを、もっと多くの人に見せていきたいと思っているしね。そのために映画に出たりして、多くの人に自分が経験したことを伝えていきたいという気持ちがあるんだよ。今は「格闘技」の中という小さな世界でしかファンがいないだろう？　だから、その枠をもっと大きく広げたいんだよ。

——ということは、パンクラスにも戻る意志はない？

フランク　ないね。もちろん、この世界は好きだし、情熱を注いでやっているから、トレーナーもやるしセコンドもやるけれど、自分の身体はもう休息させてもいいんじゃないかと思っているんだよ。

——先ほど、「やり残した相手は桜庭選手しかいない」と言いましたけど、たとえばヒクソン・グレイシーであったり、小川選手は視界には入りませんか？

フランク　いや、（小川も含めて）ヘビー級の選手を相手にすることは、私の中では考えにないね。もし闘ったら、勝てるかもしれないけれど、体重差がある分、受けるダメージも大きくなると思うんだ。それに、そういう闘いはテクニックも見せられる状況ではなくなってしまうんじゃないかと思ってるしね。でも、サクラバサンと闘ったら、テクニックの攻防も見せられるし、技術的にもいい試合になると思うし、自分にとっても凄くいいチャレンジになると思っているんだよ。それから、ヒクソンに関してだけど……。

——あ、はい。

フランク　彼は単なるペーパー・チャンピオンだと思うんだ。

——ペーパー・チャンピオン？

フランク　私が思うに、彼は皆さんのメディアによって仕立て上げられたペーパー・チャンピオンじゃないかな。実際に評判が良くて、多くの人から「強い」とは言われているけれど、実際にはそんなに強くない（キッパリ）。それは、私がこの競技をやってきて、痛切に感じることだね。もちろん、ヒクソンと試合が組まれることがあれば、闘う用意はあるよ。ただ、勘違いしてほしくないのは、彼が強いから闘いたいということではないということ。単に彼のネーム・バリューがあるから闘ってもいいと思っているだけだよ。これが真実だね。キヒヒヒ。これは書いても全然構わないよ。私が心から本当に尊敬できるのはリアル・ファイターだけだよ。そうでないファイターに対しては、そう思うこともできないよね。

——ということは、ヒクソンはリアル・ファイターではない？

フランク　もし私が本当に尊敬できるリアル・ファイターであれば、たとえ勝っても負けても、リングの上で闘うべきだと思うからね。そういう意味では、ヒクソンは一番プロレスラーだね（笑）。

——ヌハハハ、やっぱりヒクソンはプロレスラーでしたか（笑）！

フランク　キヒヒヒ。今日言ったことは本当に思っていることだから、全部の言葉を正確に書いてほしいね。

——は、は、はーい。オ、オッケーです。なにせ、帽子の似合うフランクさんの頼みですからね（笑）。

フランク　OH！　間違いなく頼んだよ。

フランク・シャムロック

身長180センチ、体重89キロ。1972年12月8日、アメリカ・カリフォルニア州出身。ウエイン・シャムロックの実弟。94年12月16日、両国国技館でのバス・ルッテン戦でデビュー。その後、パンクラスで実績を積み、一度は暫定キング・オブ・パンクラスの座に就いたこともある。その後、リングス→シューティング→ＵＦＣと渡り歩き、去る７月４日、横浜アリーナで『プライド』参戦を表明。なお、現在はＵＦＣミドル級王者でもある。

▶「キヒヒヒヒ」と笑う、フランク独特の笑顔。間近で見ると、その純朴さが自然と伝わってくる

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX

スペシャル・リング・サイド

8・12創刊3号

C O N T E N T S

夏休み、池袋パルコが格闘技ワールドに変身!
SRS・DX創刊記念ショップ　WORLD SPORTS PLAZA KINGSオープン! — 3

SRS噂の三面記事 — 4

◉異種格闘技戦はオレにまかせろ! 佐竹VSグッドリッジ戦浮上 ◉『プライド』トーナメント開催のため、DSEがホイス説得工作に渡米! ◉猪木、北朝鮮平和イベントの参加リストに掣圏道の名前が ◉元ヤン魔裟斗で全日本キック復活。11月、5対5ビッグマッチ開催へ ◉パンクラス、『プライド』に宣戦布告。 船木VS桜庭戦の実現はある! ◉桜庭、やっぱり「船木さん」と「フランクさん」を間違えていた! ◉磯部師範がグラウベに課した秘密特訓は花形満の鉄球特訓か?

完全速報

7・18 K-1 DREAM'99 名古屋レインボーホール大会 — 11、68

アーツVSグレコ、ホーストVSボブチャンチン、
中迫VSトファン、K-1 GP予選トーナメント完全詳報

お待ちかね企画◎K-1 GIRLS写真集［スタジオ特写!］ — 59

徹底追跡

PRIDE 大ブレイクの行方

編集長インタビュー◎ピッカピッカの「プロ格王」小川直也
「髙田、ヒクソンが相手ならすぐに『プライド』に上がるよ」 — 28

フランク・シャムロック インタビュー
「ヒクソン? 彼はペーパーチャンピオン。私に残された使命は桜庭を倒すことだけだよ」 — 34

プライド緊急大放談　狂ってるから言いたい放題!
「そういえば、あの、7の月…。こんなところに恐怖の大王が!」 — 40

佐山聡が語る「小川VSグッドリッジ戦」の謎 — 46

M.ケアー インタビュー　もっと知りたいケアーのこと — 48

SRS・DX特集◆第3弾

佐山聡の掣圏道とは何か? — 95

掣圏道は21世紀型の市街地型実戦武道だ! — 96
掣圏道の基本テクニックを分析する — 100
上になれが掣圏道の極意　掣圏道はどこまで凄いのか?　誌上対決!　蟷螂拳VS掣圏道 — 102
山田英司編集長(格闘マガジンK)の感想 — 105
掣圏道プロ第1号選手名鑑 — 106
7・10『掣圏道トーナメント　SAボクシング』遂にベールを脱いだ「掣圏道アンリミテッド」旗揚げ戦 — 107

大会レポート

7・13『全日本キック　後楽園ホール大会』 — 111
7・8『シュートボクシング　大阪府立大会』 — 116
7・16『修斗　the Renaxis 1999　後楽園ホール大会』 — 118
7・11『THE KAKIDAMISHI1　沖縄県武道館大会』 — 121

格闘技パーフェクトガイド

大会&チケット情報 — 52
浅草キッドのイチ押しイベント — 58
SRS番組ガイド — 75
TV&RADIOガイド — 76
BOOK情報 — 78
GOODS情報 — 79
Et cetra — 80
イエローページ — 81
宇月田麿凜慧の星座別タロット占い — 82

連　載

新連載★田代まさし&畑野浩子トーク　第1回ゲスト/石井和義館長 — 24
アレク武者修行日記umpfer(ンムファー)第3回 — 50
サダハルンバ谷川の一撃コラム第3弾 — 83
復刻マンガ梶原一騎原作「熱血の柔道王」第3話 — 84
格闘家入場テーマ曲着メロコレクション!Vol.3　佐竹雅昭/闘志天翔 — 130

ごっつぁん天国!(読者プレゼント)/
通信販売のお知らせ — 126

PRIDE
緊急大放談

そういえば、あの、7の月…。こんなところに恐怖の大王が！

狂ってるから言いたい放題！
銭ゲバ一掃大計画

読者ハガキワースト記録間違いなし！

ターザン山本
サダハルンバ谷川
Show（大谷泰顕）

司会◎柳沢忠之（本誌発行人）

山本　おい、谷川ぁ！　わざわざ俺を呼び出して今日は何だ？

谷川　今日は『プライド』について座談会をします。司会進行は柳沢がやります。

——いや、俺はそういうんじゃないから。Ｓｈｏｗ、お前がやれよ！

大谷　え～？　俺がやったらメチャクチャになるよ～。

山本　谷川、お前がやれ！

谷川　んあ～。あのー、今話題になっている『プライド』について山本さんに大いに語ってもらって、それに対してＳｈｏｗが反論するという座談会にしたいんですけど。

大谷　俺はまたそんな役回り（苦笑）。

山本　で、谷川はまた日和見か！？

谷川　んあ～。

山本　まあいいや。で、何？

谷川　早速なんですが、『プライド』というのはいろんな意味で面白い存在になってるんですけど、まず山本さんは『プライド』をどう見てるんですか？

山本　うん。ハッキリ言うとプロレスの面白さを日本の歴史で見せてきたのは、まあ力道山は別格として、猪木とＵインターなんだよね。

——猪木とＵインター！（笑）。

山本　そうなんですよぉ！　つまりどういうことかというと、いわゆる王道のプロレスに対して邪道的なね、たとえば異種格闘技戦をやるとか、プロレスは最強であるとか、プロレスはキング・オブ・スポーツだとか、あるいは1億円トーナメントをブチ上げるというのは全部邪道なんだよね。それをやることによってマット界に波紋を起こして、問題を投げかけて、ファンが興奮して、「ああ、最強はストロング・スタイルなのか」というテーゼを与えて大いに盛り上げてきたワケ

『プライド』は猪木〜Uインターの延長線
格闘家たちは罠にはまったんですよ！

よ。それは真の邪道なんだよね。猪木とUインターが引っかき回したわけですよぉ！ で、猪木・Uインターの延長線上にあるのが今度の『プライド6』の大会だったワケです！ だからあれは第二のUインターというか、「猪木〜Uインター〜プライド」という路線があるワケ。だから『プライド』は邪道の路線なんだよね。大仁田の邪道はというと、あれは「ペーパー邪道」なんで、スタイルとしての邪道なんで話が別なワケ。張り子の邪道みたいなもんなんだから（笑）。

——大仁田の話はいいから、猪木とかUインターの邪道路線を今のファンにわかりやすく説明してください。

山本 だからよ〜するに、新日本プロレスとUインターは格闘家たちを前座に押し込める。プロレスのリングに上がってきたら、格闘家を添え物や噛ませ犬にするよということをやってきたのが猪木とUインターなんだよねぇ。だから『プライド』もその路線にあるので、見事に今回の『プライド6』で格闘家たちが罠にはまったんだよねぇ。それで大喜びしたワケですよぉ、俺は！

谷川 んあ〜。

大谷 いや、あれこそまさにプロレスの空間だったんですよ！

山本 だから、格闘家がそういう空間に入ったら、まったくつまらない存在になってしまうワケ。つまりウィリエム・ルスカとかモンスターマン化していくワケよ、みんな。

大谷 ギロチンドロップでやられちゃうわけだ（笑）。

山本 いや、それよりもあの試合を見て本当に気づいたのは、格闘家たちのバカバカしさだな。もう俺は格闘家は見切った！

——発見しましたか！（笑）。

山本 大発見したよぉ！ 格闘家というものがいかにチンケな存在であるかということを。

谷川 んあ〜！

山本 格闘家というのは、当たり前のことだけど自分のために闘ってるんだよ、ハッキリ言ったら。プロレスラーは他人のために闘ってる！ つまり観客のために。それだけ世界観が違うんですよぉ。自分のためだけに闘ってるヤツは世界観が狭いでしょぉ。他人のために闘ってるヤツは世界観がデカいワケよ。そのぶんだけ懐も深いし、負けても意味があるワケよ。格闘家は負けたらすべて終わりでしょ。だから格闘家は負けないためだけの闘いをやる。つまり引き分けになって当たり前なんだよ。そういう闘いをやるヤツが客の前で試合なんかすんなと言いたいワケよ、俺から言わせたら。

谷川 んあああああぁっ〜！

山本 だから、なぜ俺たちがヒクソンを倒してほしいかという理由がわかったんだよ！

——大発見パート2！（笑）。

山本 ヒクソンというのはぁ、その格闘家の典型で、強いかもしれないけど絶対に負けないためにだけやってるワケでしょ。負け試合には出てこないワケよ。そういう格闘家の「精神的貧乏臭さ」「精神的貧しさ」をブチ壊してほしいという願望のためにだけ、俺たちは打倒ヒクソンを叫んでるワケですよぉぉぉ！

——ただいま炎上中ですので、お聞き苦しい内容になっております（笑）。

山本 よ〜するにぃ、その格闘家たちの貧困さね、貧しさ、貧乏人根性、負けないためだけに闘っていつも引き分けにもっていこうとする浅ましさをブチ壊してほしいためだけにプロレスファンはあいつらを倒してほしいんですよぉ！ プロレスラーの広い世界観を持った、負けてもいいというリスクを背負った人たちの大らかな世界観で、貧乏人根性のヒクソンの世界を破ってほしいと俺たちは願っていたワケ。だから「プロレスVS格闘技」とか「プロレスVS柔術」じゃなくて、「リッチVS貧乏人」なんですよぉ。『プライド』の意味はそれなんですよぉ。おい、違うか？

大谷 まったくその通り！（笑）。

山本 格闘家がいかに精神的にプアーかという、あれは貧乏人根性の世界なんですよぉ。だから最初の5試合、ぜ〜んぶ試合が決まらないで延長戦になったでしょ。負けないためにやってるから、自分のためだけにやってるんだから、ホントにハッキリ言って、観客とかファンとかをナメきってますよぉ！（ドン！ ドン！＝テーブルを叩く）。

——ダハハハハッ！

山本 格闘家の野郎、ホント、ナメきってやがる。観客の前で試合するな、自分の家の中でやってろぉぉぉ！ 根性とか精神とか行動そのものが貧乏臭いんだよぉ！ それを知ってるからみんなガマンして5試合も貧乏臭い試合を見て、小川が出てきた時に非常にリッチな世界になったから興奮したんですよぉ。

谷川 さあShow、反論してくれぇ。

山本 谷川ぁ！ お前が反論してみろ！

谷川 いえいえ、まずはShowから。

大谷 でもね、そのプアーな人間の代表格のヒクソンにKRSっていう組織が凄いお金を払っちゃった。あれが一番の問題なんだよ。

山本 それはKRSがド素人だったからだよぉ。世界観を持ってねえからだよぉ。

——でも、KRSからDSEに変わったことで起こったのは、そのリッチとプアーの逆転現象なんですよ。KRSはヒクソン側をリッチに見せようとしたでしょぉ。

山本 ナンセンスですよぉ、そんなもん！ プアーはどこまでいってもプアーなんだから。あの顔を見たらわかる！

——その顔で言うか（笑）。それが今は逆転現象が起こって、プロレス側をリッチに見せようとしている。プロレスファンにとっては正常化したわけですよ。

山本 そう、正常化よ。やっとここで逆転が起きたワケよ。ヒクソンみたいにあんなにさぁ、貧乏人根性丸出しの人間はいないよ！ ヒクソンはよくも「武士道」

なんていう言葉を使ってるなあと思ってねぇ。俺だったら「銭ゲバ」と呼んでやりますよぉ！　ヒクソンは「銭ゲバ魂」というTシャツを着ろ！

――「銭ゲバ魂」！（笑）。

谷川　ゴッホン、ゴッホン！

山本　あんなチンケなヤツに武道精神なんかがあるわけないじゃないか。そんな人間がなんでナゴヤドームで始球式やるんだよぉぉ！　アホかぁぁぁぁ！

谷川　KRSとDSEがリッチさとプアーさで逆転現象を起こしたというのがあるんですけど、でも山本さんみたいなことを言う人ってけっこう少ないですよ。今のプロレスファンとか格闘技ファンは「ガチンコかガチンコじゃないか」しか語ってないですから。

山本　それはぁ、恋愛関係でセックスをヤルかヤラないかみたいなもんだから。

大谷　そうそう、ホントホント。

山本　バカげてるんだよぉ、それは。ヤルかヤラないかだけで、恋愛の微妙なところがわからないワケよ。恋愛不在の哲学ですよぉ。

大谷　さすがはキャバクラ王、語りますねえ。

山本　よ～するに、アダルト・ビデオだけを観て育ってる人間ですよぉ。メロドラマとかがないんだよぉ！

谷川　「ガチンコかガチンコじゃないか」だけで語ってるから、ヒクソンとかにスポットを当てるしかないんですよね。だから今回の『プライド』でも真面目にカーロス・バヘットの試合を褒めてるファンもいるもんねえ、「これこそ格闘技だ！」って。

山本　あれこそ、負けないための史上最大の貧乏臭い試合ですよぉ。

谷川　あの試合があの興行をダメにしたんですよ。

山本　いや、あれが格闘技そのものなんだよぉ、格闘技の典型的な試合ですよ！　だから格闘技が好きなヤツはあの試合を物凄く弁護するでしょ。バカくさいんだよぉ、そんなもん観客の前でやるなって。

大谷　あれはアマチュアだからじゃないんですか？

谷川　インターネットでは、「ガチンコかガチンコじゃないか」という論争が本当に多いですよ。だから山本さんみたいに、キャバクラに行ってメロドラマを体験して語る人っていないですよ。そういうファンが大多数っていう現状なんですよ。

山本　いや、キャバクラの極意はぁ、下心をもって行っても面白くないんだよねぇ。要は客とキャバクラ嬢の間でプロレスをやってるワケでしょ。女の子は電話をかけてお客を引っぱろうとするワケよね。こっちは引っかけようとしてるワケでしょ。しかしその中にも虚と実の駆け引きがあるワケよ。で、プロレスをやってるうちにある種、なんて言うかさぁ、輝く純粋な女の子がいたりするワケよ。それを発見する喜びなんだよなぁ。それがメロドラマなんですよ。そういうことが今の人はまったくわからないでしょ。

ヒクソンに武道精神なんてありゃしないよ「銭ゲバ魂」というTシャツを着ろ！

大谷　キャバクラはちょっと違うと思うんだけどなあ。

山本　おんなじですよぉぉぉ！

谷川　ボクはキャバクラにあんまり興味ないからよくわかんないけど（笑）。

――でもプロレスファンが求めてるのがメロドラマっていうのは正しいよね。プロレスは「スタントマンのメロドラマ」だっていう定義もあるくらいで（笑）。

谷川　今のK―1もすべて含めて、やっぱり「ガチンコかガチンコじゃないか」っていう流れの中で、あまりにも格闘技がつまらなくなりましたよね。

山本　つまらないのは当たり前ですよぉ！　ガチンコのようでガチンコでない。

――ベンベン（笑）。

山本　ガチンコでないようでガチンコである。この境目が世の中で一番面白いワケですよぉ。

谷川　今はそういうのがわからないファンを大量に作っちゃってますから。

山本　だから、世の中ぜ～んぶ痴呆化したんですよぉ！

――誰がそういうファンを生んだんだ？

谷川　それを言いたいんですよ。山本さんが『週刊プロレス』でそういうファンを作ったんですよ。

山本　俺じゃねえよぉ！　俺はそんなIQの低いことは全然教えてないよぉ。

谷川　でも、山本さんがプロレスと格闘技を分けたんじゃないんですか（笑）。

山本　いや、プロレスと格闘技を分けて、二元化することによって対立しながら、それをアウフヘーベンとして総合的に活かし高めようとしたんですよぉ。それが二元化した途端に「あれ」か「これ」になってしまったんだよねぇ。

――アウフヘーベンときましたかぁ（笑）。

山本　単純に分けるつもりはまったくないんだよぉ。対立させて、それをクロスさせながらある意味では弁証法的に違うものが誕生するという良さを俺は、つまり文明が交流するみたいな感じでもっていこうとしたワケよ。

谷川　いや、そんな気はしなかったよねぇ（笑）。

大谷　しなかった、しなかった。

山本　谷川ぁ！　お前は俺の下でいったい何を学んだんだぁ！

谷川　貧乏人根性です（笑）。でもボクは全然プロレスと格闘技を分ける気はないんですよぉ。二元化するっていうのは凄くよくわかるんですけど。

山本　一応、二元化しなきゃいかんよ。

谷川　ボクはプロレスと格闘技の境目というか、それこそ小川が面白いし、カーロス・バヘットはつまらないと思ってるタイプですから。

山本　いや、猪木さんは両方を面白いと思わせてるワケでしょ。何をやってもプロレスなのかガチンコなのかって、総合的に発散させてるワケ、ブワ～ッと。それが色気なんだよぉ。だから、ガチンコかガチンコじゃないかなんていうのは色気を感じるはるか以前の世界ですよぉ。

谷川　でも、ほーんとにそんなファンとマスコミしかいないですよ、今は。

山本　いや、よ～するに格闘技がのさばってきたらおかしな話でさ。格闘技というのは「1＋1＝2」の世界だから。プ

新日本に小川が行ったら小川の価値は100分の1に落ちますよ！

ロレスは「3」とか「10」になる世界なんだから。なぜ「3」とか「10」になるか、普通の人はわかんないよね。格闘技は「1＋1＝2」だから、よ～するにガチンコかガチンコでないしかわからないよね。「1＋1＝2」としかわからない人たちが多くなったということですよぉ。キミは「1・5」だけど俺は「1・8」だっていう違いを論争しているんだからプロレスファンは。だから格闘技の世界では「2」でしかあり得ないんだから、論じることは何もないよ、答えはひとつしかないんだから。

大谷　あえて両方を分けるなら、いつも等身大なんだよ、あっちは。

谷川　ボクはね、格闘技も「3」とかになると思うんだけどなあ。

山本　ならない！　それは選手側が拒否してるから。

谷川　だからそれは選手が拒否してるだけであって……。

山本　だって選手は自分のためにやってるんだから。自分の中にしか価値観がないんだから。

谷川　だから、プロレスラーが格闘技の試合をやると凄く面白いんですよ。

山本　谷川！　お前が分けてるじゃないか！

谷川　いやいや、髙田がケアーに負けても何かが残ったし、それは本当に選手の問題だけであって、格闘技の試合でも選手が良ければ「1＋1」が「3」にも「5」にもなると思うんだけどなあ。

山本　それをやってるのが佐藤ルミナですよぉ。宇野を光らせたルミナは「8」とかの世界をやってるよぉ。

大谷　ルミナ選手はプロレスラーだよ。

山本　あれはプロレスラーですよぉ！

谷川　ああいう格闘技がボクは好きなんですよね。

大谷　修斗の四天王（エンセン、朝日、ルミナ、マッハ）は十分プロレスラーの素質はあるよ。

山本　あるけれども、格闘技の世界が持ってる「1＋1＝2」であるということに、逆に縛られてしまって、がんじがらめになってるから、「1＋1＝3」にできないんだよぉ。

谷川　それはホントにK－1も含めて縛られてるだけだと思うんですよ。極真カラテだって「1＋1」が「10」くらいになる世界だと思いますよ。素材としてはいっぱいいるんですよ。

山本　フィリォなんか「1＋1＝100」みたいな男だからなあ。だってアンディだって「1＋1」が「2」じゃなかったから、あれだけブレイクしたんでしょ。

谷川　そうです、そうです。だから選手がブレーキをかけてるだけで、全然面白くなる世界だと思ってるんですけどね。

山本　だから格闘家というのは不幸だよねぇ。勝つことも負けることも両方ともハンデになるんだよ。ハンデというか負の世界になってるワケ。

谷川　観客を意識しない格闘家っていうか、本当にわからない人があまりにも多いからそうなっちゃってるだけの話だと思うんだけどなあ。

山本　いや、観客を意識することが八百長みたいに思ってるんだよねぇ。それは一番の、ハッキリ言って、俺から言わせたらバカげた考え方だよぉ。

大谷　アマチュアの発想からやっぱり抜けられないんですよね、格闘家って。

山本　人間というのは他人から評価されることがすべてで、一番重要なことだからねぇ。他人の評価がなければゼロですよぉ。本能的に観客の評価を気にしないなんていうのはプロじゃないんですよぉ！　俺から言わせたら観客の目を気にしないやつがおかしいんだよぉ。

大谷　山本さん、ちょっと話を展開させたいんだけど「今回、小川が勝ったことで一番喜んでいるのは新日本プロレスだ」みたいに『週刊プロレス』のケンファー佐藤次長が書いていたんですよ。あれはひとつの見方として面白かったんだよね。

山本　セコイなあ、お前の見方は。新日本なんかどうだっていいんだよぉ。

大谷　どうでもよくないって！

山本　新日本に小川が行ったら、小川の価値は100分の1に落ちるんだよぉ。

大谷　いや、違う違う。俺が面白いと言ってるのは新日本を視界に入れたということが面白いと言ってるの。

山本　Ｓｈｏｗ！　お前はやっぱり業界的だ。それはもう前近代的な男だ！

大谷　違う！　いろんなところに飛び火させないと、つまんないんですよ！

山本　視界に入れる価値がないもん、今の新日本は。今の新日本は天山・小島プロレスなんだから。

大谷　あ～あ、そっちにいっちゃった。谷川さんが無言になっちゃったじゃない。

山本　谷川ぁ！　お前、何かしゃべれ！

谷川　い、い、い、いやあ。凄く高尚な話だなあと思って……。

大谷　でも藤波さんが社長になって、猪木さんとUFOがどうなっていくかっていうのが話題になってるわけだから、その視点っていうのがあったというだけでいいじゃない。

山本　そんな、お前、『プライド』で勝ったことが新日本に行くための手土産だと考えたら最悪だよぉ、そんなもん！　お前、最悪人間だよぉ！　もうお前はジャーナリストを辞めろぉ！

大谷　俺はジャーナリストなんてどうでもいいんですよ。自分が面白いと思うことをやってるだけだもん。

山本　面白くねえよ！　お前のやってることはひとつも。

——いいなあ、キラー・ターザン（笑）。

大谷　ダメだ、こりゃ。まったく「葛飾の化石」のくせに！　このポンコツジジイ！　で、なんでしたっけ？

谷川　キミが変に展開したんだろ。

大谷　そうだそうだ、話を戻そう。とこ

PRIDE
緊急大放談

『プライド』の小川や昔の猪木さんは K―1や石井館長にとって驚異ですよ！

ろで山本さんから見て、桜庭和志はリッチなの？ プアーなの？

山本　プアー。

谷川　んあー。

大谷　まだプアーってこと？

山本　ずっとですよぉ。

大谷　それはなんでなの？

山本　それはプロレスの旧来の道場に入って、坊主頭になって一から練習するという、そういう凄さというか、伝統と歴史の中に入ってないから。それはやっぱり全日本と新日本に入らないとリッチさは身につかない。

大谷　それはUインターでもダメなんですか。

山本　Uインターでもダメ。新日本と全日本的なレスラー養成のすべてを含んだオールマイティーな世界じゃなかったということですよぉ。

大谷　はあ～っ、じゃあUWFでさえもプアーなんだ。

山本　新日本と全日本にいたから前田とか佐山とかはリッチだったワケ。それは猪木がリッチだったからですよぉ。プアーとリッチの条件はぁ、お客がチケットを買う気になるかどうかということですよ。桜庭っていうのはチケットを買う気持ちにならんもんなぁ、俺は。髙田だったらなるよ。そこがリッチだと言ってるワケ。そのリッチさにお金を払うんだから。桜庭が強くてもそのリッチさがないんだよぉ、決定的に。

谷川　小川は何が良かったんでしょうねえ。新日本をそんなに体験してないじゃないですか。

山本　今回の小川が良かったのは、グッドリッジが良かったから。グッドリッジの危険さがあったから、小川がその光を浴びたワケよ。あれがグッドリッジじゃなかったら、ただの小川ですよぉ。

――ただの小川（笑）。

谷川　ボクもそう思います。だから、桜庭が新日本の道場とかを体験してなくても輝くとしたら、その方法しかないと思うんですよね。

山本　よ～するに桜庭は、スポーツという感じの中での勝負の決着しか思ってないでしょ。それを超えたところの闘いが出てきたらリッチになるワケ。

――じゃあ山本さん、相対的二元論の核心ですけど、K―1がリッチに見えて、『プライド』がプアーに見えるのはなぜ？ さあ、教えてターザン（笑）。

山本　それはハッキリ言って、K―1のほうが体もデカイし、顔も性格俳優みたいなのが揃ってるから、見た目が全然違うじゃない。それは日本人とか外国人とか関係なしに。素材としてキャラクターがばあ～んっと商品化して成り立ってる。アーツとかベルナルドとかホーストとかぜ～んぶ。存在がリッチだよ、彼らは。

――だから相対的に言ったらね、プロレスは格闘技と比較されてるうちはリッチでいられるけど、K―1を格闘技側じゃなくて世間側として捉えたら、プロレス対世間でまた一気にリッチとプアーの逆転現象が起きるわけですよ。

山本　そうそう、K―1で起きてしまったわけですよぉ。

――だから、ズバリ言ってプロレスはやっぱりプアーなんですよ。そこがまた非常に良かったりするっていうか（笑）。

山本　プアーというか、マイナーというか。マイナーなんだよねぇ。反世間的マイナーなんだ。K―1というのはある意味で世間だから、俺から言わせたら生花じゃなくて造花みたいなもんだよぉ。

谷川　いや、わかりました。要するにやっぱり山本さんはプロレスでボクはK―1だということですよ。

山本　そういうことです！ 谷川ぁ、お前は造花なんですよぉ！

――サダハルンバはリッチ、山本さんはプアーということですね（笑）。

山本　そりゃあそうだな、逆転現象だ！ テレビに出ている谷川のほうがリッチだよなぁ。リッチに見えるよ。よく言われるよ、「谷川さんていつもいい服着てるのに、山本さんはいつもしょぼくれた服着てますね」って。

谷川　いやいや、ボクは薄っぺらな世間なんですよ、いつも。

大谷　俺もリッチになりたいなあ、やっぱり（笑）。

山本　お前は無理です！ だからよ～するに、プロレスは世間的な価値観で押しまくってきた石井館長のK―1という世間的リッチさと、本来はプアーなんだけど格闘技のステイタスみたいなものに挟み撃ち食ってるんだよなぁ。で、両方に負けてるんだよぉ。格闘技と世間に挟み撃ちされてさ、にっちもさっちもいかない状態なんだよぉ、今は。

――それがすべてだね。

山本　でも一応、『プライド6』では格闘技に一矢報いたんだよなぁ。今度はK―1に報いなきゃいかんな。そういうことです！

谷川　挟み撃ちにあって、プロレスは天山・小島みたいになっちゃったんでしょうね。でも、ホントにこの前の小川とか、全盛期の猪木さんのあのマイナー・パワーは……。

山本　あのマイナー・パワーは両者に勝つよぉ。右と左に勝てるよ。

谷川　だから、このあいだの小川はK―1にも勝ってるんですよ。やっぱりそれは石井館長も肌で感じたでしょうね。

山本　あれをやられたら石井館長も脅威を感じるよぉ。

谷川　だから、どんなに強いボブチャンチンだとかヒクソンだとかが出てきても石井館長は脅威を絶対に感じないはずだけど、あの『プライド』での小川とか昔の猪木さんだったら絶対に脅威ですよね。あれは熱狂的な信者を作りますからね。

山本　おい、こんな座談会で谷川の雑誌、イレギュラー起こさねえか？

谷川　イレギュラー起こします……かね、やっぱり。あー、笑いすぎてノド乾いた。Show、ボクにウーロン茶もう一杯もらえる？

山本　もう一杯ぶんしかねえじゃねえか、それペットボトルごとぜ～んぶ俺によこせ！

谷川　んあああああーっ！ ■

修斗&掣圏道・創始者
佐山聡が語る
「小川VSグッドリッジ戦」の謎

インタビュー◎谷川貞治
写真◎中嶋実

7・4『プライド6』で大ブレイクした小川VSグッドリッジ戦。この試合は小川のプロとしての魅力が大爆発したが、果たしてバーリ・トゥーダーとしての実力はどうだったのか。また、この試合にはいくつかの謎がある。それは、立ち技で小川が危なかったこと。グラウンドでは圧倒的に有利だったにもかかわらず、なかなかギブアップが奪えなかったこと。そして、関節技でも、柔道家が得意とするチョークスリーパーや腕ひしぎ十字固めを小川があまり狙わなかったこと、などである。

これらの疑問に、小川のプロレスの師匠であり「修斗」や「掣圏道」を創始した天才格闘家・佐山聡に答えてもらうことにした。佐山は「小川VSグッドリッジ戦」をじっくりビデオで見たあと、次のように語ってくれた。

――今、佐山さんに「小川VSグッドリッジ戦」のビデオを見ていただいたわけですけど、どう感じましたか。

佐山　いやぁー、オーちゃん（小川直也）全然いいですよ、立派、立派。オーちゃんが出せる技術を精一杯出してましたからね。とてもいいですよ。

――佐山さんが結果を聞いてイメージしたことよりも、全然悪くない、と。

佐山　悪くないですよ。最初に殴られたと聞いてたからね。オーちゃんの体を心配したんですけど、見たらちゃんとガードしているし。「殴られた」と聞いた時は、何が原因かなと考えたんですけど、僕が前号で谷川さんに言ったように、オーちゃんはタックルができない。だから密着度がない分だけ、中に入るのに躊躇して、殴られたんじゃないかな、と思っていたんですけどね。でも、あのくらいのボクシング技術の相手だったら大丈夫でしょう。あれは、パンチも当たってないですね。

――なるほどね。寝技はどうでした?

佐山　いいですよね。ただ殴るにしても極めるにしても全力でいかずに、相手が嫌がることをもう少しできたらよかったんですけどね。オーちゃんはグラウンドでの打撃もやってませんでしたからね。寝ての打撃って、凄く難しいんですよ。

――立ってる状態と、どう違うんですか。

佐山　グラウンドの打撃は、テコの原理ですから。足を使えないでしょ。だから、フックにしても、テコの原理で打つんです。腕を振り回しても効かないんですよ。ストレートも、もう少しワキを締めて打たないと効かないんですよ、ハイ。

――寝技はうまかったんですけど、関節技があまり極まらなかったのはなぜですか?

佐山　試合中は興奮状態ですから選手のアドレナリンは上がっている。だからそんなにとれないんですよ。相手がバテないとなかなかとれないんです。だから、凄く関節技のうまい選手でも、バーリ・トゥードで負けることってよくあるんです。それはどんな場合かというと、アキレス腱固めでしっかりキャッチできて「これは極まるぞ、極まるぞ」ってグッと絞り上げる。でも、相手もアドレナリンが上がっていて耐えてしまう。そうしたら、仕掛けている方のスタミナがいっぺんになくなって、力尽きちゃって、逆転されることって凄くあるんです。これが、ガチンコの怖いところです。みんな、そういう経験を経て、もっと相手が嫌がるテクニックをたくさん身につけ、自分のパワーをロスさせずに勝つ方法を学んでいくんですよ。それに、オーちゃんは腕を狙っているんですけど、この相手の腕は凄く太いですね。

――グッドリッジは腕相撲の世界チャンピオンなんです。

佐山　そうですか、そうですか。だから力も強いんじゃないですか。それで極まらないんですよ。オーちゃんも計算してたんじゃないですか。相手が力強いんで、これ以上やったらスタミナが切れて逆転されてしまう。だから思い切って行けない、と。だからヒクソンなんかは、グラウンドで必ず裏返しにして、首を狙いに行きますからね。マウントでのパンチも、はるかにうまい。ヒクソンは嫌がらせの天才ですね。

――はぁ～、小川選手はなんで首をとったり、腕ひしぎ十字固めのような柔道の技を狙わなかったんですかね。

佐山　まず首は、やっぱりヒクソンほど意識的に裏返すことができなかったということですね。その原因は、さっきも言ったようにマウント・パンチを練習やってなかったからです。それと、腕ひしぎ十字固めというのは、リスクの大きな技なんですよ。相手との密着が解けてしまうから、相手は立つことができる。オーちゃんが恐れたのは、そこですよ。アーム・ロックだと、相手に密着したまま技をかけられるじゃないですか。オーちゃんとしては、ずーっと相手を抑え込んでいたかったんでしょうね。ヒクソンだって腕ひしぎは、よっぽどのことじゃないとやりませんよ。高田選手との試合でも、ちゃんと残り時間を聞いて、もし極まらなくて相手に上になられて立たれて

ービングができるヤツ。これが、やっぱ

佐山　出ませんよ。だって、オーちゃん

なぜ首や腕ひしぎを狙わなかったのか?
なぜ関節技がなかなか極まらなかったのか?

もタイムアップになる。そのタイミングを見計らって仕掛けに行ってますよね。ああいう試合じゃ、興奮してるし、汗もあるからなかなか極まらないんですよ。だから、オーちゃんは正解ですね。もし腕ひしぎを狙っていったら、外したグッドリッジが上になり、ボコボコに殴られていましたよ。

——この試合を見て、小川選手の精神状態はどうですか。どこか怖がっていますか。

佐山　それは大丈夫ですよ。もちろん、試合前はオーちゃんだって怖いはずですよ。でも、それはリングに上がる前までですね。アマチュアでも、あれだけ場数を踏んでいたら、それは大丈夫ですよ。だから、オーちゃんがビビッて試合に影響が出たということはないですね。

——ところで佐山さん、時間がなかったんで見てもらえなかったんですけど、最近、桜庭選手がメチャクチャ強いんですよ。今回も、ルタ・リーブレの強豪・ブラガ選手から、腕ひしぎ十字固めで完全に一本取っているんです。

佐山　いいじゃないですか、それ。桜庭選手、知ってますよ、ハイ。

——この前の『プライド5』では、柔術の強豪・ビクトー・ベウフォートにも勝っているんです。

佐山　ええ!? ビクトーにも勝っているの? それは凄いじゃないですか。そんなに強い日本人がいるんだ。

——ええ。修斗の選手以外では、この桜庭選手がダントツですね。で、なぜ強いのか、佐山さんに聞きたいんです。

佐山　見てないからよく分からないけど、一番はやっぱりタックルができるかですよ。総合では、タックルができて、上になれるかどうかが一番重要ですからね。それと、ボクシングができて、ウィービングができるヤツ。これが、やっぱり一番強いわけです、ハイ。

——桜庭選手は、タックルも立ち技もうまいです。

佐山　そういうタイプが一番強いですね。だから、「掣圏道」をやっている人間が総合でも強いという結論になるんです（笑）。桜庭選手は、「掣圏道」の試合に出ても、きっと強いはずですよ。

——じゃあ、もうグレイシーも勝てなくなってきてると。

佐山　そうです。ヒクソンなんかは、寝技がうまくて「極め」の強い選手ですからいいんですけど、タックルがうまくてボクシングができる人間だったら、柔術の人も勝てなくなってきてますね。だから、オーちゃんもバーリ・トゥードやるなら、一番足りないのは「掣圏道」の技術ですね。

——そうかぁ。でも、小川選手の存在はやっぱり面白いなぁ。次が楽しみだ。

佐山　でも、もうオーちゃんはやらないでしょう。勝ち逃げしますよー。

——え!? もう出ないんですか。

佐山　出ませんよ。だって、オーちゃんは日本一のプロレスラーになろうとしているんですから。出るわけないじゃないですか。

——やっぱり、そうかぁ。でも、もったいないなぁ。

佐山　それは、そうですよ。でも、オーちゃんは持っている技術を全部出してますよ。僕はオーちゃんがどれだけできるか分かりますから、今回は凄くよくやったってことですね。

PRIDE 大ブレイクの行方

▲小川がアームロックにこだわったのは、上になられるのを恐れたからだった

もっと知りたい マーク・ケアーの素顔

インタビュー◎"Show"大谷泰顕

「霊長類最強の男」の異名を持つマーク・ケアー。7・4プライド6での高田延彦戦の激闘の興奮覚めやらぬまま、本誌は大会翌日そのケアーをキャッチした。
しかしながら、ケアーは帰国直前ということもあり、あまり時間がない。それでも本誌は、ぜひとも聞きたかった事柄だけを聞いた。それは「霊長類最強の男」の初恋話である——。

——ケアーさん、昨日の高田延彦戦での激勝おめでとうございます。
ケアー　ありがとうございます。
——まず昨日の試合を振り返ってもらいたいんですが。
ケアー　まず、パンチで終わることなく、キチンと自分の関節技のテクニックを見せられたことが凄く嬉しいね。
——ケアーさんの闘いは、アグレッシブな殴り合いを連想するけど、実は凄くテクニシャンなんですね。
ケアー　ハハハハハ。前回の試合よりも今回、今回よりも次回というかたちで、少しずつでも上達しようという気持ちをもって闘っているからじゃないかな。
——戦前は「高田を1分で倒す」と言っていましたけど、実際には1分では倒せませんでしたね。
ケアー　うーん、彼の最初の試合（97年のヒクソン・グレイシー戦）を見たんだ。それから比べると、今回の彼の闘い方は凄く頑張っていたし、いろんな成果というか、闘いに向けてのコンディションづくりが素晴らしかったと思うんだ。その意味においては彼を尊敬しているよ。
——では、ゲーリー・グッドリッジに勝った小川直也選手の印象はどうですか？
ケアー　彼の試合には凄く驚いたね。この競技での経験がないにもかかわらず、あそこまで自分の技を見せることができるなんて素晴らしいよ。

「霊長類最強の男」が初恋を語る。
これを衝撃と言わずして、何を衝撃というのか!!

"霊長類最強の男"から、ついに初恋話をゲット!!
「僕が初めてキスをしたのは……」

——次はエンセン井上選手との対戦が実現するのでは、という話がありますけど、彼に関する印象を教えてください。
ケアー　彼は日本人選手の中ではちょっと一風変わったというか、頭一つ出ているファイターだと思うね。きっと、闘ったらハードな試合になると思うよ。
——お互いに激しくやり合うような試合になります？
ケアー　今までのエンセン選手の試合は、凄くアグレッシブなファイトが多いだろう？　確かに昨日のミスタータカダもアグレッシブだったけど、それよりもさらに攻撃的に向かってくると思うね。
——それはそうと、ケアーさんがどんな人柄なのか、もっと日本のファンに知ってもらいたいと思って、今日はインタビューに来たんです。あ、でももう時間がないんですよね。じゃあ、まずどんな子供だったんでしょうか。やっぱり子供の頃からケンカ好きだったんですか？
ケアー　ハハハハ、小さい頃はケンカをするような子供ではなかったよ。凄くスポーツが好きで、アメリカン・フットボールやベースボールやトラック＆フィールド（陸上競技）などをやっていたね。
——イタズラッ子ということは？
ケアー　イタズラッ子ではなかったね。本当にスポーツが好きで、スポーツばかりに夢中だった、強いて言うなら普通の子供だったね。特別に優れていたわけでもないし、悪いところもなかったから。
——兄弟はいるんですか？
ケアー　お兄さんが2人とお姉さんが2人いて、私は5人兄弟の一番下だよ。
——ところで、今日は絶対に聞こうと思っていたんですけど、怪物のように強いケアーさんの初恋って、いつですか？
ケアー　ファーストラブ？
——いやいや、初エッチじゃなくて、淡い恋のほうです（笑）。
ケアー　キミは変わった質問をするね（笑）。それなら幼稚園の時にデビー・グレースちゃんという女の子に夢中になったんだよ。私が初めてキスをしたのがその女の子だね（ポッ♡）。
——きっと凄くカワイイ子だったんでしょうね。大人になってから、その女の子に会ったことはありますか？
ケアー　確かにその女の子に対して、子供の頃は凄くカワイイと思っていた。でも、大人になってからの彼女を見たら、「今はもういいよ」っていう感じで、全然魅力を感じなくなってしまってね（笑）。というのは、私が1年間で体重が20キロ増えて、身長が5インチ（約13センチ）も伸びてしまったから、彼女と不釣り合いにもなってしまったんだよ。
——うーん、そうかあ。それは残念な話ですね。あ、もうこんな時間だ。そういった経験を経て、アマチュア・レスリングを始めるわけですね。
ケアー　え!?　まあー、そういうことだね（笑）。
——アマチュア時代のレコードを教えて

もらえますか?

ケアー　約12年間で350勝70敗くらいだと思うね。プロになってからは、現時点で19勝無敗だけどね。

――結局、アマレスではアトランタ・オリンピックの代表に選ばれなかったわけですけど、それが結果的にバーリ・トゥードにつながったと考えていいですか?

ケアー　オリンピックに向けて自分の人生のすべてを懸けてきたというのは、確かにその通りだよ。ただ、それは単にレスリングをやってきた過程なんだ。その当時の最終目標はそこにあったけど、実際に今選んだ道（プロ）は、なるべくしてなったんじゃないかと思っているね。

――オリンピック代表に選ばれなかった時点で、目標を失ったのではないかと思いますが、それでたとえば酒浸りになったりとか、女性に走るとか、そういうことにならなかったのはなぜなんでしょう。

ケアー　ハハハハハ。キミは昨日、寝てないんじゃないか（笑）。それに関しては、両親に恵まれたというか、小さい頃からの躾というか、何事も一生懸命にやれば必ず成果が伴ってくると思っていたから、私はそんなことにはならなかったよ。今回は自分の出番ではなかったと頭の切り替えがキチンとできたからね。

――すみません。昨日は試合レポートを徹夜で入稿してまして、本当に寝てないんです（と弁明）。

ケアー　まあ、私はいろんな問題がある度に、その物事から習うことはたくさんあると思ってるし、ポジティブになるべきだ、と思っている。ポジティブにやっていたほうが、自分にとっていい結果が出せると信じてやってきたからね。

――じゃあ逆に、ケアーさんが最近で一番落ち込んだことって何ですか?

ケアー　そうだなあ……。3年前に母を亡くしたんだよ。実は、ちょうど母の命日が昨日の「インディペンデンス・デイ」、7月4日なんだ。母はいつも私のそばにいてくれたし、一番のトレーナーであり、コーチであり、チアリーダーだった。その母の誕生日に（髙田と）試合をするということが、私にとって凄く感慨深いものがあったね。最近ではその母の死が一番のショックだったね。

▲イメージは「野獣」なのに、実はとっても「テクニシャン」だったケアー

PRIDE 大ブレイクの行方

――すみません。ツライことを思い出させてしまって。その時に酒浸りになったり、女性に走ったりは……?

ケアー　そんなに私の酒浸りの生活や、女性に溺れるところが見たいのか?

――い、いえいえ、決してそんなことはないんですけど……（汗）。あっ、時間がない！　じゃあ、ケアーさんが今までに私生活でキレたことを教えてください。

ケアー　それに近いことは過去に2、3回あったと思うよ。ただ、それは自分の機嫌が悪かったり、逆に相手の機嫌が悪かったり、あまりにも常識のない人たちの言っていることに腹が立ったということだけだよ。今は、なるべくそういう人たちには近づかないようにしているし、キレないように意識的に努めてるんだ。だから私は、キミがイメージしているような野獣ではないんだよ（笑）。

――いや、ケアーさんがキレたら、3人くらいまとめて投げちゃったりするんじゃないかと思ったものですから（苦笑）。

ケアー　だから、そういうシチュエーションを避けようと努めてるんだよ。でも、もし私の彼女が他の男と問題を起こしたら、そういうことになるかもしれない。キミには申し訳ないけど、今のところそういうことは一度もないけどね（笑）。

――わけのわからないことばかり言ってすみません。［ここで広報担当者が「すいません、もうホテルを出ないといけないので、そろそろ終わりにしてもらえないでしょうか」と終了を告げる］

――えーっ!?　そんな、もっとたくさん聞きたいのに……。じゃあ最後に聞きますけど、ケアーさんは、自分が「霊長類最強の男」と言われることに関しては、どう思っていますか?

ケアー　それは凄く嬉しいですね。

――嬉しい?

ケアー　「霊長類最強の男」というのは最高の褒め言葉だと思っているからね。

――あっ、じゃあじゃあ……。

ケアー　申し訳ない。もう出ないと帰りの飛行機に間に合わないみたいだ。今日はこれで終わりにしないと。

――すみません。また日本に来た時に、初恋の話をたくさん聞かせてくださーい。

［あとがき］

髙田戦でさらに強さの幻想が膨らんだマーク・ケアー。今回は時間がなかったが、次回の来日ではさらにケアーの素顔を追っていきたい。

◆

「せっかく、髙田選手に勝ったケアーを売り出そうとしているのに、もっとまともなインタビューをとってきやがれ!!（怒）」（谷川編集長談）

す、す、すいませーん!!

マーク・ケアー

身長185センチ、体重114キロ。1968年12月21日、アメリカ・オハイオ州出身。92年のNCAAフリースタイルレスリング100キロ級で優勝。アマレスでの輝かしい戦績を引っ提げ、第3回WVCトーナメント（ブラジル）で優勝。その後は、第14、15回のUFCヘビー級トーナメントで優勝。98年からは『プライド』シリーズにも参戦し、ウゴ・デュアルチ、ペドロ・オタービオ、ブランコ・シカティックを撃破した。今年2月にはアブダビ・コンバット98キロ超級でも優勝。去る7月4日『プライド6』では横浜アリーナで髙田延彦を下す。

好きです、メキシコ……

好評連載

アレクの武者修行日記 ümpfer ンムファー 第3回

※「ンムファー」とは、ドイツ語で"闘士"の意味、ではありません。

もっとツルツルに、さらにピッカピカに…

ああ、急きょアレクの帰国が決まったのに、この日記はまだ6月中旬。どうしよう……。無期限だってのにずいぶん帰ってくるの早くないか? ひっそりと100号くらいこの連載は続けようと思っていたのだが。まぁ、アレクの試合がまた日本で見られるのは嬉しい事なので、良しとしましょう。というわけで、次号で最終回です。ラス前をどうぞ!

文&イラスト◎アレク

○6月10日

ここん所、毎日書いてるぞ。楽しい&嬉しい事も書いてはいるものの、やっぱりヤツが一緒なだけに数倍ムカツク事があるんだよね~これが。昨日がかなりキテたんで、ついでに今日もムカツク話にするわ。

ま、今日の事ではないんやけど、ん~と? そーじゃ! 昨日の事じゃ! 昨日書いた事があまりに激しかったんで、忘れとった。6月4日に書いたインターネットのアクセスの件で、教えてもらった場所をその日にヤツに教えてやったら、2~3日前に行ってきたらしい。そしたら、コンピューター学校の人が言ってたよりも、もう少し歩いた所にインターネット・カフェがあったらしくて、そこでやってきたらしい。そこでヤツに場所を聞いたら、5~10分歩けばそこに行けるって教えてくれたので、昨日行ったら! ここまで書いたら大体、この先は見当がつくと思いますが、いちを書きますネ。思ったとおりないんですよ~、10分以上歩いても。アンにゃろー! ホント殺してやりたい!

もう一つ、同じような事が今日もあったんです。以前、ヤツが大きなショッピングモールに行ってきた。「アソコの道をまっすぐタクシーでいけば、13~15ペソくらいの所(つまり歩くと20~30分くらい)にあるよ」って言うから、歩いていってみたらとんでもない。結局1時間15分くらい歩いてようやく着いた。しかも、ヤツが言ってたほど大した事はなかった。ホンマ、ヤツは適当な事しか言わねーな~。もう二度と信じねぇ~!!!!

まだ、この日記に出てこない人達がたくさんいるけど、今のところ皆ワイにとっては、良い人ばかり。ただ一人、ヤツだけは殺してやりたい!!!!!

明日は楽しかった事が書けるといいなぁ~。

○6月11日

はじめの頃は、ヤツと一緒にトレーニングに行ってたけど、最近全然一緒に行ってない。大抵ワイが先に起きるんやけど、ヤツが起きないように静かに準備して、こっそり出て行くんやけど(ヤツが来んかったら、気持ちよく練習できるので)、ヤツは来るんよなぁ~。ホンマ、ムカツク。それで今日もそうやってこっそり出てきたのに、来てしもーたけん、リングでの練習だったけど「今日はやっぱやめとこ~」って断った。その分、ウェイトを頑張ってやったからまぁいいや、それにここん所全然休んでなかったけん、今日の半日と明日一日ゆっくり休も~や。

○6月12日

本当にゆっくりと休んだ一日でした。

○6月13日

本当に昨日は休めたよ。試合の予定があったけど、野外の会場で大雨が降ったんで中止。良かった。でも帰りのバスは、雨の影響で3時間で帰れる所を4時間半以上かかってしまった。しかし、この雨がのちに、更なる波紋を呼ぶことになろうとは、この時点ではまったく思ってもいなかった……。

ホテルに帰ってきて、ガガ~ン! 部屋が水浸し!! 幸いベッドには影響がなかったので、寝ることにした。でも全然寝れず、本を読んだりして眠気を呼ぼうとしてもなかなか寝れなくて結局、朝6時頃に寝はじめたんやけど、またしても災難が(朝7時過ぎの事)! 雨漏りがワイの顔にまで侵攻してきやがった。さすがに我慢できず、フロントに言って、部屋を変えてもらうようにした。今と同じ部屋がないらしく、シングルでもいいか、と聞かれた。答えはもちろんイエ~ス!!! 願ったり叶ったりである。ところが、ここでまたヤツのワガママがはじまった。フロントに「ひと部屋はすぐに用意できるが、もうひと部屋は少し待ってほしい」と言われ、ワイにはすぐ入れるほうのカギが渡された。そしたらヤツが「どうしてすぐに部屋へ入れないんだ!」って怒りだし始めた。ワイが「だから、ほんの少し待ってくれって、掃除のおばさんが言ってるだろ!」って言っても聞かない。しょーがないので、ワイのカギをヤツに渡して、ワイが後の部屋に入ることにした。しかしヤツは「ありがとう」の一言も言わずにとっとと部屋を移しはじめた。今までのことでもはらわた煮えくり返っているのに、さすがのワイももう許せねえ!

その日の会場控室でもずっと、ヤツを無視することにしていた。なのに、ヤツは何も気づかずにワイの隣に座り、ワイは逃げるように別の所へ移るが、ヤツはまた隣に座る。ようやく近くに来なくなったのだが、ヤツにはブスーっとした顔をして他の人にはニコニコしていたら、ようやくわかったらしく「アレク、もしかしてオレに対して、何か怒ってるのか?」って聞いてきた。

今朝あんな態度をワイにしておきながら、よく「もしかして」なんか言えるなぁ! もしかせんでも、オマエに対してだじょ~って思ったワイはブ然として、

アレク「あ~そうだよ! オマエに怒ってんだよ!」

ヤツ「どうして~?」

アレク「どうして~!? 今朝のオマエの態度はなんなんだ!」

ヤツ「だって雨漏りしてて、あんまり寝られなかったから……」

アレク「ワイやって、あんまり寝れてないんじょ~。『ちょっと待ってくれ』って言よんが、なんでわからん!? なんで待てん!? 子供じゃあるまいし、エーッ!!」

ヤツ「あー悪かった。本当にすまなかった。あの時は、本当に眠たくて……、でもそんなの言い訳にならない。本当に悪かった、すまない!」

ヤツは深々と頭を下げて謝った。

ヤツ「許してくれるかい?」

アレク「あー、もういいよ。わかってくれたし、終わったことだから」

この時ワイは、ものすごくイイ気分だった。なんだかわからないけど、イイ気分だった。ただひとつわかったことは、日本ではすごく憎たらしい人のことを「スッキリ」許せたことなどなかった。日本人ではなかなか、こんな風に仲直りできないよなー、としみじみ思えたのであった。

ヤツの名は、マイク。二度と「ヤツ」とは呼びません。

仕事は別だけど……。

○6月19日

久しぶりぃ~。この五日間まったくパワーブックを開けなかった。なぜなら、まずイラストを見てほしい。どうですか? どう見ても、18歳には見えないですよ、これは。イラストじゃわかんないか……。実物は絶対に20代半ばだなぁ。

Gerardo ヘラルド 18才?

このヘラルド、ワイと同じジムに行ってて、他のルチャドールと友達だったのがきっかけで、ワイも友達になったんよ。一回みんなで遊びにいった時は良かったんやけど、二回目からおかしくなってきた。

こっちの飲み屋は、簡単にいうと二種類あって、ひとつは普通の食堂みたいな所にジュークボックスが置いてあって、ガンガン大音量で音楽が流れてるだけってパターンと、もうひとつは、ちょっと薄暗くしてある所に小さいステージがあり、そこでストリッパーがダンスを踊ってて、その周りで飲むというパターンがある。もちろん、ヘラルドは後者のほうが好き。って、もちろんワイもそっちのほうがイインやけど、ヘラルド行き着けの「ロサンゼルス」って店は、4~5人踊り子がおって、ひとり以外は皆、腹が出てて大なり小なりデブである。デブじゃないひとりは、逆に激ヤセな娘である。とにかくヘラルドに週に4回ほど、この店に連れてこられた。他のルチャドールに聞いた。

「どうして、ヘラルドはこの店ばっかり来るん? 毎日同じ娘が踊って、同じダンスに同じ音楽! なにが楽しいん?」

すると、そいつにも「わからない」って言われた。

さすがに5回目にヘラルドに誘われた時は、「ノー」と答えた。

(つづく)

7/23 FRI ～ 8/12THU
CALENDAR

日付	
7/23 FRI	★『SRS・DX』創刊3号発売日
7/24 SAT	■新日本キックボクシング協会/後楽園ホール（17:15～）⬅p55 ◆K-1 SPIRITS '99（JAPAN GRAND PRIX '99）/チケット全国先行予約⬅p52
7/25 SUN	■アジア太平洋キックボクシング連盟/神奈川・鶴見青果市場（14:00～）⬅p56 ◆K-1 GRAND PRIX '99 開幕戦/チケット先行予約⬅p52 ◆パンクラス『KING OF PANCRASE TITLEMATCH』/チケット一般発売⬅p53
7/26 MON	
7/27 TUE	◆K-1 GRAND PRIX '99 開幕戦/関西テレビ『SOLD OUT』番組チケット特別予約⬅p52
7/28 WED	
7/29 THU	●フジテレビ系『SRS』（25:20～25:50）放送⬅p75
7/30 FRI	■掣圏道/北海道・札幌中島体育センター（18:30～）⬅p53
7/31 SAT	
8/1 SUN	■パンクラス/後楽園ホール（昼の部14:00～、夜の部17:30～）⬅p53 ◆K-1 SPIRITS '99（JAPAN GRAND PRIX '99）/一般発売⬅p52 ◆極真会館『第7回全世界空手道選手権大会』/チケット発売⬅p56
8/2 MON	
8/3 TUE	
8/4 WED	■修斗/東京・北沢タウンホール（18:30～）⬅p54
8/5 THU	●フジテレビ系『SRS』（25:20～25:50）放送⬅p75
8/6 FRI	
8/7 SAT	
8/8 SUN	■アマ修斗/東京・台東リバーサイドスポーツセンター（10:30～）⬅p54 ■K-U/東京・八王子FSG（16:00～）⬅p55 ■日本キックボクシング連盟/水戸市民体育館（17:30～）⬅p56
8/9 MON	■日本女子ボクシング協会/東京・北沢タウンホール（18:30～）⬅p57
8/10 TUE	
8/11 WED	★『SRS・DX』4号発売日
8/12 THU	●フジテレビ系『SRS』（25:20～25:50）放送⬅p75

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

大会ガイド＆チケット情報 …………P.52
浅草キッドのイチ押しイベント ………P.58
SRS番組インフォメーション …………P.75
TV GUIDE …………………………P.76
BOOK ………………………………P.78
GOODS ……………………………P.79
ET CETRA …………………………P.80
GOODS & TICKETS イエローページ P.81
星座別タロット占い …………………P.82

んかったら、気持ちよく練習できるので、ヤツは
アレク「どうして～!? 今朝のオマエの態度はなん
しい。どうですか？ どう見ても、18歳には見えな
」と答えた。

ヘビー級日本最強の座は誰の手に？
武蔵、中迫の"佐竹越え"にも期待

8/22

K-1ジャパン・シリーズ

K-1 SPIRITS'99～魂の戦い～JAPAN GRAND PRIX'99

東京・有明コロシアム

◆開場/11:00　試合開始/12:30
◆出場予定選手/佐竹雅昭、武蔵、中迫剛、安生洋二、長井満也、村上竜司、アンディ・フグ、マイク・ベルナルドほか
◆入場料/SRS席20,000円　SS席15,000円　S席8,000円　A席5,000円
◆チケット発売日/[先行予約]7月24日(土)10:00～[一斉発売]8月1日(日)10:00～
◆会場アクセス/マップを参照
◆お問い合わせ/K-1 JAPAN事務局☎03-3796-2977

K-1初進出となる有明コロシアムで開催される今大会。グランプリ日本代表の座を賭けたトーナメントが行われ、上位2名が出場権を獲得するわけだが、同時に武蔵と中迫剛の"佐竹越え"にも注目が集まる。6.20『K-1ブレーブス』福岡大会でK・ウォーカーにリベンジを果たして波に乗る武蔵と、7.18『K-1ドリーム』名古屋大会後、ボスジムでトレーニングを行う予定の中迫。2人の実力はもはや佐竹に限りなく近づいていると言える。だが、紙一重の実力差に見えて、それがなかなか埋らないのが現状だ。日本勢の高い壁であるだけでなく、さらに成長を続けている佐竹に武蔵、中迫がどう挑むのか。K-1の未来を担う2人の活躍に期待したい。

◎K-1 SPIRITS'99～魂の戦い～JAPAN GRAND PRIX'99 チケット発売所

[全国先行予約発売]7月24日(土)10:00～
チケットぴあ　☎(特電)03-5237-9933
チケットセゾン　☎(特電)0570-00-9911
ローソンチケット　☎(特電)03-3569-9611
CNプレイガイド　☎(特電)03-5802-9955
キョードー東京　☎(特電)0570-02-9911
[全国一斉発売]8月1日(日)10:00～
チケットぴあ　☎03-5237-9999
チケットセゾン　☎03-3250-9999
ローソンチケット　☎03-3573-1015
CNプレイガイド　☎03-5802-9999

広報／石井俊治
世界王者となった武蔵、ウェイトアップを果たした中迫、3戦全勝の天田。一体誰がトップの座を取るのか？　真の日本一を決めるこのトーナメント、皆様、ぜひ会場に足を運んで、日本最強が誰かを確認してください。

有明テニスの森
至お台場
有明コロシアム
東京都立有明テニスの森公園
首都高速湾岸道路
国際展示場駅
有明

K-1グランプリ・シリーズ

K-1GRAND PRIX'99ALL STARS〈開幕戦〉
10月3日(日)　大阪ドーム

◆開場/11:00　試合開始/13:00
◆出場予定選手/ピーター・アーツ、アンディ・フグ、マイク・ベルナルド、サム・グレコ、アーネスト・ホースト、フランシスコ・フィリォ、レイ・セフォー、佐竹雅昭、ジャビット・バイラミ、ロイド・ヴァン・ダムほか、K-1 DREAM'99トーナメント上位2名、K-1ジャパングランプリ'99上位2名、館長推薦枠2名
◆入場料/SRS席30,000円　RS席20,000円　SS席15,000円　S席10,000円　A席5,000円
◆チケット発売日/[先行予約]7月25日(日)[関西テレビ『SOLD OUT』番組特別予約]7月27日(火)放送開始～28:00[一斉発売]8月29日(日)
◆会場アクセス/地下鉄大阪ドーム前千代崎駅すぐ、地下鉄九条駅徒歩9分、JR環状線大正駅徒歩7分
◆お問い合わせ/ステージア・K-1大阪事務局☎06-6344-4441、K-1GRAND PRIX事務局☎03-3796-2977

K-1 GRAND PRIX'99決勝戦
12月5日(日)　東京ドーム

詳細未定
◆会場アクセス/P57のマップを参照
◆お問い合わせ/K-1 GRAND PRIX事務局☎03-3796-2977

◎K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS 開幕戦チケット発売所

[番組特別予約]
7月27日(火)放送開始28:00～
関西テレビ『SOLD OUT』
☎0570-00-0098
[一斉発売]8月29日(日)
チケットぴあ　☎(特電)06-6363-9911
※8月30日(月)～　☎06-6363-9999
チケットセゾン　☎(特電)0570-00-0097
※8月30日(月)～　☎06-6232-9999
ローソンチケット　☎(特電)06-6369-6655
※8月30日(月)～　☎06-6369-6633
(Lコード　55600)

大会ガイド&チケット情報

◎主なチケット発売所は、P81『イエローページ』をご覧下さい

撃圏道協会

撃圏道SAトーナメント

北海道・札幌中島体育センター 7/30

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆内容/4階級のリーグ戦とフリーファイティング3試合。アブソリュート・ファイト(ロシア版アルティメット)の試合も予定。
◆入場料/リングサイド席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/本間興業(株)札幌支社、チケットセゾン、4プラプレイガイド、大丸プレイガイド
◆会場アクセス/地下鉄南北線幌平橋駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/本間興業株式会社(札幌支社)☎011-531-0111

◎初代SAボクシング王者決定リーグ戦、この男たちに注目!
《ミドル級》
ナグニビダ・ルスラン(ロシア)
※キックボクシング。97年ロシア・キックボクシング選手権優勝
《ヘビー級》
恩田武範(日本)
※グローブ空手。アマチュア戦績5戦4勝1敗4ＫＯ
《スーパーヘビー級》
キルサノフ・アンドレイ(ロシア)
※キックボクシング。98年WKAヨーロッパキックボクシング選手権優勝
スルタンマゴメドフ・カフカズ(ロシア)
※アブソリュート。98年ロシアンアブソリュート(アルティメット)ユーラシアカップ優勝。99年ロシアンアブソリュート世界選手権優勝

噂の"市街地型実戦格闘技"がいよいよ発進 佐山聡の理想が北海道で結実するか!?

ついにベールを脱いだ佐山聡の新格闘技・撃圏道。7月10日の旗揚げ戦から続く北海道シリーズでは、ミドル、ライトヘビー、ヘビー、スーパーヘビーの4階級で総当たりリーグ戦が行われる。そして、7月30日の札幌大会では各階級の1、2位が決定。9月の有明コロシアム大会では、各階級の初代SAボクシング王者がアメリカ、ヨーロッパの選手と対抗戦を行うというスケールの大きなプランも予定されている。その闘いの中で選手たちに課せられるのは、"撃圏道アンリミテッド/SAボクシングの完成"という使命。ロシアからやってきた強豪たちが、果たしてどれだけ佐山聡の掲げる撃圏道の理想に近づけるのか。現在はニープレスからの打撃に課題を残すと言われる選手たち。佐山は彼らを「素材は120点、現状は60点」と評している。だが、その「120点」の素材が開花すれば…。撃圏道が、歴史に残るエポックメイキングな格闘技になることは想像に難くない。

パンクラス

NEO BLOOD TOURNAMENT

東京・後楽園ホール 8/1

◎NEO BLOOD TOURNAMENT
- 渡辺大介(パンクラス横浜)
- 井場正知(誠ジム)
- 美濃輪育久(パンクラス横浜)
- 高瀬大樹(和術慧舟會)
- 窪田幸生(パンクラス横浜)
- 須藤元気(ビバリーヒルズ柔術クラブ)
- 石井大輔(パンクラス横浜)
- 豊永稔(高田道場)

トーナメント組み合わせ決定! 21世紀のエースに名乗りをあげるのは誰だ!?

[昼の部]
◆開場/13:00　試合開始/14:00
[夜の部]
◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/SS席12,000円　S席9,000円　A席6,500円　B席4,500円　立見3,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、CNプレイガイド、オデッセー、ローソンチケット、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、チャンピオン、書泉ブックマート、後楽園ホール、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ、YOKOHAMA AO CORNER、板橋大山アメリカン、パンクラス
◆会場アクセス/P57のMAPを参照
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 1999 BEAKTHROUHGH TOUR　仙台大会
9月4日(土)　宮城・仙台市泉総合体育館
◆出場予定選手/(東京道場)冨宅飛駈、高橋義生、山田学、渋谷修身、渡辺大介、山宮恵一郎、石井大輔、渡部謙吾、菊田早苗、(横浜道場)柳澤龍志、稲垣克臣、國奥麒樹真、伊藤崇文、近藤有己、窪田幸生、美濃輪育久、(外国人選手)セーム・シュルト、エヴァン・ターナー、ジェイソン・デルーシア、ジョン・ローバー、リオン・ダイク
◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/SS席12,000円　A席7,000円　B席5,000円　2F-A席6,500円　2F-B席4,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット(Lコード22120)、パンクラス、ams西武、サイカワスポーツ、藤崎、エスパル
◆開場アクセス/地下鉄泉中央駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/キョードー東北☎022-296-8888、パンクラス☎03-5792-0815

KING OF PANCRASE TITLEMATCH
9月18日(土)　千葉・東京ベイN.K.ホール
◆開場/16:30　試合開始/18:00
◆入場料/SS席16,000円　RS-A席8,000円　RS-B7,000円　ST-A10,500円　ST-B7,000円 ST-C5,000円
◆チケット発売/7月25日(日)一般発売
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、YOKOHAMA AO CORNER、パンクラス
◆会場アクセス/P57のマップ参照
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

リングス

RISE 5th

神奈川・横浜文化体育館 8/19

"アフター前田"時代を模索するリングス マットを自分の色に染めるのは誰だ!?

前田日明が去って早くも半年がたつリングス。rAwチームの出場キャンセル、興行形態が2ヵ月に1回になるなど、不安材料もあるにはあったが、6.24後楽園大会で大爆発！熱戦の連続で沸きに沸いた観客からは、ついに大"リングスコール"さえ発生した。そして、さらなる爆発が予想される8/19横浜大会。現在の群雄割拠状態から一歩抜け出し、マットを自分の色で染めるのは誰か!?　リングスから決して目を離すな！

◆開場/18:00　試合開始/19:00
◆主な対戦カード/未定
◆入場料/ロイヤルリングサイド20,000円　アリーナリングサイド15,000円　リングサイド10,000円　アリーナSS6,000円　スタンドS7,000円　スタンドA5,000円　スタンドB3,000円　学生特別優待席A2,000円　学生特別優待席B1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、CNプレイガイド、ローソンチケット、オデッセー、後楽園ホール、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋
◆会場アクセス/P57のマップを参照
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999、WOWOW情報ダイヤル(24時間テープ案内)☎045-683-8009

BATTLE GENESISVol.5
9月15日(祝・水)　東京・後楽園ホール
◆詳細未定
◆会場アクセス/P57のマップを参照
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999

大会名未定
10月28日(木)　東京・国立代々木第2体育館
◆詳細未定
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999

キックボクシング

全日本キックボクシング連盟

名門ジム・SVGが復帰。強豪の参入で全日本キックがますますヒートアップ！

7月13日（火）、後楽園ホール内展示会場にて記者会見が行われ、ニュージャパンキックに所属していたSVG（シンサック・ビクトリー・ジム）の全日本キック復帰が発表された。SVGといえば、多くの王者を輩出してきた名門ジム。今回の復帰で、SVG所属の新田明臣らNJKFの王者（現在は返上）も全日本キックのリングに参戦することになる。9月大会では、早くも山田隆博vs安川賢、ヌンポントーンvs新田の注目カードが決定している。

WAVE-V 東京・後楽園ホール 8/17

◆開場/17:30　試合開始/18:30

◎主な対戦カード

〈メインイベント/日本・ニュージーランド国際戦〉
魔裟斗（藤）vsスティーブ・ミッチ（ニュージーランド）

〈セミファイナル/日本・ニュージーランド国際戦〉
小比類巻貴之（J-NETWORK/アクティブJ）vsニック・ミシュチ（ニュージーランド）

立嶋篤史（谷山）vs X

横山潔昌（谷山）vs佃正晃（J-NETWORK/アクティブJ）

◆入場料/RS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円　一般立見3,500円（当日のみ）※当日は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟
◆会場アクセス/P57のマップを参照
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

WAVE-VI 東京・後楽園ホール 9/3

◆開場/17:00　試合開始/17:30

◎主な対戦カード

〈スペシャルマッチ〉
山田隆博（谷山）vs安川賢（SVG）

ヌンポントーン・バンコクストアー（タイ）vs新田明臣（SVG）

※そのほか、土屋ジョー、金沢久幸、小林聡が出場予定

◆入場料/RS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円　一般立見3,500円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟
◆会場アクセス/P57のマップを参照
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

WAVE-VII
10月8日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆出場予定選手/内田康弘、林田欧ほか
◆チケット発売/未定
◆会場アクセス/P57のマップを参照
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

WAVE-VIII
11月22日（月）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
詳細未定
◆会場アクセス/P57のマップを参照
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

総合格闘技＆ノールール系

修斗

下北沢修斗劇場第4弾 浪速からの挑戦状
東京・北沢タウンホール 8/4

◆試合開始/18:30
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/後楽園ホール、書泉ブックマート、ファイター、フィットネスショップ水道橋、パレストラ（☎）03-5984-3209、格闘技チケット（インターネット予約）
◆会場アクセス/P57のマップ参照
◆お問い合わせ/総合格闘技木口道場修斗教室☎044-988-3633

◎対戦カード

〈メインイベント・ウェルター級2R〉
伊藤武則（格闘結社田中塾）vs阿部和也（パレストラ）

〈セミファイナル・ウェルター級2R〉
石川真（PUREBREDシューティングジム大宮）vs三島☆ド根性ノ助（格闘サークルコブラ会）

南部陽平（シューティングジム横浜）vsレッド・スレイヤー・ガイ（総合格闘技夢想戦術）

的場家木（PUREBREDシューティングジム大宮）vs三宅力（総合格闘技木口道場）

西山典男（K'z FACTORY）vs太田吉信（四王塾）

第6回全日本アマチュア修斗選手権大会
8月8日（日）　東京・台東リバーサイドスポーツセンター

◆開会式/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄銀座線浅草駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

IV　修斗　the Renaxis
9月5日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、ローソンチケット、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋、ファイター、格闘技チケット（インターネット予約）
◆会場アクセス/P57のマップを参照
◆お問い合わせ/イーフォース・ジャパン☎047-378-6400

大会名未定
10月6日（水）東京・北沢タウンホール

詳細未定
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5 分
◆お問い合わせ/総合格闘技木口道場修斗教室☎044-988-3633

《ホームページアドレス》
『格闘技チケット』
http://www.interq.or.jp/tokyo/ticket/

◎インターネットでもチケット発売中！
8.4北沢タウンホール大会、9.5後楽園大会では、インターネットのホームページからでもチケットを購入することができる。これは、修斗の大会のチケットがプラチナペーパー化していること、チケット発売所が東京に集中していることから開始されたもの。インターネット予約なら24時間受付が可能で、また、地方在住のファンにもチケットが取りやすくなっている。

PRIDE

PRIDE.7
神奈川・横浜アリーナ 9/12
バーリ・トゥード中量級最強決定戦！ 桜庭和志vsF・シャムロック実現か？

◆開場/15:30　試合開始/17:00
◆出場予定選手/髙田延彦、桜庭和志、小路晃、エンセン井上、マーク・ケアー、ゲーリー・グッドリッジ、イゴール・ボブチャンチンほか
◆入場料/SRS20,000円　RS13,000円　S7,000円　A4,000円
◆チケット発売/8月22日（日）一斉発売
◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメント、チケットぴあ〈スポーツ専用〉☎03-5237-9977、チケットセゾン〈スポーツ専用〉☎03-3250-9911、ローソンチケット、CNプレイガイド、サークルK、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、大山アメリカン、書泉ブックマート、フィトネスショップ格闘技、チャンピオン、チケット＆トラベルT-1、後楽園ホール、アイドール、横浜アリーナ、YOKOHAMA AO CORNER、相鉄ジョイナスプレイガイド☎045-319-2456、神奈川新聞プレイガイド関内セルテ店☎045-651-1431 神奈川新聞プレイガイド横浜シアル店☎045-316-0001、公武道☎052-3552-6330
◆会場アクセス/JR東海道新幹線、横浜線新横浜駅正面口、地下鉄新横浜駅より徒歩5分、
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-3552-6300

これまでも「まさか」と思うようなカードが実現してきた『プライド』のリング。次回、9.12横浜アリーナ大会で実現が期待されているのが、桜庭和志とフランク・シャムロックの対決だ。すでにフランクは『PRIDE.6』で桜庭との対戦をアピール、大きな話題となっている。柔術の強豪を次々と激破、今や世界にその名を轟かせている桜庭と、UFCミドル級王者にも輝いたフランクの闘いは、実現すれば、まさにVT中量級最強決定戦となるが…。カード発表が待ちきれない！

バトラーツ

ヤングジェネレーションバトル99

バトラーツ夏の風物詩、激戦真っただ中！ マレンコ、アレクの活躍はいかに？

今年もバトラーツ夏の風物詩『ヤングジェネレーションバトル』が開幕した。本シリーズは毎年、熱いバチバチファイトで凄絶な身内の潰し合いが行われる総当たりリーグ戦だが、今年はメキシコ遠征から帰国したアレクサンダー大塚と、『PRIDE.6』でイーゲン井上を破ったカール・マレンコの星取り状況に注目したい。ちなみにサダハルンバの優勝予想は、ヨネ。出場選手が年々、ヤングじゃなくなってきているのは、ご愛敬？

《大会日程》
◆7月29日（木）　埼玉・西武本川越ペペホール「アトラス」
◆8月8日（日）　千葉・多古町民体育館
◆8月11日（水）　島根・益田市民体育館
◆8月22日（日）　北海道・札幌テイセンホール
◆8月23日（月）　北海道・岩見沢スポーツセンター
◆8月29日（日）　TOKYO FMホール13:00～
◆8月29日（日）　TOKYO FMホール18:30～
◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-83-0005

MA日本キックボクシング連盟

9/25

SET FIRE Ⅱ
キックに火をつけろ！
東京・後楽園ホール

港太郎、ラビット関、そして伊藤隆
王者たちの熱いファイトは興奮必至！

伊藤隆(山木) vs 東金リース(東金)

◎その他の主な対戦カード
港太郎(山木)vs東金ルーク(東金)
ラビット関(山木)vs山崎通明(東金)
小林昭男(士道館)vs内田ノボル(ビクトリー)
砂田政彦(士道館シカノ)vsきんぞ〜(新潟山木)
永嶋真彦(白龍)vs斎藤晴満(東金)
カズ工藤(士道館新座)vs中林勇人(ビクトリー)
Kタカハシ(新潟山木)vs上原大助(山木)
柴田早千代(白龍)vs松本理恵(武勇会)
※その他、神風杏子の引退式も予定

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/特別リングサイド20,000円　リングサイド15,000円　S席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見席3,000円
◆チケット発売/7月25日(日)
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、山木ジム
◆会場アクセス/P57の マップを参照
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

MA キックの中で最も多くのチャンピオンを擁する山木ジム。その山木ジムが主催するこの大会に、同ジムが誇る伊藤隆、港太郎、ラビット関の3人の王者が出場することになった。メインに登場する伊藤は、東金ジムに籍を置くオーストラリア人ファイター、東金リースと対戦。日本の中量級戦線では屈指の実力の持ち主である伊藤だが、さらに上を目指す意味でも、この試合は得意のヒジ打ちでキッチリ勝っておきたい。かつて対戦し、勝利を収めたこともあるフランスのムラッド・サリがタイで王者となっているだけに、伊藤にも心中期するものがあるはず。また、今大会では、女子キック創成期の名選手、神風杏子の引退式も行われる。

新日本キックボクシング協会

7/24

覇王傳
東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始17:15
◆入場料/SRS20,000円　RS15,000円　A席10,000円　B席7,000円　C席5,000円　立見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、伊原プロモーション
◆会場アクセス/P57のマップを参照
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

◎主な対戦カード
小野寺力(藤本)vsチャルンサック・チューワッタナ(タイ)
武田幸三(治政館)vsチュンチャイ・ゲオサムリット(タイ)
小笠原仁(伊原)vsモンコンデート・ギャバサンチャイ(タイ)
深津飛成(伊原)vsデンナムチャイ・ゲオサムリット(タイ)
菊地剛介(伊原)vsメンユーツイットダータガン(タイ)
新妻聡(藤本)vs今井武士(治政館)
ムアンファーレッグvsグルークチャイ

9/15

キック三銃士参上!
東京マリン

〈メインイベント/日本ウェルター級タイトルマッチ〉
武田幸三(治政館)vs北沢勝(藤本)

鋼の身体を持つ男・武田幸三が久々の防衛戦
晩夏の東京マリンで何かが起こる!?

7.24後楽園大会に続き、早くも9月の東京マリン大会の一部カードが決定した。メインはウェルター級王者・武田幸三の久々のタイトル防衛戦。このところタイ人相手に連勝、充実している武田だけに、日本人対決では負けられない。スカッと勝って強さを見せつけたいところだが、対する北沢勝も願ってもないタイトル挑戦のチャンスだけに秘策を練ってくるはず。攻撃重視ゆえに防御に若干の不安がある武田のスキを突けば、番狂わせがあるかも…。

◆開場/16:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS12,000円　RS10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見3,000円(当日券のみ)
◆チケット発売/未定
◆会場アクセス/東武伊勢崎線、地下鉄日比谷線西新井駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

大会名未定
10月30日(土)　東京・後楽園ホール
◆詳細未定
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

大会名未定
12月5日(日)　東京・後楽園ホール
◆詳細未定
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

ニュージャパンキックボクシング連盟

8/29

BATTLE FRONT I & Achievement 6
愛知・安城市総合体育館

空手&キックの合同興行開催
ブラジル軍団が猛威を振るう！

第1部として空手大会『BATTLE FRONT I』が、第2部としてキックボクシング大会『Achievement 6』が開催される今大会。第1部には、ブラジル空手界の強豪、ルシアーノ・バジレが出場する。昨年の白蓮会館全日本大会で優勝し、今年12月に開催される極真会館（三瓶代表）にも出場するバジレに日本選手がどう挑むのか、注目だ。また、第2部のキック大会のメイン、地元・名古屋の大和ジム所属でバンタム級1位の実力者・中島昇とアラビアンの対戦も、好勝負が予想される。

◆開場/12：00　試合開始/[BATTLE FRONT I]13：00　[Achievement 6]16:00
◆出場予定選手/[BATTLE FRONT I]ルシアーノ・バジレほか
◆入場料/特別リングサイド15,000円　指定A席10,000円　指定B席7,000円　2階指定席5,000円　2階自由席3,000円　子供(小・中)1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎052-320-9999、闘真会館
◆会場アクセス/名鉄西尾線北安城駅より徒歩10分、名鉄本線新安城駅よりバス5分、JR東海道本線安城駅バス8分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-3239-7703、闘真会館☎0566-77-5470

◎主な対戦カード
〈メインイベント/日本・タイ国際戦〉
中島昇(大和)vsアラビアン・長谷川
石田智史(東京北星)vs新見友恒(大和)
笛吹丈太郎(大和)vs石毛伸也(東京北星)

K-U(キック・ユニオン)

8/8

新人王決定トーナメント準決勝
東京・八王子FSG

◆開場/15:30　試合開始/16:00
◆対戦カード/フライ、バンタム、フェザー、ライトの4階級での新人王トーナメント準決勝戦
◆入場料/イス席2,000円　立見1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/八王子FSG
◆会場アクセス/JR中央線八王子駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/八王子FSG☎0426-66-9542

J-NETWORK

10/14

The KICK 1999~stage 3~
東京・後楽園ホール

◆出場予定選手/増田博正、五十嵐ヨシユキ、小比類巻貴之ほかJ-NETWORK主力選手
◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円　立見3,500円(当日のみ)
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、アクティブJ三軒茶屋ジム、サバーイ町田ジム、J-NETWORK
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3418-5248

内田塾

JAPAN-GAME'99
第7回全日本空手道選手権大会
10月24日(日)
大阪・東淀川体育館(予定)

詳細未定
◆お問い合わせ/大会事務局☎06-6379-2421

ワールド大山空手

'99全日本空手道選手権大会
11月28日(日)
神奈川・横浜文化体育館

詳細未定
◆会場アクセス/ P57のマップ参照
◆お問い合わせ/ワールド大山空手日本事務局☎045-324-0379

士道館

第16回少年少女空手道大会
8月1日(日) 東京都立夢の島総合体育館

◆試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/有楽町線・JR京葉線新木場駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/士道館東京本部☎03-3642-3161(広田、矢野)
☎0423-95-8048(植野)

大道塾

北斗旗無差別選手権大会
11月21日(日)
東京・国立代々木競技場第2体育館

◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-3931-6856

白蓮会館

'99ファイティングオープントーナメント
白蓮会館全日本空手道選手権大会(15周年記念大会)
10月31日(日)
大阪府立体育会館第1競技場

◆出場予定選手/未定(64名による無差別級トーナメント)
◆開場/11:00
◆入場料/前売り2,500円 当日3,000円
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/未定
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/総本部☎06-6783-7833

極真会館(松島代表)

第31回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
11月7日(日) 茨城・茨城県武道館

詳細未定
◆会場アクセス/JR常磐線水戸駅よりバス15分
◆お問い合わせ/大会事務局☎0292-54-5830

極真会館(三瓶代表)

第7回全世界空手道選手権大会
12月4日(土)、5日(日) 東京体育館

詳細未定
◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/国際武道センター☎03-3268-5671

第16回オープントーナメント
東北空手道選手権大会、
第12回子供形空手道選手権大会、
第6回シニア空手道選手権大会
9月26日(日) 福島市国体記念体育館

詳細未定
◆会場アクセス/JR福島駅よりバス乗車、「国体記念体育館前」下車徒歩5分
◆お問い合わせ/大会実行委員会☎024-531-5452

極真会館(松井派)

第7回全世界空手道選手権大会
11月5日(金)、6日(土)、7日(日)
東京体育館

◆出場選手/第6回世界大会入賞者、97世界ウェイト制大会各階級優勝者、世界120カ国の予選を勝ち抜いた総勢192名の極真ファイター集結。
◆5日/10:00開場、11:00開会式 6、7日/10:00開場、11:30開会式
◆入場料/SS席50,000円(前売りのみ/アリーナ3日間通し券 指定券大会記念品、パンフレット付き) 各日S席15,000円(前売り13,000)
A席8,000円(前売り7,000) B席4,000円(前売り3,000)
◆チケット発売/8月1日
◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/極真会館チケット係☎03-5992-9900

第2回全茨城空手道選手権大会
7月25日(日) 茨城県総和町広域運動公園

◆会場アクセス/JR中央東線松本駅下車バス20分
◆お問い合わせ/本部直轄長野道場☎026-227-9111

第4回極真カラテ大仏杯空手道選手権大会
9月5日(日) 奈良市第2武道場

◆会場アクセス/近鉄奈良駅よりバス10分
◆お問い合わせ/奈良支部☎0742-33-5799

第3回極真カラテ・クラス別山梨県交流大会
9月5日(日) 山梨・甲府市小瀬武道館

◆開場/9:00 試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR中央本線甲府駅より車で20分、中央自動車道甲府インターより10分
◆お問い合わせ/本部直轄山梨道場☎0553-22-2737

第17回北信越空手道選手権大会
9月12日(日) 松任総合運動公園体育館

◆会場アクセス/JR北陸本線松任駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/石川支部☎0762-91-6110

'99京都府新人空手道選手権大会
9月15日(水・祝) 京都市武道センター旧武徳殿

◆会場アクセス/JR京都駅よりバス30分
◆お問い合わせ/京都支部☎075-801-8155

第7回全関東空手道選手権大会
9月19日(日) 千葉・船橋アリーナ

詳細未定
◆お問い合わせ/千葉県北支部☎0474-37-0188

正道会館

第11回オープントーナメント'99
西日本新人戦空手道選手権大会
8月1日(日) 大阪市中央体育館地下3階柔道場

◆開場/9:00 試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄中央線朝潮橋駅下車、2番出口より徒歩3分
◆お問い合わせ/正道会館☎06-6357-1654

第18回全日本空手道選手権大会
9月26日(日) 大阪府立体育会館第1競技場

◆試合開始/10:00
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館総本部☎06-6357-1654

勇志会

第4回勇志会オープン全日本空手道選手権大会
9月26日(日)
神奈川・川崎市とどろきアリーナ・メインアリーナ

◆開場/10:00(予選開始) ◆開会式/13:00 ◆本戦開始 13:30
◆入場料/1,500円 ※当日は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、勇志会総本部・神奈川県本部および各支部
◆会場アクセス/JR南武線、東急東横線武蔵小杉駅下車バス7分、徒歩25分
◆お問い合わせ/勇志会総本部事務局☎03-3990-9270

アジア太平洋キックボクシング連盟

7/25

THE SUPER KICK
M110勝負
神奈川・鶴見青果市場

◆開場/12:00 試合開始/14:00
◆入場料/A席5,000円 B席3,000円 立見1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、鶴見青果市場、みなみジム
◆会場アクセス/JR京浜東北線鶴見駅下車バス15分、東急東横線綱島駅下車バスで5分
◆お問い合わせ/エム・プロモーション☎045-542-7193
※当日券割引あり←詳細はP80を参照

◎主な対戦カード
清野浩志(みなみ)vs植木孝一(千葉)
赤士馬ヤスト(みなみ)vsタカユキ堀江(千葉)
岡田レアンドロ(ブラジル)vsブラック・ドラゴン(韓国)

日本キックボクシング連盟

8/8

'99躍進シリーズ
~山口裕司引退記念興行~
水戸市民体育館

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/RS席10,000円 S席5,000円 A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/日本キックボクシング連盟、平戸ジム、フィットネスジム格闘技
◆会場アクセス/JR常磐線水戸駅下車バス10分
◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536、平戸ジム☎029-243-2600

◎主な対戦カード
小野瀬邦英(渡辺)vs北福和敬(大阪真門)
山口裕司(平戸)vs佐藤ツヨシ(ピコイ錦)
関健至(平戸)vs原口豊(千葉)
神谷秀明(ピコイ錦)vs和田友輔(千葉)

主要会場アクセスマップ

東京ドーム・後楽園ホール

住所／東京都文京区1-3
アクセス／JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸の内線・南北線後楽園駅より徒歩3分

横浜文化体育館

住所／神奈川県横浜市中区不老町2-7
アクセス／JR京浜東北線関内駅南口より徒歩5分、地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩5分

北沢タウンホール

住所／東京都世田谷区北沢2-8-18
アクセス／小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分

東京ベイN.K.ホール

住所／千葉県浦安市舞浜1-8
アクセス／京葉線舞浜駅よりホテル循環バス5分

その他

日本女子ボクシング協会 LADY GO!

第2回日本女子ボクシング大会 初代ミニフライ級王座決定トーナメント 8月9日(月) 東京・北沢タウンホール

◆主な対戦カード/トーナメント:高野由美vs込山さと子、中村ルミvs松本理恵、中沢夏美vsマーベラス森本、ワンマッチ:バービーキムvs萩原久美ほか
◆入場料/全席自由5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/後楽園ホール、日本女子ボクシング協会
◆開場アクセス/マップを参照
◆お問い合わせ/日本女子ボクシング協会☎03-3485-7063
※チケットプレゼントあり⬅詳細はP80を参照

プロ団体連絡先リスト

K-1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒173-0001 東京都板橋区本町34-4石田コーポラス501
☎03-3961-2704

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町2-158-1
☎0489-63-0005

高田道場
〒146-0082 東京都大田区池上4-27-13トウセン池上ビル
☎03-3755-1444

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒104-0033 東京都中央区新川2-3-9新川第2ビル
☎03-3552-6300

製圏道協会(SA)事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14恵比寿スカイハイツ607
☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒102-0076 東京都千代田区五番町12-7ドミール五番町1-055(5F)
☎03-3239-7703

J-NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K-U(キック・ユニオン)
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-40-10グレースワン603
☎03-5713-8061

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1、2F
☎03-3843-1212

アマチュア

T.A.M.A.

格闘技サミット交流戦 8月1日(日) 東京・ニューシティーホール国立特設コート

◆主な対戦カード/長瀬正和vs笠原仁、太田英夫vs菅原伊織、木村浩一郎vs力王ほか
◆開場/11:00　試合開始/11:30
◆入場料/2,000円(当日1,000円増し)
◆チケット発売/送料500円を同封して希望枚数分の料金を下記の住所まで送付
◆会場アクセス/JR中央線国立駅下車徒歩2分
◆お問い合わせ/長瀬正和〒185-0031東京都国分寺市富士本1-23-5 ☎0425-72-6795、090-4829-3773

日本国際跆拳道協会

JAPAN-ITF全日本新人戦・全日本テコンドー少年大会 8月1日(日) 東京・府中体育館

詳細未定
◆お問い合わせ/日本国際跆拳道協会☎042-360-1289

総合格闘技 空手道禅道会

バーリ・トゥード実験マッチ8・8 8月8日(日) 長野運動公園総合運動場体育館

◆開場/13:00　開会式/14:00
◆入場料/前売り2,000円、当日2,500円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/大会事務局
◆会場アクセス/JR北長野駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/大会事務局☎026-293-6944

パレストラ東京

第15回柔術ワンマッチ交流戦 TOKYO B.J.J. JAM 6 8月22日(日) 東京都立夢の島総合体育館柔道場

◆試合開始/14:30
◆会場アクセス/地下鉄有楽町線、JR京葉線新木場駅より徒歩10分
◆入場料/無料
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

日本テコンドー協会

全日本学生テコンドー選手権大会・オリンピック代表アジア地区選考派遣選手国内特別選考競技会 8月29日(日) 東京・台東リバーサイドスポーツセンター

詳細未定
◆会場アクセス/地下鉄銀座線浅草駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/総本部☎03-3350-0550

全日本テコンドー選手権大会 11月28日(日) 東京都夢の島総合体育館

詳細未定
◆会場アクセス/有楽町線・JR京葉線新木場駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/総本部☎03-3350-0550

S.A.W.サブミッションアーツレスリング

全日本S.A.W.無差別選手権大会&全日本ルーキークラス体重別大会 10月3日(日) 東京・スポーツ会館

◆会場アクセス/JR新大久保駅下車徒歩5分
◆お問い合わせ/S.A.W.総本部☎048-465-3362

真武館

第14回オープントーナメント'99 全日本格闘技選手権大会 11月28日(日) 福岡武道館

詳細未定
◆会場アクセス/地下鉄大濠公園駅下車徒歩12分
◆お問い合わせ/真武館本部☎092-862-1006

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

キッドのイチ押し

『掣圏道』
7月30日（金）　北海道・札幌中島体育センター

芸能界随一の格闘技マニアが選んだ7/23～8/11の最注目大会はこれだ！

浅草キッド…多くのお笑いファンが『実力日本一』と認める、水道橋博士（右）と玉袋筋太郎の漫才コンビ。芸能界きってのプロレス・格闘技通で、会場でその姿を見かけることもしばしば。芸能界の秘密結社『カツラKGB』の一員だが、最近、博士がズラ愛用者だったことを一部マスコミにスッパ抜かれた。
◎浅草キッドHP《キッドリターン》
http://www02.so-net.ne.jp/~a-kid/

博士　今回の注目イベントは、UFOから離脱して北海道で何やらデカイ事をしでかしそうな、格闘技界の"白い恋人"こと佐山聡が創設した掣圏道だ。

玉袋　この文字なかなかワープロで出てこないんだよ。俺のワープロは「政権道」って出てきたんですよ。

博士　いたずら好きの佐山さんのことだ、裏テーマは本当は政権狙って北海道知事出馬を狙っているかも知れない。

玉袋　プロレス界から政界へ。と言うことは佐山さんはUFOから宇宙パワーに乗り換えたのか？　北海道で市議会議員の将軍KY若松もビックリだ！

博士　そう言えば掣圏道はロシアとのパイプも相当強いらしいぞ。

玉袋　北方領土返還のキーを握っているのは、実は佐山さんかも知れない。

博士　競技としては市街地型実戦的格闘技ということだけど。

玉袋　今回集まるロシアの選手達は白兵戦には強そうだ。日本選手も八甲田山で特訓しなきゃあ。

博士　日露戦争が始まるんじゃないよ。しかし日本の格闘技界でロシア人選手をこれだけ集められるのは凄い。

玉袋　ボリショイサーカス団より大人数だよ。

博士　そのラインで、なんとアレキサンダー・カレリンやイゴール・ボブチャンチンも招聘できるらしい。

玉袋　ついでに世界に名を轟かすロシアの暴れん坊・政治家ジリノフスキーも是非呼んでほしい。

佐山聡が北海道に『虎の穴』開設 早くも地元村民から受け入れ反対運動が？

博士　ロシア議会での実戦的格闘技だよ。

玉袋　北海道の武闘派として名の知られる松山千春も参戦か？

博士　する訳ないだろ！　掣圏道は武道として、規律と礼儀を重んじ、押忍という敬礼のもと試合開始するんだよ。

玉袋　「どうもスンズレイしました！」

博士　カトちゃんになってどうするんだよ。プロもどんどん養成すると。

玉袋　佐山さんは旭川に本気で『熊の穴』を造ろうとしてるんですよ。

博士　『虎の穴』だよ！　クマの穴って冬眠してるだろ！　虎の穴からいろんな格闘技団体に選手を送り込むらしく佐山さんは本気でミスターXになろうとしているのかもしれない。

玉袋　アントニオ猪木の異種格闘技戦一番の凡戦の相手ですよね。

博士　そのミスターXじゃないよ。梶原一騎原作の『タイガーマスク』のミスターXだよ。そのために廃校になった小学校を改造して虎の穴を造るんだよ。

玉袋　村民に受け入れ反対運動されて大変ですよ。

博士　オウムが、施設建設するんじゃないの。佐山さんは北海道に「闘いのムツゴロウ王国」完成を目指してるんじゃないかな。

玉袋　不況で倒産した道内のトマムリゾートやオコッペ町のバブリーなホテルの廃虚までも買い取ろうとしてるらしいよ。

博士　競売物件買いあさる、不動産ブローカーみたいな事するか！

玉袋　それにしても掣圏道の道衣が随分変わっていて、スーツの形をしていますね。

博士　もっとも実戦的を突き詰めれば、普段着はスーツの場合が一般的には多いということだ。

玉袋　新橋に道場を構えれば、仕事帰りのサラリーマン選手が増えますよ。

博士　掣圏道を学べばオヤジ狩りにあわない、最強のサラリーマンが誕生する。とにかくベールに包まれているが、修斗の創始者であり日本格闘技界にでかい功績を残した佐山さんのことだ、凄いことをやってくれるだろう。

大会内容

◎SAプロレス
初代タイガーマスク、田中稔（バトラーツ）らが出場予定
◎SAボクシング
ミドル、ライトヘビー、ヘビー、スーパーヘビー級の4階級で、初代SAボクシングチャンピオンを決定するリーグ戦を開催。札幌大会で1位、2位が決定する。アブソリュート大会（ロシア版アルティメット）、キックボクシングなどの分野からロシア人格闘家が多数参戦。

格闘技専門誌初のお色気カラー特集

マーシー K-1 Girls大撮影会 in名古屋

写真◎大久保義高
構成◎上田康彦

レオタードに圧倒され、サダハルンバ大出血！

番組「SRS」で、サダハルンバ谷川編集長が宣言した超ド級迫力企画がついに登場！ K-1ガールズのバディに迫る、格闘技専門誌初のレオタード企画だ。 99年のK-1ガールズはオーディションで選ばれた6人。リングでもひときわ目をひく存在を誌面でマーシーが超ローアングルで大接写！ そして、大出血のエンディングとまさに格闘技にふさわしい撮影会だゾ！

「不肖、田代が撮影させていただきます」
K-1ガールズ撮影会は真っ赤な戦場となった！

友だちから「クミゾウ」って呼ばれてます

早野久美子

KUMIKO HAYANO

PROFILE●はやの・くみこ
24歳
身長165cm・B83W58H84
趣味／スノーボード、パソコン
特技／じっとしたまま眠れること。
どこでも眠れます
仕事／'97FKマッシモレースクイーン
'98SHIONOGIチームノバSunkistギャル
Nets TOYOTAプリンセス
自己ＰＲ／格闘技にスッゴク! 興味あります

もっとSEXアピールのある女性になりたい

幸本花梨

KAREN KOUMOTO

PROFILE●こうもと・かれん
19歳
身長167cm・B88W55H85
特技／語学（英語・スペイン語）
仕事／ショーモデル
自己ＰＲ／スマイルとスタイルに
ちょっと自信があります

わたしたちのことも応援してね

三輪潤子

JUNKO MIWA

PROFILE●みわ・じゅんこ

21歳
身長170cm・B83W58H88
趣味／スポーツ、読書、カラオケ、音楽鑑賞、ビデオ鑑賞
特技／スポーツ全般（特にテニス）
仕事／'98ブリティッシュモーターShowキャンペーンガール
'98ポルシェイメージガール
CX「まじ ふじ」キャンペーンガール
全日空ANASKYホリデー北海道カタログビデオモデルなど多数
自己PR／K-1いつも楽しんでます

試合に来てわたしたちを探してね

高木雅子

MASAKO TAKAGI

PROFILE●たかぎ・まさこ
21歳
身長164cm・B84W58H83
趣味／映画鑑賞、風水、マンガ
特技／平泳ぎ、絵、洋服づくり、ピアノ、
スノーボード、ダンス
仕事／CF　オートバックス、飯山電機
コダック、トクホンA
自己PR／わたしは大の格闘技好きで
K−1ガールは絶対やってみたいと思ってたから、
感激です。将来的にはスポーツキャスターを目指したい！

PROFILE●たかはし・ゆりこ
23歳
身長166cm・B83W58H82
趣味／映画鑑賞、音楽鑑賞、
ハーブ・ポプリ収集
特技／日本舞踊、着付け、
英語教員免許
仕事／TX「振り向けば歌の道／司会、
アシスタント　レギュラー」
CS「ストロングスタイル／
アシスタント　レギュラー」
TBS「海まで5分」
CF 第一勧業銀行・ナンバーズ
アートネイチャー生CM

リングサイドは迫力があって面白いよ

高橋優理子

YURIKO TAKAHASHI

K-1の楽しさがわかるから遊びに来てね

ゆみ

YUMI

PROFILE●ゆみ
22歳
身長167cm・B83W58H85
趣味／スノーボード、ボディボード、料理、カリグラフィー
特技／人を元気にすること
仕事／オートテックレースクイーン ヴェルファーレ・イメージガール
ＣＦ　神奈川クリニック、日本工学院
自己ＰＲ／明るいだけが取り柄（？）のようなわたしです

次回のSRS予告で編集長爆弾発言！

TVも雑誌も「SRS」は一心同体！と『K-1ドリーム'99』名古屋大会でK-1ガールズ大撮影会を敢行した。リングの華、K-1ガールズは試合会場へ行くか、番組「SRS」を見ないとよく分からない、そんな読者のためにお色気カラーグラフ大特集で登場だ！

K-1ガールズ撮影カメラマンになることが"お約束"だった番組司会のマーシーこと田代まさしさんが読者に代わって大接写。特設スタジオに登場したK-1ガールズのみんなは始めはちょっとおとなしめで控えめなファイティングポーズから始まった。「セクシー度をアピールして！」「過激にハイキックを！」とお色気路線を強調しようと頑張るマーシーに物足りなくなったのか、谷川編集長自らとうとうポーズ指導に入ってきてしまった。「K-1らしく馬乗りになって強烈なパンチを！」とウレシイ過激さにマーシーのシャッターは快調に切られていった。興が乗ったままフジテレビ"AP金井ちゃんのスペシャルグラフ"まで撮影されたが、掲載はなぜかまたの機会に…。

「いいっすネー！」と大興奮の谷川編集長、K-1ガールズへのインタビューで彼女たちのニックネームから好きな男性像、さらに「年上の男性も恋愛可」などと聞き出し「まだ年齢的にもK-1ガールズと"結婚"を前提としたおつき合いもだいじょうぶ！」と勝手に満足していたのだった。そして、振り返ったマーシーの前に鼻血を溢れさせた谷川編集長の顔がアップで…！『K-1ドリーム'99』名古屋大会は熱く燃えていた！

「次回もK-1ガールズの特集があります。今度は海外撮影！ もちろん水着ですよ、乞うご期待！」と谷川編集長またも爆弾発言。…というわけで「SRS・DX」ではまだまだK-1ガールズを追っかけます！ この特集「K-1ガールズ大撮影会イン名古屋」は7月22日(木)深夜1時20分「SRS」フジテレビで放送されます。

これがマーシーが撮ったベストショットだ！

▶ちょっと、次のポーズ指示に思案中のマーシー

▲谷川編集長演技指導、マーシー撮影による今特集のハイライト。K-1"ファイティング"ガールズ決めショットだ！

▲右の超ローアングル・ショットに挑む捨て身の撮影

▲マーシー、超ローアングル撮影でGet！

▲K－1ガールズにポーズ指導をする谷川編集長。うれしそうな表情の後、溢れ出る鼻血を目撃されることと…

▲「次回もK－1ガールズの特集をやります！それは海外水着撮影です！」谷川編集長の爆弾発言が遂に出た！

▲特設スタジオで"カメラマン"に変身したマーシー

あのK-1グッズを電話注文で手に入れろ!!
K-1 OFFICIAL GOODS('99 Version) 誌上販売
東京☎03-3204-4410　大阪☎06-6358-4363

■Tシャツ(サイズ/S・L)　¥3,000

○ピーター・アーツ666（カラー／ブルー・レッド）
○ピーター・アーツA
○ピーター・アーツB
○アンディ・フグ
○マイク・ベルナルドA
○マイク・ベルナルドB
○サム・グレコB
○チームJAPAN（カラー／ホワイト・ネイビー）FRONT　BACK
○アーネスト・ホーストA
○アーネスト・ホーストB
○サム・グレコA
○レイ・セフォー
○チーム・キック
○チーム・カラテ
○フランシスコ・フィリォ（¥2,500）

■リストバンド　各¥700

○アーツ666
○マイク・ベルナルド

■チビT　¥3,000

○アーツ666
○アンディ・フグ「かかとおとし」
○マイク・ベルナルド
○アーネスト・ホースト
○サム・グレコ
○レイ・セフォー

■タオル

フェイスタオル　各¥1,500
ハンドタオル　各¥700

○アーツ666
○アンディ・フグ
○マイク・ベルナルド
○アーネスト・ホースト

■トランクス（サイズ／フリー） 各¥5,500

○アーツ666

○アンディ・フグ

○アーネスト・ホースト

○マイク・ベルナルド

■キャップ

○アーツ666
¥2,500

○アーツ666ハット
¥3,500

○マイク・ベルナルド
¥2,500

■フィギュア〜FIRST TYPE〜

爆発的人気!! 各¥4,200

- ●質感・重量感抜群のポリストーン素材を使用
- ●高さ15cm
- ●カラー天然色
- ●全8体

○サム・グレコ

○マイク・ベルナルド

○ピーター・アーツ

○アーネスト・ホースト

○レイ・セフォー

○フランシスコ・フィリォ

○アンディ・フグ

○角田信朗（竹刀つき）

■アクセサリー

○シルバーリング
（19or21サイズ）
¥5,500

○ペンダント
¥9,500

○ブレスレット
¥7,000

■商品のご注文方法

・電話注文のみのご注文となります
☎03-3204-4410（東京）☎06-6358-4363（大阪）
（株）BEGINスポーツ
・商品お渡し方法
代金引換でのお受け取りとなりますので、ご注意ください。
（ご家族がいらっしゃる場合は、その旨お伝えください）
・注意事項
◎商品代金のほかに送料500円、代引手数料360円がかかります。
◎現金書留での受付はいたしません。
◎『SRS・DX』編集部では、注文を受け付けておりません。

お問い合わせは、（有）M・D・K ☎03-3796-2993まで。

GP予選トーナメントは本命同士の決勝戦

痛む足で蹴った！ 決めた！

ドイツの美拳士 「レコが優勝」

このローキックがすべてを決めた。ベナゾーズは崩れるように倒れ、そのまま立てなかった

$ 30,000

▲優勝賞金３万ドルを獲得。本戦では「東京（ＧＰ決勝）まで行くのが目標」と幾分ささやかな希望を語っていた

★第9試合（K-1 DREAM99トーナメント決勝戦・3分3R）
○ステファン・レコ（1R2分45秒、KO勝ち）サミール・ベナゾーズ●
（ドイツ、マスタージム）　（モロッコ、ボス・ジム）
※右ローキック

いわば予想通りのこの決勝の顔合わせだった。リングサイドの目ばかりではなく、当人たちもファイナルで対戦するライバルとして互いの名前を挙げていた。何もかも大多数の描いたように筋書きは流れてきて、最後の最後にこんな結末が待っていたのを知っていたのはレコただひとりかもしれない。

それはあっけないほどに鮮やかなＫＯ劇だった。開始ゴングから都合１６５秒目、ベナゾーズがカウントアウトされても、場内は静まり返ったままだったのだ。

この両雄は対照的なタイプである。バズーカ砲の破壊力を持つ右ストレート、鋭利なローキックはあっても、レコのファイトはそのモデルばりの容姿そのままに端正である。昨年の欧州ＧＰ優勝、６月にアンディ・フグに判定負けしているが、互角に近い善戦を演じ、評価は上がる一方だ。ベナゾーズはここまで63度も闘いながら、やっと21歳になったばかり。この３月、サム・グレコとは無効試合に終わったが、そこまではむしろ優勢に闘ってその力を見せつけた。元気のいいいたずらっ子のようだ。しかし、モロッコ人の天真爛漫さは、そっくりそのままドイツ人の冷徹なハイテクを引き立てたのだ。

もちろん、レコは涼しい思いばかりをして山型を勝ち上がったのではない。１回戦のゴミス戦でその左スネを痛めていたのである。この傷は、アビティ戦でさらに悪化する。トレーナーから「リタイアするか」と勧められたほどだ。

「この大会はどうしても勝ちたかったから。無理をしても闘いたか

▼ベナゾーズはいうことを利かない自分の左足に、マットをたたいて悔しがるのだが…

左足が動かない！ マットを叩いても動かない…

ステファン・レコのコメント

「きついところもあったが、最後は作戦通りにいった。ベナゾーズの足に弱点があるのを知っていたからね。とにかく東京の本戦まで残ることが目標だ。できればアンディかレイ・セフォーと闘えたらいいんだけど、だれと闘っても同じだと思う。その前に足のケガを治すために1ヵ月から1ヵ月半休まなければならないだろう」

サミール・ベナゾーズのコメント

「ファイターは勝負を諦めたりなんかしない。気絶しない限り闘い続けたいと思うんだ。自分自身も足を痛めていたから、最初は体を温めるつもりで、1ラウンドの終盤から攻めていくつもりだったんだ。とにかくこんな負け方は初めてで悔しい。けれど、レコとの試合はともかく、トーナメント全体の自分には満足しているよ」

賞金総額 $50000
優勝賞金 $30000

WIN

- ステファン・レコ［ドイツ、マスタージム］
- フィリップ・ゴミス［フランス、ジェロニモジム］
- シリル・アビディ［フランス、ロメアチーム］
- カークウッド・ウォーカー［UK、トロージャンジム］
- コンバット・ジーヨ［ボスニア、メジロジム］
- マイケル・マクドナルド［カナダ、フリー］
- アレクサンドル・セメノビッチ［ロシア、掣圏道アソシエーション］
- サミール・ベナゾーズ［モロッコ、ボス・ジム］

レコの痛めた左足を攻めるベナゾーズ。ラウンド後半から勝負をかけようと思っていたという

▶かつては一緒に練習したこともある。この2人もK－1新時代の旗手になるのは間違いない

った。でも、あと2発3発（ベナゾーズに）蹴られていたら、続行できていたかどうか分からない」

あとで語っていたように、レコはぎりぎりの状態だったのだ。一方のベナゾーズの方は、つい30分前に4ラウンドを闘い終えたばかり。疲れきっていたはずだ。

仕方ない。それもこれもグランプリの宿命なのである。

先に攻めたのはモロッコ人からだった。右スイングを振る。レコもやり返す。ワンツーパンチをフェイントしてから右足で左足を蹴り上げる。何気ない攻撃にも見えたが、このときすでにKOの序章は書き終えられていたのだ。

「実は最初のキックで左のヒザに異常を感じたんだ」（ベナゾーズ）

手負いの2人の静かな攻防がしばし続いた。女の子というものは美男子や若さに対して実に従順なものである。この試合に限っては、観客席からは野太い声援に代わって黄色いそれが飛び交う。

それから静寂を破って、突然のエンディングである。右足で蹴ったローキック。1テンポ遅れて倒れたベナゾーズが立てない。カウント8に達するころ、その左拳を思いきりフロアに叩きつける。

「悔しかったんだ。痛いと言うんじゃない。筋肉を直撃され、硬直したままひざが曲がらなかった」

傍らでレコは初めて感情をむき出しにしてコーナーにかけ上った。

レコ。洗練されたテクに磨きがかかった。ベナゾーズ。敗れたとはいえ、若さと素質に無限の未来が見える。4強が支配し続けたK－1帝国にニューエイジはやってくるのだろうか。

（宮崎）

ああ波乱起こらず……レコ、悪童の牙を封印!!

第２Rに爆発したレコのバックブローが空を切る。その凄絶な勢いに館内がどよめいた!!

▲第1R開始10秒、レコの右ストレートに、さすがのアビディも思わずダウン!!

「刑務所入りはないが、訴えられた経験はある」悪童の鉄拳

▼実力を発揮できず、いや、レコに封印されたアビディ。その表情も冴えない

敗れはしたものの、アビディの存在感はピカイチだった

アビディのコメント

「負けたことが凄く悔しい。やるべきことができなかった。言い訳をしたくはないが、時差ボケなどがあったのは事実。今までこれほど遠くに来て試合をしたことはない。レコ戦は作戦などなく、リング上で相手に合わせて動こうと思って闘っただけ。レコのどこが苦手というより、自分に負けただけだ。次回、日本に来てリベンジしたい」

★第6試合（K-1 DREAM99 トーナメント準決勝戦・3分3R）
○ステファン・レコ（判定3—0）シリル・アビディ●
（ドイツ、マスタージム）　（フランス、フリー）
※1Rにアビディは右ストレートで1度ダウンを喫した

「ヨーロッパの英雄に、マルセイユの悪童が牙を剥く。波乱は起こるのか?」

宮田充リングアナウンサーが、この一戦の前口上をそう述べた。両者同時に入場してきた1回戦と違い、準決勝は個々に入場する通常のスタイル。ただ、両者のリングコールはなく、レフェリーチェック直後に試合が開始された。またラウンドガールも1回戦の一人から、準決勝からはいつも通り二人に増えた。こうして徐々にグレードを上げていくやり方は、いかに「K—1グランプリへの道」が険しいものかを物語っているかのようだった。

そして——。

試合は両者によるコーナーでの攻防が目につくなど、全体的に荒れた展開。さすが「悪童」である。

だがよく考えると、各ラウンドに一度ずつ、合計三回のバックブローを繰り出し、かつ3Rには後ろ回し蹴りまで披露してみせるレコのサービス精神が際立つ。

簡単にいえば、悪童の悪戯を封印したレコが一枚上手だったということなのか。それ故に、終わってみれば、それなりに見せ場のある試合だったものの、結果からすれば波乱は起こらずじまい……。

とはいえ、3—0と大差の判定負けを喫しても、キッチリとその存在感を見せつけたアビディの魅力は、少なくとも私の中では以前にも増した感がある。

おそらくK—1再登場時には、さらなる存在感を増して戻ってくるに違いない。そう考えれば今宵の負けも、大波乱の余兆と思えるから不思議なのだ。（Ｓｈｏｗ）

日清カップヌードル
K-1 DREAM'99
7.18★名古屋レインボーホール

連続の激闘に力尽きたジーヨ、21歳のベテランに無念の敗退

▲▶ベナゾーズの右ストレートに対し、間髪入れずに右のパンチを返すジーヨ。アーツのスパーリングパートナーを務め、ジーヨの打たれ強さに一層磨きがかかった

延長R。気迫のベナゾーズと疲労顔のジーヨ。表情にはっきり違いが

疲労と気迫の差ありあり

3ラウンドまでは一進一退。

激闘の末3－0の判定をものにし、勝ち名乗りを受けるベナゾーズ

ジーヨのコメント

「ベナゾーズ選手よりも自分の方がポイントを取っており、3R終了の時点で明らかに自分が勝ったと思っていた。延長Rにそれまでのダメージが出てしまい、このような結果となってしまった。マクドナルド選手だけが、本当のキックボクサーで、あとはアマチュアに近い選手だと思ってたんで絶対に勝ちたかった。非常に残念です」

★第7試合（K-1 DREAM99トーナメント準決勝戦・3分3R）
○サミール・ベナゾーズ（延長判定3ー0）コンバット・ジーヨ●
（モロッコ、ボス・ジム）　（ボスニア・ヘルツェゴビナ／メジロジム）

30—29、28—29、30—30。これが3R終了時のジャッジである。まさに三者三様。ジーヨとベナゾーズの一戦は一進一退と言うのにふさわしい、非常に拮抗した試合展開だった。

ベナゾーズ、ジーヨともにトーナメント初戦は3ラウンドをフルに闘っての判定勝ち。しかし、ベナゾーズが、まだ試運転といった感じの試合だったのに比べ、ジーヨはまさに全開、今大会のベストファイトと言われるほどの激闘を演じていた。スタミナ、体の傷みの差は歴然と思われたが、アーツと連日激しいスパーリングを繰り返し、元来のタフさに磨きをかけてきたジーヨは、そう簡単にはへコまない。その勢いはベナゾーズ戦でも止まることはなかった。

しかし、21歳とは言え、すでに62戦（58勝）のキャリアを持つベナゾーズは試合運びの巧さを備え、試合の勝ち方も知っている。体格で優るジーヨが圧力をかけてきても、焦ることなくロングフックやボディ、ローキックで機先を制し、試合の主導権を握らせない。結局、勝負のつかないまま延長Rを迎えるが、3Rの時点で判定勝利を確信していたジーヨは、引き分けの判定に憔悴しきってしまい、貪欲に勝ちにきたベナゾーズに、最後は押し切られてしまった。

このソツのなさもキャリアのなせる業と言えるだろう。ボスジムの先輩ホーストがK—1王者になった年齢までまだ11年もある。ミドル級のスピードとテクニックをもったヘビー級ファイター、ベナゾーズ。末恐ろしい存在がK—1トップ戦線に躍り出てきた。（林）

バンナの愛弟子、初戦飾れず フィリップ・ゴミス撃沈!!

◀試合後、「今まで足を使うスポーツはやったことがない」とゴミス

このダウン以外にも、1R2分38秒に一度目のダウンを喫している

レコとの力の差は歴然。結果としてレコは、まったく危なげなく準決勝へ駒を進めた

ゴミス曰く「勝利より内容」と臨んだ一戦だが……

丸1年前のナゴヤドームから、石井和義館長曰く「名古屋の聖地」レインボーホールにK-1が舞い戻ってきた。さすがにドーム球場と違い、この規模だと会場中が人、人、人……。真夏のK-1は、もはや名古屋の風物詩となりつつあるのか。それを占う意味で重要な鍵を握るのが、開会式直後に行われた、このステファン・レコVSフィリップ・ゴミスだったような気がする。レコは言わずとしれた「格闘技界のトム・クルーズ」（藤原紀香命名）だが、一方のゴミスは、あのジェロム・レ・バンナの秘蔵っ子としての経歴しか持ち合わせてはいない、いわゆる未知の強豪。確かにレコを相手にしてもひるむことはなく、師匠バンナに似た切れ味で鋭いパンチの連打を繰り出す。かつ変則的なブローである点も見逃せない。「彼はハードパンチャーというより、正確に当ててくる。それほど効かなかった」とはゴミスのレコ評だが、結局、最後は両者の地力の差が出た一戦だった。（Show）

★第1試合（K-1 DREAM99 トーナメント1回戦・3分3R）

○ステファン・レコ（1R2分56秒、KO勝ち）フィリップ・ゴミス●

（ドイツ、マスタージム）　（フランス、ジェロニモジム）

※右ストレート。1Rにゴミスは右ストレートで1度ダウンを喫した

アビディ、噂通りの凄玉！ あのウォーカーを秒殺！

これまで武蔵やタケルが散々手こずったカークウッド・ウォーカーが、ローキック4発で秒殺されてしまった。あのウォーカーがまったく手が出なかったのである。フランスの超新星、シリル・アビディが、噂に違わぬ凄玉だったことが、早くも1回戦で証明された。6月のK-1福岡大会で、武蔵の挑戦を受けたウォーカーは5RKO負け。あれから1ヵ月とたっていないが、武蔵戦敗北をきっかけに「さらに精神的に強くならなければならないことを学んだ」と並々ならぬ気持ちでこのトーナメントに挑んだ。だが、そんな気持ちもローキック4発で簡単にひねり潰されてしまったのだ。スターになる選手というのは、実力もさることながら、強運も持ち合わせている。1回戦のアビディはまさに強運の持ち主といったファイトを見せた。さらに、同じブロックのレコが1回戦で負傷。この時点では、もしやこのままいくかと思わされたが……。それほど見事な日本デビュー戦だった。

2週間前にケガしたところを蹴られてシビレてしまいウォーカーは立ち上がれず

情け容赦のないアビディの右ローキック4発でウォーカーがダウン!

▲完勝だったアビディ。闘い足らないといった表情が魅力的だ

▲「ケガさえなければ、あの蹴りは何でもない」（ウォーカー）

★第2試合（K-1 DREAM99 トーナメント1回戦・3分3R）

○シリル・アビディ（1R0分33秒、KO勝ち）カークウッド・ウォーカー●

（フランス、ロメアチーム）　（U.K.、トロージャンジム）

※右ローキック

アンディ、アーツの弟子対決、

◀ボクシングで鍛えたパンチがセメノビッチの最大の武器。キックでも、パンアメリカン王座などのタイトルを手中にしている

佐山聡が新たに旗揚げした新格闘技・掣圏道から、K-1に新たな選手が参戦してきた。アレクサンド

日清カップヌードル
K-1 DREAM'99
7.18★名古屋レインボーホール

アンディ、アーツの弟子対決、今大会随一の壮絶ファイト！

マクドナルドが強烈なローキックをジーヨの脚に叩き込む

▲右ハイを放ち、バランスを崩したマクドナルドの脇腹にヒザがヒット

◀マクドナルドにアドバイスするアンディ。「3Rのミスがなければ勝っていたね」（アンディ）

◀ジーヨは力のこもったボディをマクドナルドに打ち込む。マクドナルドはしっかりとガード

アンディ、アーツそれぞれの弟子による代理戦争として試合前から注目されたマクドナルドとジーヨの一戦は、1Rから激しくデッドヒートした。左足を前に出し、右足に少し体重を残しながら間合いを詰め、力強い左右のパンチ、ハイキックを繰り出すジーヨのファイトスタイルがアーツを彷彿とさせれば、完璧な防御で相手の攻撃を封じ、鋭いローキックを放つマクドナルドはアンディを思わせる。普段の練習の中で染み着いた、それぞれの師匠のイズムが二人からにじみ出る。前2試合の派手なKO決着で沸き上がった会場が、今度は技と魂の壮絶なぶつかり合いに沸く。1、2Rは全くの互角。しかし3R中盤、自らの右ハイキックでバランスを崩したマクドナルドの脇腹にジーヨのヒザがヒットし、マクドナルド痛恨の「ダウン」。1Rから3Rまで壮絶な攻撃の応酬でファンの目を釘付けにしたこの試合は、文句なしに今大会のベストバウトと言える素晴らしい内容だった。

★第3試合（K-1 DREAM99 トーナメント1回戦・3分3R）
○コンバット・ジーヨ（判定3ー0）マイケル・マクドナルド●
（ボスニア・ヘルツェゴビナ、メジロジム）　（カナダ、フリー）
※3Rにマクドナルドは1度スタンディングダウンを喫した

ロシアから来たダイヤの原石セメノビッチは磨けば光る！

▶敗れたセメノビッチだが、「自分が今後どんな練習をすべきか分かった」と、期待を抱かせるコメントを残した

★第4試合（K-1 DREAM99 トーナメント1回戦・3分3R）
○サミール・ベナゾーズ（判定3ー0）アレクサンドル・セメノビッチ●
（モロッコ、ボス・ジム）　（ロシア、掣圏道アソシエーション）

K－1初参戦で、予想以上のポテンシャルを見せてくれたセメノビッチ

◀ボクシングで鍛えたパンチがセメノビッチの最大の武器。キックでも、パンアメリカン王座などのタイトルを手中にしている

佐山聡が新たに旗揚げした新格闘技・掣圏道から、K－1に新たな選手が参戦してきた。アレクサンドル・セメノビッチ。アマボクシングで200戦のキャリアを持つ強豪だ。ソ連ナショナルチームの一員だったこともあり、ロシア王者にも就いている。もちろん、初来日の選手だけにその実像は試合までベールに包まれていたが、いざ闘いが始まってみると、これが予想以上にいい選手だった。194センチの長身から繰り出すパンチは強烈そのもの。何度もベナゾーズをたじろがせていた。ただ、ローキックありのルールに慣れていないため、ベナゾーズに脚を攻められてしまうと万事窮す。判定負けを喫してしまった。だが、ローで何度も体を泳がされながらも最後まで立ち続けたタフさは特筆もの。試合後「今後はK－1のためだけに練習を積んでいきたい」と語ったセメノビッチ。この好素材が、さらに磨かれていけば…。未来のK－1トップファイターとして、楽しみな存在だ。

武蔵VS中迫は辰吉と薬師寺みたいなもんです。

石井館長の総評──

今年のK-1シリーズの中ではベストの大会じゃないですか。時間も4時間ですか。暑いなかで、お客さんもそんなに長いと大変でしょうから(笑)。

中迫(剛)に関しては、現時点で、総合力とテクニックでは武蔵のほうが勝っているかもわかんないですけども、一発一発の破壊力では中迫のほうが上じゃないかと思います。

とくにトーナメントでは、あるいは実戦になると、思い切りの良さに違いが出ますしね。ピーター・アーツにしてもそうですよね。現時点だと、中迫が急接近してきてますよね。

〈中迫選手はボス・ジムに行くそうですが?〉

ヤン・プラス、ヨハン・ボス、アーネスト・ホーストもそうですが、彼らが口を開けて待っていますから。彼らが「午前・午後にみっちりとシゴく」と言ってましたしね。

〈館長自身が声をかけてあげるとしたら?〉

「成り上がれよ!」と言いたいですね。勝ち負けは抜きにして、それは日本人のエース争いですから。次のエースは誰か、ということですよね。三沢(光晴)と小橋(健太)じゃないけども(笑)。たとえが悪いですか?

じゃあ、橋本(真也)と武藤(敬司)? えー、大仁田(厚)と(ターザン)後藤!?(笑)。

そういう感じですねえ。逆にねえ、あれみたいなもんですね。辰吉(丈一郎)と薬師寺(保栄)の試合みたいなもので、どっちが勝つかっていうのでエラい差が出ますからねえ。

〈今日は中迫選手がリング上でデラホーヤのマネをしたんですけど、そういうパフォーマンスはどうですか?〉

あんまり喉元を相手に向けるのは良くない(笑)。ただ、それは本人の気持ちの言い換えですから、それで本人がそう思ってやっているなら闘いやすいようにやればいいですよ。ま、中迫は本番に強いタイプじゃないですか? ポスト(打倒?)佐竹(雅昭)に近づいたんじゃないですかね。

佐竹との差ですか? う~ん、それはもう修羅場をくぐってきた部分の差だけじゃないですか。つまり経験の差だけじゃないかという気がしますけどねえ。逆に追い込まれても追い込まれても、という精神的な部分ではハングリー差では上かもしれないし。いいんじゃないですか?

それと、ジャパングランプリ(8月22日、有明コロシアム)に関しては、11時からやろうと思ってるんですよ、開会式を午後1時からくらいにして。だから、早めに見たい人は11時からで、メインを見に来たい人は1時に入ってくださいと。

〈有明で大仁田興行もあるそうですが?〉

だったら、「いっしょにやろう」って言っといてよ(笑)。ギャラ払うよ(笑)。(大仁田は)前に青柳(誠司)のアレがあるから。その時に乱入したのは佐竹と後川(聡之)でしょ? ドツかれたのが誰だっけ?

〈「スペル・デルフィンです」〉

だから(大仁田に)「6時から会場を貸すよ」って。当日は5時くらいには終わるから、6時から会場を使えばいいじゃない。そしたら、会場費がタダになるじゃない(笑)。

〈よかったんじゃないか。ただ、まだまだ相手じゃない」と佐竹は何だって言ってました?

そうかいな(笑)。じゃあ(佐竹を)中迫と(ジャパングランプリの)一回戦でやらそう(笑)。

イゴール・ボブチャンチンはローキックの対処法を覚えると、まだチャンスはあるだろうから、チャンスがあれば使っていきたいですね。でも、今日は勝ったけど、アーネスト・ホーストは本調子じゃないでしょう。

〈撃圏道の選手については?〉

次に来る選手は強いらしいし、9月にいい選手が来るでしょう。

トーナメントはステファン・レコが優勝したけど、これからはシリル・アビディが強くなるでしょう。

それからピーター・アーツの右ハイキックは沢村忠の「真空飛びヒザ蹴り」みたいになってきたね。右ストレートで(相手の)ガードを下げさせてから右ハイキックというね。ただ、思った以上にアーツはローキックが打たれ弱いね。でもシブといねえ、アーツは。自信を持ってるし。

そして、第4の男が快挙
K-1クロアチア大会 天田ヒロミが見事TKO勝ち!

海外初遠征を見事勝利で飾った天田

▲試合は天田の圧勝だった

前号でお伝えしたように、現地時間7月10日、クロアチアのプーラにある古代パンクラチオンを行った闘技場「ローマン・アンピシアター・アリーナ」で「ザ・ナイト・オブ・グラジエイター、キング・オブ・リング」という格闘技イベントが開催。K-1ルール4試合が行われたが、日本から唯一出場した天田ヒロミが、1Rドクターストップによる TKOで見事勝利を飾った。

天田は7月2日からオランダに渡り、K-1王者のピーター・アーツに師事。アーツがセコンドで見守る中、アーツ直伝の左ミドルキックでWKA英国王者クリス・バラード(イギリス)を1Rから追い込み、バラードは完全に戦意喪失。右手拳も痛めたため、2Rを闘えずレフェリーストップとなった。バラードは試合後、右手小指付け根の亀裂骨折が判明。天田は海外初遠征となるこの一戦を見事勝利で飾り、8・22ジャパングランプリへ弾みをつけた。

しかも、アマチュア・ボクシングの全日本王者でパンチが得意な天田が、蹴りで勝ったことは大きな収穫だ。アーツの指導で天田はどんな変身を遂げようとしているのか、見てみたいものだ。

▶クロアチアで天田が雄叫びを上げる。次はジャパンGPだ

番組インフォメーション
7/29、8/12の見どころ

SRS SPECIAL RING SIDE

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域により放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは7月15日現在のものです。
試合の結果などに伴い多少の内容変更の可能性があります。ご了承下さい。

『SRS』は毎週木曜日深夜1時20分～1時50分フジテレビ系で放送中。お見逃しなく！

7/29
魔裟斗、小野寺力、深津飛成、鈴木秀明ら各団体のエース勢揃い
キックボクシング特集『夏のキック祭り！』
7/29（木）放送　25:20～25:50

ムエタイ王国タイにも負けない熱さで、若者から注目を集めているキックボクシング。7月29日の放送は、そんなキックを大特集する。名付けて『夏のキック祭り！』。——7月4日のニュージャパンキック連盟『achivement5』を皮切りに、キックボクシングの大会が集中的に開催された7月。その7月4日の試合では、鈴木秀明がタイのプラサーンチャイ・ルーグノーンヤーントーイにリベンジ成功。また、超満員札止めとなった7月13日の全日本キック連盟『WAVE-IV』では、今や飛ぶ鳥も落とす勢いの人気者・魔裟斗が国際戦2連勝を果たしたほか、土屋ジョー、金沢久幸も揃って勝利をあげ、満員の観客も大興奮の大会となった。また、5月30日に対ムエタイ初勝利を果たし、波に乗る新日本キック協会のエース・小野寺力、『SRS』ホームページでも今大人気のリトル・タイソンこと深津飛成が、再びムエタイに挑む7月24日の『覇王傳』も興味深い。各団体のエース選手が揃ってリングに上がった7月、会場で観た人も、観られなかった人も、キックボクシング特集は要チェック！　また、7月24日、25日に和歌山県南紀白浜で行われる正道会館夏期合宿潜入レポートも必見だ。

8/5
世界大会の明暗はこの夏合宿での特訓にかかっている！
極真夏合宿～世界大会へ向けての特訓～特集
8/5（木）放送　25:20～25:50

4年に一度、地上最強の空手家を決める極真会館全世界空手道選手権大会が今年の11月5、6、7日の3日間、東京体育館で開催される。『SRS』ではこれまで、ヨーロッパ地区の代表を決めるヨーロッパ（キエフ）大会、アメリカ大陸の代表を決めるアメリカズカップ、そして全日本ウェイト制大会と世界大会に向けて世界各地で行われた予選大会を追ってきたが、世界大会の代表もほぼ全員決まり、地上最強の空手家を目指す強豪たちは厳しい調整に入った。日本代表選手も今まで日本人が死守してきた王座を守るために、7月30日から8月1日まで、福島県いわき市にて地獄の夏合宿に突入する。毎年恒例の夏合宿ではあるが、世界大会のある今年の合宿は、意味あいも参加者の意気込みも当然違う。監督は廣重毅師範、コーチは川畑幸一師範。王座を脅かす一番手のフランシスコ・フィリォ、そしてグラウベ・フェイトーザらブラジル勢もチューブトレーニング以上の過酷なトレーニングを行っているとの情報もあり、この夏合宿が勝負の分かれ目になる可能性は大きい。この日の放送では極真合宿レポートの他に、7月16日の修斗の模様も放送予定。

フジテレビ系列の番組から

『第30回オープントーナメント全日本空手道選手権大会』
フジテレビ739
7月31日（土）/14:00～17:00、23:00～26:00

世界大会を3カ月後の11月に控え、緊張感の高まる極真だが、CS衛星放送のフジテレビ739では、7月31日に昨年の11月14、15日に行われた第30回オープントーナメント全日本空手道選手権大会（松井派）を3時間にわたって放送する。世界大会の第一次代表選考を兼ねたこの大会は、大会直後に『SRS』特番で放送したが、今回はその時の放送時間より長い3時間のロングバージョン。大会は、数見肇が安定した実力で勝ち上がり、決勝では得意の下段回し蹴りで田村悦宏を圧倒し3年連続4度目の優勝を果たしている。見どころは、数見の安定した試合内容もさることながら、ベテラン・岩崎達也を上段回し蹴りの一本勝ちで下した勢いに乗って準決勝進出した野地竜太の若者らしいガムシャラな闘いぶり。また、入賞候補と目されながらも、準々決勝進出を前に涙を飲んだ選手たちの試合にも注目してほしい。

『CX Sports739』
フジテレビ739
8月10日（火）/21:00～22:30

フジテレビ系のCS衛星放送チャンネル「フジテレビ739」で放送されているスポーツ番組「CX Sports739」では月に2回火曜日、格闘技特集が組まれている。ちなみに今月は7月13日に「K-1特集」が放送され非常に好評だったが、7月31日にはダイナミックグローブ「ボクシング」特集が行われる予定。衛星放送独特の構成が格闘技ファンから人気を得ているこの番組、今後の格闘技特集も要チェックだ。

SRSホームページにアクセスしてみよう！　http://www.fujitv.co.jp/

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
7/23 FRI	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00 ～ 8：00 12：00 ～13：00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する情報番組。毎回格闘家ゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00 ～15：30	ハワイで開催された『スーパーブロウルXII』の模様を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	18：00 ～19：00	97.8.30『エクストリーム・チャレンジ9』より、マーク・ハンセンvsノエ・ヘルナンデス、バット・ミレティックvsクリス・ブレンナンの2試合を放送
	GAORA	パンクラッシュ！PANCRASE	18：00 ～20：00	99.7.6後楽園大会の模様を完全特集。メインイベントはセーム・シュルトvs渋谷修身、注目の菊田早苗は伊藤崇文と対戦する
	GAORA	全日本キックボクシング	20：00 ～22：00	『WAVE-IV 7.13後楽園ホール大会』から、フェザー級王座決定トーナメント決勝戦・増田博正vs藤武蔵を中心に放送
	テレビ東京	格闘コロシアム	22：30 ～22：54	修斗特集。7.16後楽園大会
7/24 SAT	GAORA	PANCRASE DAYS	18：00 ～20：00	95.1.26愛知県武道館大会、95.3.10横浜文化体育館大会から全14試合を放送
	FIGHTING TV SAMUSAI!	闘いのワンダーランド	19：00 ～20：00	高田延彦編。現在のVT戦士ぶりとは180度違う、新日本プロレス時代の映像から山田恵一戦をオンエア
	テレビ朝日	リングの魂	25：00 ～25：31	ゲスト解説：角田信朗。芸能人の柔道対決トーナメント「J1クライマックス」を放送。出場選手は7/31欄を参照
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：30 ～27：30	7.7米沢市営体育館大会より、佐々木、橋本、ミング組vsノートン、天山、小島組ほか6試合を放送
7/25 SUN	SKY sports 3	ムエタイ	23：00 ～24：00	タイ国内のムエタイ中継番組をそのまま放送。日本に居ながらにして本場の熱気を味わうことができるマニア必見のプログラム
	SKY sports 3	ムエタイ	3：00 ～4：00	7/24と同内容 10：00～11：00、19：00～20：00でも放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：30 ～11：00	7/23と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	11：00 ～12：00	7/23と同内容
	GAORA	PANCRASE DAYS	11：00 ～13：00	7/24と同内容
	フジテレビ	ウチくる？	12：00 ～13：00	司会：田代まさし、中山秀征。アンディ・フグがゲスト。田代まさしとフグ料理を食べながら、格闘技談義。田代とのダジャレ合戦も？⬅PICK UP①
	GAORA	全日本キックボクシング	13：00 ～15：00	7/23と同内容
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	25：50 ～26：20	7.23日本武道館大会より、世界タッグ選手権試合、ジョニー・エース、バート・ガン組vs大森隆男、高山善廣組を放送
7/26 MON	GAORA	全日本キックボクシング	23：00 ～25：00	7/23と同内容
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45 ～26：15	7月10日にクロアチアの古代闘技場で行われたK-1マッチの模様を放送予定。日本から出場した天田ヒロミの気になる結果は？⬅PICK UP②
7/28 WED	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・アンコール	14：00 ～15：30	修斗特集。99.1.15横浜文化体育館での修斗プロ化10周年記念として行われた『修斗 The Renaxis 1999』の模様を放送
	GAORA	パンクラッシュ！PANCRASE	23：00 ～24：55	7/23と同内容
	GAORA	ひとりパンクラッシュ！	24：55 ～25：00	次回大会の情報を、パンクラシスト自らがコメント
7/29 THU	WOWOW	リングス1999	5：00 ～ 7：00	3.22NKホール大会の模様を放送。カードは田村潔司vs金原弘光、ランディー・クートゥアーvsイリューヒン・ミーシャほか
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	19：00 ～20：00	97.11.22『エクストリーム・チャレンジ11』より、アンドレ・ロバーツvsサム・アドキンスほか5試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00 ～21：30 24：00 ～25：30	6.18後楽園ホールで開催された、MA日本キックボクシング連盟の『仁義なき戦い パート2』から、佐藤堅一vs小林聡ほかを放送
	GAORA	ひとりパンクラッシュ！	21：55 ～22：00	7/29を参照
7/30 FRI	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00 ～23：00 26：30 ～27：30	7/23を参照
	フジテレビ	SRS	25：20 ～25：50	⬅P75
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00 ～ 8：00 12：00 ～13：00	7/23を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00 ～15：30	7/29と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	18：00 ～19：00	7/29と同内容
	テレビ東京	格闘コロシアム	22：30 ～22：54	8.1パンクラス『ネオブラッドトーナメント』直前特集。スタジオゲストには船木誠勝を予定
7/31 SAT	フジテレビ739	『第30回オープントーナメント全日本空手道選手権大会』	14：00 ～17：00 23：00 ～26：00	極真会館（松井派）の第30回全日本大会の模様を放送。世界大会代表権と『カラテ日本一』の座を賭けた熱い闘いが繰り広げられる⬅P75
	SKY sports3	ムエタイ	23：00 ～24：00	タイ国内のムエタイ中継番組をそのまま放送。マニア垂涎のプログラム。
	テレビ朝日	リングの魂	25：00 ～25：31	「J1クライマックス」を放送。出場選手は千原兄弟の千原Jr、猿岩石の有吉、ドロンズの石本、北京ゲンジのお宮の松、ジョーダンズの三又ら
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：30 ～27：30	7.20札幌中島体育センター大会から、武藤vs小島、天龍・藤波vsノートン・天山など5試合を放送
8/1 SUN	SKY sports3	ムエタイ	3：00 ～ 4：00	7/31と同内容。10：00～11：00、15：00～16：00でも放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：30 ～11：00	7/29と同内容
	GAORA	パンクラッシュ！PANCRASE	10：00 ～12：00	99.7.6後楽園ホール大会より、セーム・シュルトvs渋谷修身ほか3試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	11：00 ～12：00	7/29と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	闘いのワンダーランド	19：00 ～20：00	高田延彦編。若手時代、UWF時代の、新日本プロレスマットでの闘いより、新日本vsUWFイリミネーションマッチを放送
	GAORA	北斗旗空手道全日本体力別選手権	20：00 ～22：00	宮城スポーツセンターで開催された同大会を放送。注目はがこれが復帰戦となった加藤清尚の闘いぶり。そのほかにも小川英樹、山崎進など強豪が多数出場
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	24：55 ～25：40	7.23日本武道館大会より、三冠ヘビー級選手権試合、三沢光晴vs川田利明を放送。いつもより15分拡大して45分間の放送
8/2 MON	GAORA	PANCRASE DAYS	11：00 ～13：00	7/24と同内容
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45 ～26：15	7.10クロアチア大会の模様をオンエア予定
8/5 THU	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	19：00 ～20：00 23：00 ～24：00	98.11.21『エクストリーム・チャレンジ22』パート1 パトリック・スミスvsデビッド・ドッドほか6試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00 ～21：30 24：00 ～25：30	極真会館（三瓶代表）の「第16回全日本ウェイト制空手道選手権大会」を放送。半年後に迫った世界大会に向け、強豪たちが大激戦を繰り広げた

ON THE AIR 7/23～8/12

格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1

『ウチくる？』
〈アンディ・フグが出演〉
フジテレビ
7月25日（日）/12:00～13:00

毎週日曜に好評放送中の情報・バラエティー番組。今回は『田代まさしの東京・大久保案内』と題して放送され、アンディ・フグがゲストで出演する。内容は、アンディがゲストとなれば当然（？）、フグ料理に舌鼓を打ちながらの格闘技談義。『SRS』ですっかり仲良しになっている2人だけに、トークが弾むことは間違いなし。

Pick Up 2

『超K-1宣言』
《ザ・ナイト・オブ・グラジエーター』を特集予定》
日本テレビ系
7月26日（月）/25:45～26:15

毎回、K-1ジャパンを中心に最新のK-1情報を放送しているこの番組。7月25日の放送では、去る7月10日にクロアチアで行われた『ザ・ナイト・オブ・グラジエーター』を特集する予定。古代コロシアムで開催されたこの大会では、K-1マッチが4試合行われ、日本からは天田ヒロミが出場している。K-1ジャパン期待の星・天田の活躍はいかに!?

Pick Up 3

『ジ・アルティメット・ファイティング・チャンピオンシップ21』
ディレクTVスペシャルPPV（222ch）
8月7日（土）/20:00～22:00

今回で21回目となるUFCの模様を、ディレクTVがペイ・パー・ビューで放送する。今大会の目玉はなんといってもリングスの高阪剛が出場すること。会場には、山本宜久と成瀬昌由も応援に駆けつけたという。また、初出場となる和術慧舟會の高瀬大樹、マルコ・ファスとモーリス・スミスのスーパーファイトにも注目したい。

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
8/5 THU	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00 ～23：00 26：30 ～27：30	7/23を参照
	GAORA	北斗旗空手道全日本体力別選手権	22：00 ～24：00	8/1と同内容
	フジテレビ	SRS	25：20 ～25：50	⬅P75
8/6 FRI	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00 ～ 8：00 12：00 ～13：00	7/23を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00 ～15：30	8/5と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	18：00 ～19：00	8/5と同内容
	テレビ東京	格闘コロシアム	22：30 ～22：54	8.1『パンクラス・ネオブラッドトーナメント』特集。スタジオゲストも予定
8/7 SAT	SKY sports3	ブラジル格闘技99 VT	23：00 ～24：00	97.7.6ブラジル・サンパウロで開催された「第1回IVC大会」を放送。第1回のメインはダン・スバーンvsエベンゼール・フォンテス・ブラガ
	SKY sports3	ブラジル格闘技99 VT	3：00 ～ 4：00	8/6と同内容
	ディレクTVスペシャル PPV（222ch）	第21回UFC	20：00 ～22：00	7月16日に開催された第21回UFCを放送。リングスの高阪剛も出場、ティム・ラジックと対戦する⬅PICK UP③
	テレビ朝日	リングの魂	25：00 ～25：31	「J1クライマックス」決勝戦！
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：40 ～27：40	7.21札幌中島体育センター大会からIWGPタッグ選手権試合、山崎一夫復帰戦、スーパージュニア・バトルロイヤル戦などを放送
8/8 SUN	SKY sports3	ムエタイ	6：00 ～7：00	7/23参照（放送内容は7/23とは異なります）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：30 ～11：00	8/5と同内容
	GAORA	全日本キックボクシング	10：00 ～12：00	7/23と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	11：00 ～12：00	8/5と同内容
	GAORA	北斗旗空手道全日本体力別選手権	15：00 ～17：00	8/1と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	闘いのワンダーランド	19：00 ～20：00	高田延彦編。UWFの新日本提携時代の貴重な映像から、ザ・コブラ戦を放送
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	24：55 ～25：25	7.23日本武道館大会のその他のカードなどを放送予定
8/9 MON	日本テレビ	超K-1宣言	25：45 ～26：15	7.10クロアチア大会を特集予定。試合の映像はもちろん、ピーター・アーツも出演するかも？
	SKY sports3	ムエタイ	11：00 ～12：00	8/8と同内容
8/10 TUE	フジテレビ739	CX Sports739	21：00 ～23：30	⬅P75
8/12 THU	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	19：00 ～20：00	98.11.21『エクストリーム・チャレンジ22』パート2 アミールvsデビッド・デイビスほか6試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00 ～21：30 24：00 ～25：30	ニュージャパンキックボクシング連盟が7.4に開催した「achievement5」大会から、鈴木秀明と佐藤孝也が強敵タイ人に挑んだ熱戦を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00 ～23：00 26：30 ～27：30	7/23を参照
	フジテレビ	SRS	25：20 ～25：50	⬅P75

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888 ☎03-5802-5550（9：00～21：00）

ディレク・ティービー
☎044-862-0011（9：00～21：00）

GAORA
〔スカイパーフェクTV！／ディレク・ティービー〕
☎03-5280-1104／06-6374-0002
（月～金10：00～18：00）

スポーツ・アイ―ESPN
〔スカイパーフェクTV！／ディレク・ティービー〕
☎03-5474-3344（月～金10：00～18：00）

FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV／ディレク・ティービー〕
☎03-5351-4055（12：00～20：00）

フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV〕☎03-5500-8888

SKY SPORTS 1&SKY SPORTS 3
〔スカイパーフェクTV〕☎03-5500-3488

ディレクTVボクシング
〔ディレク・ティービー〕☎03-5500-3488
（9：00～21：00）

J-SPORTS
〔スカイパーフェクTV！／ディレク・ティービー〕
☎0120-197-520（9：00～20：00）

WOWOW
☎0570-008-080（9：00～20：00）

BOOK
話題の本＆新刊情報

〈編集部おすすめの一冊〉

『香港功夫（クンフー）映画激闘史』

知野二郎著
洋泉社
本体価格1850円/発売中

ブルース・リー、ジャッキー・チェン、そして90年代へ。香港映画50年の光と影を追う！

『燃えよドラゴン』日本公開から26年。根強い人気を誇り、ハリウッドからも注目される香港クンフー映画の歴史をまとめた研究書が発売された。黎明期のスターからブルース・リー、ジャッキー・チェンはもちろんのこと、90年代に現われた“最後の本格派”ドニー・イェンや、日本ではなじみの薄い俳優たち、「武術指導」などの裏方にまでスポットを当てている。詳細なデータや豊富なエピソードが掲載されており、マニアの間で“日本一のクンフー映画マスター”として知られる著者の知野氏ならではの、これまでに類を見ないほどの大著だ。

PRESENT!

今回、このコーナーで紹介した『香港功夫映画激闘史』を、『SRS・DX』読者10名様にプレゼント！　希望者はP126『ごっつぁん天国』と同じ項目を明記の上、下記まで応募を。締切は8月13日（金）消印有効。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　SRS・DX編集部『香港功夫』係

〈注目の一冊〉

『カリスマ　神に最も近づいた男モハメド・アリ』

ジェラルド・アーリー編/鈴木孝男訳
KKベストセラーズ
本体価格3,200円/発売中

米国を代表する著者たちが描く“20世紀最大のカリスマ”の肖像

ボブ・グリーン、ピート・ハミル、ノーマン・メイラー――。『現代アメリカ文学全集』の話ではない。彼らが一人のスポーツ選手について書いた原稿が、一冊にまとめられたのだ。その選手の名は、モハメド・アリ。20世紀最高のスポーツ選手とも最大のカリスマとも言われたボクサーの波乱に富んだ生き様を綴った文章が、年代ごとに分けて収録されている。当代きっての文章の名手たちが描くアリの肖像の数々は、まさに珠玉と呼ぶにふさわしい。

〈新刊紹介〉

It's HOT

『武術の視点』

甲野善紀著
合気ニュース
本体価格2,150円/発売中

糸井重里氏も絶賛する武術研究の大家が最新作を発表

これまでにも『甦る古伝武術の術理』など多数の著書、ビデオを発表している甲野善紀氏の2年半ぶりの最新作が発売された。甲野氏は、武術稽古研究会『松聲館』の設立者で、長年にわたり古武術を研究してきた人物。また、様々な分野の人々との交流でも知られている。今作では、この2年半の技や術理の変化に関わるエピソードや、具体的な技法解説などが記されている。また、本の帯に寄せられた、糸井重里氏の文章も必読。

BOOK RANKING（6/24～7/7調べ）

1. 『すべてはゆるむこと』
松井浩著/総合法令出版
本体価格1,600円

2. 『武術の視点』
甲野善紀著/合気ニュース
本体価格2,150円

3. 『秘録　極真空手』
郷田勇三著/スキージャーナル
本体価格1,500円

4. きみはもう『拳意迷真』を読んだか
笠尾恭二著/BABジャパン
本体価格1,900円

5. 『武道通信』
杉山頴男事務所
本体価格952円

1位 『すべてはゆるむこと』

運動科学の鬼才・高岡英夫氏の理論に気鋭のスポーツライターが迫る注目の書

今回、1位となったのは松井浩氏の『すべてはゆるむこと』。この本で取り上げられている運動科学者・高岡英夫氏は、その独自の理論で各界から注目され、科学研究などにも手腕を発揮している人物で、格闘家にも信奉者は多い。その高岡氏が初めて明かす身体の真理“ゆるみ”とは何か？　松井氏の実体験も交えて、具体的に記されている。

書泉グランデ

東京都千代田区神保町1-3-2（神保町書店街）
☎03-3295-0011（代）

▲今回ご協力いただいた『書泉グランデ』。格闘技コーナーは4階にあり、いつも多くのファンで賑わっている

書泉グランデ 塚本正夫主任

「系列店の書泉ブックマートはプロレス中心ですが、当店では格闘技、中でも武道・古武術系の書籍、ビデオが充実しています。発売されたものは基本的にすべて入荷しますので、興味のある方はぜひ当店に足を運んでみてください」

GOODS

ファン必携の限定グッズが続々登場！

〈新作紹介〉

修斗『ふぁっかいTシャツ』（KINGS限定カラー）

3,000円（税込み）
発売中

It's HOT!

人気の修斗グッズにまたまた新作登場
エンセン道場inグアムのTシャツだ！

『大和魂Tシャツ』をはじめ、発売する商品がことごとくバカ売れ状態の修斗グッズ。今回、紹介するのは『ふぁっかい』Tシャツだ。『ふぁっかい』とは、エンセン井上がグアムで経営しているジムのこと。この白バージョンは、このコーナーにご協力いただいている『ワールドスポーツプラザKINGS』の限定発売となっている。エンセンの座右の銘「男で生きたい、男で死にたい、男になりたい」が英語になってプリントされているのにも注目！

Recommend!! 〈おすすめグッズ〉

『アントニオ猪木　リミテッドディテールフィギュア』

4,800円（税込み）
発売中

一人に一体のマストアイテム
猪木信者なら神棚にまつれ！

ランキングの3位にも登場しているこのフィギュア。細部までこだわった出来ばえで、まさに一人に一体のマストアイテムだ。どこに置いても、見るたびに闘魂が注入されること間違いなし！　とはいえ猪木信者なら、やっぱり神棚にまつるのがベストかも？

ワールドスポーツプラザKINGS
河田規郎店長

「7月10日にKINGSとしてリニューアルした当店では、修斗、プライド、K-1など様々なジャンルのグッズを数多く取り揃えています。今の一番人気はやはり修斗関係で、格闘技ファンの方以外にも幅広い人気になっています」

ワールドスポーツプラザKINGS
東京都渋谷区神南1-9-5ワールドスポーツプラザWEST 1F（渋谷消防署前）
☎03-3462-1001　通信販売受付☎03-3462-7775
営業時間/11:00～20:00　通信販売受付/11:00～19:00

GOODS RANKING（6/24～7/7調べ）

1. 『コンテンダーズTシャツ』（KINGS限定カラー）
   宇野商店/3,500円
2. 『ゲーリー・グッドリッジTシャツ』
   プライド/3,000円
3. 『アントニオ猪木リミテッドディテールフィギュア』
   アントニオ猪木/4,800円
4. 『ハリウッド・ホーガンフィギュア』
   ヘッドリンガーズ/1,800円
5. 『奇人コミックTシャツ』
   修斗/4,000円

1位

裏原系に人気の『宇野商店』モノが1位を獲得

今回ランキング1位を獲得したのは、フリーマーケットから始まった宇野薫の『宇野商店』モノ。この『コンテンダーズ』Tシャツをはじめ、『宇野商店』の商品は宇野薫が自らデザインしており、格闘技ファンだけでなく、裏原系でも人気を博している。

Et cetra

■メンズエステ"ラ・パルレ"サマーナイトパーティーにご招待

SRSファミリーの畑野浩子ちゃんがイメージキャラクターを務めるメンズエステ"ラ・パルレ"では、全国70店舗達成を記念してサマーナイトパーティーを8月19日（木）、東京全日空ホテルで開催する。このパーティーに、『SRS・DX』読者50名をご招待！　当日は、人気急上昇中のMISSIONのライブをはじめ、司会のお笑いタレント、バナナマンによるコントなど、盛り沢山の内容になっているぞ。
◆応募方法／官製ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、下記まで。※招待券の発送をもって発表に代えます
◆あて先／〒150-0036東京都渋谷区南平台町13-10ラ・パルレビル2F（株）ラ・パルレ「パーティーご招待」SRS・DX係
◆締切／7月31日（土）必着

■格闘写真展『ガチンコ・グラフィック』開催。8/8には宇野薫の『宇野商店』が一日限定オープン！

8月6日（金）～8月17日（火）まで、名古屋パルコ東館7F・イベントスペース『E7』にて、写真家・長尾迪氏の写真展『ガチンコ・グラフィック』が開催される。この写真展では、長尾氏が発表した写真集『格闘写真集FIGHTS』（双葉社刊）の収録作品に、『PRIDE.5』、『PRIDE.6』、5.29修斗横浜大会など最新の未発表作品を追加。修斗、プライドシリーズ、UFC、パンクラスの闘いの記録を迫力の写真で振り返っている。また、会場では選手が使用した道衣や、現在では市場に出ていないプレミアもののTシャツを特別展示。8月8日（日）には和術慧舟會・宇野薫の『宇野商店』が1日限定オープンするほか、会場限定オリジナルTシャツなどの販売も行われる。
◆会場／名古屋パルコ東館7F・イベントスペース『E7』
◆期間／8月6日（金）～8月17日（火）.10：00～21：00.会期中無休
◆お問い合わせ／名古屋PARCO　☎052-264-8101

Photo by SUSUMU NAGAO

■リングス公認テーマ曲CD発売記念イベント開催

前田日明、田村潔司など、リングスの人気選手の入場テーマ曲を18曲収録したオフィシャルCD『RISE』が、8月1日（日）、ポリスターより定価4,500円（税込）でリリースされる。収録曲のほとんどが会場使用音源というこのスグレモノCDの発売を記念して、トークイベントが開催される。詳細は下記の通り。整理券配布による選手との握手会もあるので、ファンなら行かねば！
◆会場／HMV横浜（横浜VIVRE GF）、池袋サンシャインシティ噴水広場
◆日時／［横浜］8月1日（日）15：00～［池袋］8月2日（月）18：00～
◆イベント参加者／［横浜］前田日明、田村潔司［池袋］前田日明、リングスジャパン選手
◆特典／CD購入者には完全限定『前田日明VSA・カレリン』特大ポスターをプレゼント

※前号のP61における、同CDの紹介記事において誤りがありました。『著作権の関係から、収録されている曲はすべてカバーバージョンで、オリジナルとは違うアーティストが演奏している。』とありましたが、同CDはライセンス許諾楽曲、カバー申請楽曲、オリジナルテーマなどで構成されており、成瀬選手の曲以外はすべて会場使用曲となります。読者・関係者の皆様にお詫びし、ここに訂正します。

■リングスの大会シリーズ名を一般公募

リングスでは、今年の「RISE」シリーズに続く、来年の大会シリーズ名を募集中。リングスマットで繰り広げられる熱い闘いを象徴するような名前を考えてどしどし応募を。もちろん採用者には賞品あり！
◆応募方法／タイトル名とその理由、住所、氏名、電話番号、「SRS・DXを見て応募」と明記の上、〒150-0036東京都渋谷区南平台13-1サトウビル202（株）リングス「大会シリーズ名募集」係まで。
◆締切／7月31日（土）到着分まで有効

■リングス坂田、上山が海外の大会に出場

10月3日（日）、イギリス・ミルトンキーンズのプラネット・アイスアリーナで開催されるフリーファイト大会『TOTALFIGHT KRG 5 PRO-EVENT』に、リングスの坂田亘と上山龍起が出場を予定している。坂田はリー・ハスデルと、上山はクリストファー・ワッツとそれぞれ対戦する予定。詳しい情報が入り次第、随時このコーナーで掲載していく予定なので、ファンの皆さんはお楽しみに！

■バス・ルッテンがハイブリッド・レスリングセミナー開催。

『パンクラス実技講座PART5　バス・ルッテンのハイブリッド・レスリングセミナーⅡ』が7月31日（土）に開催される。元キング・オブ・パンクラシストで、現在はUFCのヘビー級王者として活躍するバス・ルッテンが、昨年9月に続いて講師を務めるもので、もちろん、格闘技の経験がまったくない人や、女性の参加も大歓迎！　締切は7月23日（金）の消印有効（つまりこの本の発売日！）なので、参加希望者は速攻で応募せよ！
◆日時／7月31日（土）　12：00受付、13：00開始、16：00終了予定
◆会場／パンクラス東京道場P's LAB（地下鉄日比谷線広尾駅より徒歩10分）
◆受講料／一般5,000円、ファンクラブ、後援会、P's LAB会員4,000円
※運動できる服装と室内用シューズを持参すること
◆申し込み方法/住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、格闘技経験の有無を明記したメモを同封の上、下記住所の『ルッテンセミナーⅡ』係まで受講料を現金書留で送付
◆締切／7月23日（金）消印有効
◆お問い合わせ／パンクラス〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25
☎03-5792-0815（担当：追立）

■パンクラスの技術講座が全国各地で開催。グッズフェアもあるぞ！

パンクラスのアマチュア対象トレーニング『P's LAB』講座が、金沢、大阪、新潟の各地で開催される。パンクラシストが直接指導してくれるだけでなく、講座終了後にはサイン会、写真撮影会、グッズ販売も行われるだけに、ファンならマストのイベントだ！
［P's LAB in金沢］
◆日時／8月7日（土）　16：00～18：00
◆会場／セントラルフィットネスクラブ金沢（金沢市本町2-15-1ポルテ金沢5F、JR金沢駅より徒歩1分）
◆講師／山田学、國奥麒樹真
※同店舗にて7月31日（土）～8月7日（土）、パンクラスグッズフェアを開催
［P's LAB in大阪］
◆日時／8月8日（日）　13：00～16：00、9月25日（土）　18：00～21：00
◆会場／FLEX1野田スタジオ（大阪市福島区吉野3-8-1　3～4F、地下鉄千日前線玉川駅、JR環状線野田駅より徒歩1分）
◆講師/山田学、國奥麒樹真（8／8）　船木誠勝、近藤有己（9／25）※大阪での講座は月一回定期的に行われる予定
［P's LAB in新潟］
◆日時／9月26日（日）13：00～16：00
◆会場／セントラルフィットネスクラブNEXT21（新潟市西堀通6-866NEXT21-6F、JR新潟駅より古町行きバス・三越前下車）
◆講師／船木誠勝、近藤有己
※同店舗にて9月19日（日）～9月26日（日）、パンクラスグッズフェアを開催
◆受講料（共通）／一般5,000円。ファンクラブ、セントラル会員4,000円
◆申し込み方法（共通）／格闘技経験の有無を明記して、下記住所の『P's LAB in○○』係まで現金書留で受講料を送付
◆締切／［金沢、8／8大阪］8月4日（水）消印有効　［9／25大阪、新潟］9月22日（水）消印有効
◆お問い合わせ／パンクラス〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25
☎03-5792-0815

■7/25アジア太平洋キック鶴見大会、当日券を読者割引

7月25日（日）に開催される、アジア太平洋キックボクシング連盟『THE SUPER KICK M110 勝負』神奈川・鶴見青果市場大会。この大会では、『SRS・DX』読者に限り当日券の料金割引を実施。観戦希望者は当日、会場の当日券売り場で今号を提示すれば、A席5,000円、B席3,000円をそれぞれ1,000円引き、立見1,000円を500円引きで入場できる。詳しいお問い合わせは下記の電話番号まで。
◆お問い合わせ／エム・プロモーション　☎045-542-7193
※大会情報の詳細はP56を参照

■極真会館（松井派）兵庫・大阪南支部夏期合宿参加者募集

極真会館（松井派）の兵庫・大阪南支部が、夏期合宿を7月30日（金）～8月1日（日）と8月13日（金）～8月15日（日）の2回実施する。この合宿には、他支部、他流派の門下生も参加が可能。現在、参加者を募集している。極真会館の第2・3回世界大会王者、中村誠師範の直接指導が受けられるまたとないチャンスだ。基本からスパーリングまでくまなくフォローした内容になっているので、ビギナーから有段者まで、参加希望者は下記まで問い合わせを。
◆会場／神戸総本部道場（神戸市兵庫区下山2-3-13、地下鉄上沢駅より徒歩8分、地下鉄湊川公園駅・神鉄湊川駅より徒歩10分、JR兵庫駅より徒歩20分、阪神高速柳原出口より車で5分）
◆期間／［第1期］7月30日（金）～8月1日（日）［第2期］8月13日（金）～8月15日（日）　※1期、2期とも初日の10：00集合
◆参加費／［一般・少年・女子・壮年部］30,000円（3日間）20,000円（2日間）15,000円（1日）［初段］25,000円（3日間）15,000円（2日間）10,000円（1日）［二段］20,000円（3日間）10,000円（2日間）5,000円（1日）［三段］15,000円（3日間）5,000円（2日間）2,500円（1日）
◆お問い合わせ／道場事務局　☎078-531-0664

■8/9女子ボクシング大会チケットプレゼント

8月9日（月）、東京・北沢タウンホールにて開催される第2回日本女子ボクシング大会。初代ミニフライ級王座決定トーナメントが行われ、シュートボクシングの中村ルミ、不動館の中沢夏美も出場する注目の大会だ。この大会のチケット（全席自由5,000円）を、『SRS・DX』読者5組10名様にプレゼント。希望者は、P126『ごっつぁん天国』と同じ項目を明記の上、下記まで応募を。締切は8月2日（月）必着。
◆あて先／〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル8F　SRS・DX編集部『女子ボクシング』係
※大会情報の詳細はP57を参照

■ニュージャパンキック・鈴木秀明がタイ遠征。観戦ツアー決行！

8月12日（木）に開催されるタイ王妃生誕を祝うビッグマッチの日本代表選手としてニュージャパンキック連盟のエースで、今、日本で打倒ムエタイに最も近い男とも言われる鈴木秀明の出場が急遽決定、前ルンピニーJrウェルター級5位のチャーンノーイ・ソー・ニワットと対戦することになった。鈴木はこれまでのタイ遠征でも結果を残しており、現地のプロモーターからも高評価を受けているだけに、今回の試合も期待できそうだ。なお、鈴木は12月5日（日）に行われるタイ国王生誕を祝う王宮マッチにも出場が決定している。また、ニュージャパンキック連盟では8月、12月ともに観戦ツアーを行うことが決定！　詳細は現在未定だが、8月の試合に関しては、8月10日（火）出発、8月14日（土）の帰国が予定されている。詳しい問い合わせは連盟事務局　☎03-3239-7703（月～金10：00～18：00）まで。

■ワールド大山空手が茨城・下館市に道場開設。生徒募集中

ワールド大山空手が茨城県下館市に道場をオープン。現在、生徒を募集している。指導員は岩田章支部長が務める。入会希望者は『ワールド大山空手　下館道場』（茨城県下館市西谷貝473-3片山ビル1F　☎0296-44-1789）まで問い合わせを。また、ワールド大山空手の各支部・道場でも、同様に生徒を募集中。アメリカのニューヨーク、アラバマ、シカゴの各道場では内弟子を募集中だ。こちらの問い合わせは日本本部事務局　☎045-324-0379まで連絡を。

格闘技オフィシャルホームページ

K-1 http://www.k-1.co.jp/	UFO http://www.ufojp.co.jp/	極真会館（松井派） http://www.kyokushin.co.jp
リングス http://www.rings.co.jp/	アントニオ猪木 http://www.antonio-inoki.com	大道塾 http://www.digiadv.co.jp/daidoujuku/
パンクラス http://www.so-net.ne.jp/pancrase/	UFC http://www.seg.com/ufc/	極真会館（大山派） http://www.enjoy.ne.jp/~kyokusin/
バトラーツ http://www.ops.dti.ne.jp/~batbat/	シュートボクシング http://www.portnet.ne.jp/~ko-tech/index.html	日本武道伝骨法會 http://www9.big.or.jp/~koppo/
修斗 http://www.alles.or.jp/~shooto/index.html	新日本キックボクシング協会 http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/	

GOODS&TICKETS イエローページ

チャンピオン 西田ビル6F

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6Ｆ
03-3221-6237
年中無休　営業時間11:00～22:20

レッスル渋谷
南口徒歩4分
第2野々ビル3F
（1F茜屋）

〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-17-2第2野々ビル
03-3464-0078
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

レッスル池袋
豊島区区役所真向かい
池袋陽光ハイツ3F
（1Fうどん屋）

〒170-0013　東京都豊島区東池袋1-36-3池袋陽光ハイツ306
03-3989-0056
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

板橋大山アメリカン

〒173-0014　東京都板橋区大山東町24-11
03-3962-6443
年中無休　営業時間（平日）10:00～20:00

書泉グランデ

書泉ブックマート

〒101-0051　東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
03-3294-0011
営業時間（平日）10:30～19:00（日祝）10:30～18:30

プロレス・マニア館
ラーメン屋の3F

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-7-14　たかのビル3Ｆ
03-5276-0304
営業時間（平日）12:00～21:30（日祝）11:00～21:30

アイドール
加藤ビル4F

〒160-0023　東京都新宿区西新宿7-1-3　加藤ビル4Ｆ
03-3371-5211
毎週月曜日定休　営業時間　11:00～19:00

ファイター
都営地下鉄
新宿線・丸の内線
「新宿３丁目」駅
C4 出口より徒歩1分

〒160-0022　東京都新宿区新宿3-3-9-B1
03-3354-1903
毎月第3水曜日定休　営業時間　11:00～19:00

フィットネスショップ格闘技
寺本ビル2F

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-6-13　寺本ビル2Ｆ
0120-4646-81

横浜AOコーナー
YOKOHAMA AO CORNER

〒220-0011　神奈川県横浜市西区高島2-8-5　篠崎ビル2F
045-440-3355
毎週月曜日定休　営業時間(火～土)14:00～19:00(日祝)12:00～18:00

■主要チケット発売所一覧

発売所	電話
チケットぴあ	03-5237-9999
チケットセゾン	03-3250-9999
ローソンチケット	03-3569-9900
CNプレイガイド	03-5802-9999
オデッセー	03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター	03-3406-1513
レッスル渋谷店	03-3464-0078
レッスル池袋店	03-3989-0056
板橋大山アメリカン	03-3962-6443
チャンピオン	03-3221-6237
書泉ブックマート	03-3294-0011
後楽園ホール	03-5800-9999

牡羊座 3/21〜4/20
全体運 前半は安定した運気なので、仲間と旅行に行ったり真夏のバカンスを思い切り満喫して。でも、悪影響をおよぼすような友達や遊びにハマりやすいので要注意。本業を忘れてしまったり、足を引っ張られるような人や出来事は避けて通ろう。また、エッチにハマったり異性に関心が高まるとき。後悔のないような交際を心がけて。
勝負運 動きがポイント。良い動きが出来たらグッド。
健康運 気候のせいもあるけども、不眠症になりがち。
金　運 ボーナス払いやクレジットなど苦しい現実が。

ラッキーアイテム：**サプリメント**
ラッキーカラー：**イエローグリーン**

牡牛座 4/21〜5/21
全体運 焦ったり、自信がなくなったり、情緒不安定になりがちなこの時期。一人で乗り越えようとするよりも、あなたには、公私ともに良きパートナーが必要みたい。アシスト次第で、気持ちも安定して、勉強、仕事、トレーニング、全てが充実してくるハズ！　また、夏の旅行は、西の方角に行くと、楽しい旅を堪能できそう。
勝負運 戦う前に、相手を肩書きや迫力で圧倒させて。
健康運 後半はパートナーのおかげで精神面で充実。
金　運 救いの神あり。泥沼から這い出せる予感。

ラッキーアイテム：**ペアグッズ**
ラッキーカラー：**コバルトブルー**

双子座 5/22〜6/21
全体運 仕事のセクションやスポーツのポジションが変わったり、あなたの環境や周囲での変化が起きやすいとき。夏で浮かれていたり、暑くてボーとしていることも作用して、なかなか慣れるまでに時間がかかりそう。ホルモンバランスが崩れたり、体調がバテ気味になりやすいので、栄養バランスの良い食事やサプリメントで補給を。
勝負運 ハングリー精神に欠けているよう。
健康運 ホルモンバランスと夏バテに要注意。
金　運 金運は安定しているので、余裕のお金は貯蓄。

ラッキーアイテム：**東の方角**
ラッキーカラー：**パープル**

蟹座 6/22〜7/23
全体運 前半はあなたの身の回りで、ショッキングな出来事が起こる予感。ケガをしたり、盗難にあったり、そのときは不幸のように感じるけれど、それは、自分自身で納得できることでもあり、成長のための踏み台になりそう。気持ちが乗らないこともあるけれども、一回り大きな器になるためにも、自分を見つめ直してみよう。
勝負運 勝利の可能性が低くてもベストを尽くして。
健康運 ケガの可能性はあるものの、まずまず良好。
金　運 盗難や落とし物に注意。損失の可能性が。

ラッキーアイテム：**コットンシャツ**
ラッキーカラー：**ホワイト**

魚座 2/20〜3/20
全体運 今まで結果が出せなかったことに、ギリギリ補欠合格の兆しが見られそう。そのためにも確実になるまで努力を続けていく必要あり。また、肩書きなど、相手の官職や地位に弱くなっているので交際面では要注意。立派な肩書きがある人は、探求してみる必要がありそう。肩書きに左右されず、その人の人格をチェックして。
勝負運 補欠合格はあるものの、大きな勝負は控えて。
健康運 たまには贅沢な食事で体力作りを。
金　運 将来に向けて、貯蓄プランを立てるとグッド。

ラッキーアイテム：**情報誌**
ラッキーカラー：**ダークレッド**

宇月田麿凛慧
marie utsukita

星座別
タロット占い

プロフィール　フォーチュンクリエーターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「ダ・マーヤー占星術」を中心にタロットカード、西洋占星術、四柱推名などオールマイティな占いを使う。極真世界王者の八巻建弐（現ホリプロ所属、俳優）のプロデュースも手掛けた。現在、雑誌・映像などで活躍中。
URL http://www.happiness-f.com/

7/23 Fri.
〜
8/11 Wed.

獅子座 7/24〜8/23
全体運 目上の女性や母親の反対を、いかに上手にクリアしていくかによって、吉凶運気が分かれるとき。最初にプランニングしていたことやビジョンが、徐々に崩れては行くけれど、自然の流れに沿っていくことで、最終的には結果オーライになりそう。恋愛では、あなたの中のマザコン意識が、揺さぶられるような女性との縁あり。
勝負運 パワー不足を実感。ウエイトトレーニングを。
健康運 健康状態はグッド。トレーニングをしっかり。
金　運 不鮮明なお金の流通があり。要チェック。

ラッキーアイテム：**スポーツ観戦**
ラッキーカラー：**オレンジ**

水瓶座 1/21〜2/19
全体運 敗者復活戦あり。試合でも、恋愛でも、一度くじけたり、負けたりしても再度チャンスが巡ってくる可能性がありそう。だからといって、最初にベストを尽くさなかったら、あなた自身が後悔するハメに。二度目は自力で道を切り拓こうとしないで、協力者に募ったり、相談したりして、最初と違う方法をしてみることがポイント。
勝負運 決着の付かなかったことに決着が。
健康運 気のゆるみからのケガに注意して。
金　運 見捨てられないように、浪費癖を治して。

ラッキーアイテム：**ポスター**
ラッキーカラー：**モスグリーン**

乙女座 8/24〜9/23
全体運 パワーアップの期待。記録が更新したり、体力維持ができたりと、嬉しい悲鳴。結果が出ることによって、自信が湧いてくるので、試合に積極的に出場したくなったり、恋人が欲しくなったり、進展を望んだりと、全てにおいて欲が出てきそう。現実的な結果はまだ期待が薄いので、実力を確実なものにしてから結果を求めて。
勝負運 確実な実力が身に付くまで、ちょっと待った。
健康運 風邪などの病気が潜伏してる可能性があり。
金　運 不安材料が解消されてくるとき。

ラッキーアイテム：**書店**
ラッキーカラー：**レッド**

山羊座 12/23〜1/20
全体運 滞っていたことが動き出すとき。ストップしていた企画が動き出したり、完治が遅れていた病気やケガが良くなったり、現実に一筋の光が射したら、どんどん動き出しそう、乗り遅れないように。同時にムダな動きや経費が出てきそうなので、再検討をしていく必要もあり。恋愛でもアプローチのときなので、ターゲットを定めて。
勝負運 戦績がすぐれなかった人はチャンスのとき。
健康運 体調維持できるので、ガンバって活動して。
金　運 金銭苦の人は母親や目上の女性を頼りに。

ラッキーアイテム：**プール**
ラッキーカラー：**ブラウン**

射手座 11/23〜12/22
全体運 夏真っ盛り。周囲の人がバカンスで楽しんでいるこんなときほど、ライバルを追い抜くチャンス。タイトルや目標に向けて頑張ろう。すぐに結果が出るわけではないけれども、努力はきっと報われるハズ！　恋愛は夏の新たな出会いより、身近にラブを感じる人がいそう。要チェック。すでに恋人のいる人は関係をキープできるとき。
勝負運 目標を立てることで、先が見えてくる様子。
健康運 栄養あるものを食べて、スタミナアップ。
金　運 滞りなく流れていくので不安はなくなりそう。

ラッキーアイテム：**メモ帳**
ラッキーカラー：**オレンジ**

蠍座 10/24〜11/22
全体運 真夏エネルギーを吸収してパワーアップ！　起きてくる出来事が、あなたにとって都合の良いように進行していきそう。余計な計算をすると、誤算になったりする可能性があるので、自然の流れに身を任せて正解。良き協力者も身近にいそう。恋愛では色気より、サッパリ系の異性に魅力を感じるとき。ペアは父親が協力的に。
勝負運 目標を明確にすることで、踏み出せるとき。
健康運 パワフルだけど、頭痛を起こしやすいとき。
金　運 程良い収入と、程良い暮らしができそう。

ラッキーアイテム：**シルバーアクセサリー**
ラッキーカラー：**シルバー**

天秤座 9/24〜10/23
全体運 真夏の太陽を浴びて、活動的に行動していこう。目上の女性の引き立てがある予感。あなたをバックアップしてくれたり、旅行では貸別荘を提供してくれたり、なにかと面倒をみてくれそう。但し、お礼や義理人情を欠くような行動をすると、機嫌を損なってしまいそう。世話になった人の恩義は、老若男女問わずにキチンとしよう。
勝負運 相手の戦績や肩書きで負け気分に陥りそう。
健康運 完治した病気が、ぶり返す可能性あり。
金　運 子供じみた遊びやエッチで浪費しそう。

ラッキーアイテム：**携帯電話**
ラッキーカラー：**ネイビーブルー**

「SRS・DX」も早くも創刊3号目。
多い。どうやら、ここ2〜3年で格闘技
わない。その、コンビニや本屋さんまで
テレビは「遠心力」として格闘技を広

サダハルンバ編集長の

一撃コラム

連載 第3回

番組「ＳＲＳ」と雑誌「ＳＲＳ・ＤＸ」は、どこが違うのだろうか？

「ＳＲＳ・ＤＸ」も早くも創刊3号目。お陰様で出足も好調で、1号目は創刊号という勢いに乗り、2号目の『プライド6』速報号は、小川効果もあってほぼ完売状態となった。買っていただいたファンの方には、この場を借りて御礼申し上げます。

さて、3号目の時期になると、読者のハガキも創刊1号、2号目とたまってくる。もちろん、こうしたハガキはしっかりとデーターとして集計し、今後の編集方針の参考にしていくつもりだ。

また、私は出社すると、必ずその日に来たハガキ一枚一枚に目を通すことを日課としており、どんな人が、どんな反応をしているか考えるようにしている。それは、私にとって一番楽しい時間でもある。

こうした読者ハガキに目を通すことは、3年前に辞めた格通編集長時代からの習慣。しかし、「ＳＲＳ・ＤＸ」になって、あらためて驚くのは、その頃のファンが全くいないことである。

雑誌にハガキを出してプレゼントをもらおうとしたり、意見してくれるファンは、だいたい常連のように参加している人が多い。そのため、毎日ハガキに目を通していれば、何人かの名前は自然と覚えてしまう。しかし、「ＳＲＳ・ＤＸ」になってから気づくのは、見る名前がほとんど初めてだということだ。

しかも、年齢も若いし、女性ファンが多い。どうやら、ここ2～3年で格闘技ファンになった人がかなり多いようだ。

私が格通時代に見ていた名前は一体、どこへ行ってしまったのだろうか。おそらく、ほとんどの人が雑誌というメディアに見切りをつけたり、格闘技自体を卒業してしまったのではないだろうか。

正直、この現象はヤバイ。格闘技ファンの資質は継続的にドラマを楽しむもの。私が言う「四角いジャングル」の世界は、そういう連続ドラマを楽しむことを指している。

ところが、ファンが入れ替わってしまうと、それが一からの作業となる。「ＳＲＳ・ＤＸ」の役割は、そういった新しいファンをいかに格闘技の世界にとどめておくことができるか。そこにかかっているのである。

今の格闘技ファンは、ほとんど最近Ｋ―1などをテレビで見てファンになった人である。テレビは大多数の無関心層を取り込むのに、一番優れたメディア。そこが、雑誌との違いだ。

つまり、テレビというのは、基本的に受け身のメディアである。スウィッチを押せば、無料で見られるし、常に受身の状態でなんとなくながめていれば頭に入ってくる。

ところが、雑誌は能動的なファンが支えているジャンルである。ファンはコンビニや本屋さんまで出向き、お金を払って楽しむ気持ちにならなければ雑誌は買わない。その、コンビニや本屋さんまでわざわざ出向かせ、お金を出させるという行為をする気持ちにさせることが必要なのだ。

テレビで格闘技を好きになった「受け身のファン」を、いかに「攻めのファン」にさせるか。ここが、テレビと雑誌の一番の違いなのである。

だから、テレビの「ＳＲＳ」では、いかに一般層に格闘技を見てもらうか、そして、たまたま「ＳＲＳ」を見たファンにチャンネルを替えさせないかを毎週会議で議論し、雑誌ではテレビで格闘技のファンになった一般層をいかにマニアにしていくか、それを延々と議論している。そこが前号で言っていた、テレビと雑誌のメディア・ミックスと言えるのだ。

テレビではよく、バラエティ要素を入れた番組作りに批判が出たりする。これは、もちろんマニアからの批判だ。しかし、テレビは一般層を取り込もうとしているため、初心者にできるだけ分かりやすく、入りやすい世界にしなければならない。Ｋ―1の成功は、そうした一般層をターゲットにした、ＳＲＳの戦略があったからだ。

そして雑誌は、テレビから入ってきた一般層のファンをいかに「格闘技ファン」にしていくかが勝負。特に一般層や女性ファンは出入りが激しいので、雑誌で卒業しないようにする作業が必要になってくるのである。

もとを正せば、私もテレビでプロレスを見たり、漫画で格闘技が好きになったファンの一人である。しかし、このジャンルは活字でも凄玉がたくさんいて、村松友視氏や、井上義啓氏、ターザン山本氏らの影響で、さらに濃いファンになっていった。

テレビは「遠心力」として格闘技を広め、雑誌は「求心力」として格闘技ファンを濃くする。そういうメディア・ミックスの中で、格闘技ファンとして、ずっとこの世界にとどまってしまったのだ。

テレビ番組の「ＳＲＳ」も、雑誌の「ＳＲＳ・ＤＸ」も、そういう役割をこなせるようなメディア・ミックスを目指していきたい。ハッキリ言って、テレビ番組の「ＳＲＳ」は、毎週関東地域だけで100万人の一般層が見ている。その内の10人に1人をコアの格闘技ファンとして、ずっと卒業しないようにする。それが、雑誌の目標である。

もし、その10万人が空の状態だとどうなるか。それは、多くの新興スポーツが辿ってきた誤ちのように、ブームが過ぎればいっぺんに人がいなくなるという現象が必ず起こることだ。テレビでこれだけ格闘技が盛んだからこそ、「求心力」の活字は生きてくるのである。

発掘!! お宝格闘技漫画

第3回 「熱血の柔道王」〈第3話／「ねこの西郷」〉
（原作／梶原一騎　画／茨木啓一）

▶発掘＆文／吉田豪（冷血の古本王）

©光文社（『少年』昭和30年7月号付録）

「我々『SRS・DX』は梶原一騎の『四角いジャングル』を目指します！」

「今こそメディア・ミックス！」本誌の『一撃コラム』で、サダハルンバ編集長はこうブチ上げている。

それにはボクも非常に同感なのだが、読者の方々は肝心の『四角いジャングル』をご存知なのだろうか？

ズバリ言っておそらくご存知ないと思うので簡単に説明すると、赤星潮なるキックボクサーを主人公とした、この作品。

メディア・ミックスを得意とした梶原先生らしく、現実のキック界に赤星潮を誕生させるが、それがパッとしなかったためか作品から赤星の姿が消える頃、怒濤のメディア・ミックスに突入していくわけなのである。

つまり、アントニオ猪木＆過激な仕掛人・新間寿という伝説の黄金コンビや藤原敏男＆黒崎健時先生の新格闘術・炎の師弟、さらにはゴッドハンド・マス大山らを中心に据えて、現実世界のマット界と漫画とを限りなくシンクロさせるわけなのだ。

こうしてプロレス雑誌が月刊だった時代に少年漫画誌上で現実のマット界の動きを、しかも本職のプロレス記者もあっさり騙されるほどのハッタリも巧みに織り混ぜながら毎週追い続け、猪木対ウィリー・ウィリアムスという新日本プロレスと極真カラテのドリームマッチを煽り続けるのだから、もうたまらない。

さらには同名の格闘技ドキュメント映画まで同時に公開するメディア・ミックスぶりには梶原一騎先生の偉大さを再認識する次第であり、読者の皆様にもぜひとも本作を読んでいただきたいものなのである（ちなみに講談社漫画文庫で復刻済）。

そのためには本来ならここで肝心の『四角いジャングル』を再録するか、もしくは『最強・最後の四角いジャングル』（仮題）を真樹先生＆中城健先生コンビに描いていただくほうがいいんじゃないかとも思うんだが、そこは無視して話を進めるとしよう。

とりあえず、デビュー2年目の作品ながら嘉納治五郎などの講道館の大物たちを自由に使ったりで梶原メディア・ミックスの原点を感じさせる『熱血の柔道王』、第3回である。

今回は柔術家・好地円太郎との決戦を前にした講道館の若手・西郷四郎を描く比較的刺激の少ないエピソードなんだが、空手対柔道の異種格闘技戦が出てくるのでノー問題だ！

ねこの西郷

ト界の動きを

しかも本職のプロレ

一

技戦が出てくるのでノー問題だ!

ありがとう やっ

あのネコのように……

またつれてきたな

ニャーン

わかった! わかったよ

だれがすてるもかの

?

うっふっふ ありがとう わかったよ

えいっ

うっ!

またしっぱいかっ!

試合まであと三日か……

おい西郷! そろそろねようじゃないか

うん

えいっ

とうっ

いたいっ

えいっ!

おい西郷! いいかげんにしろ

とてもねてはいられない

えいっ!

西郷も試合が気になるんだな

神よ、なにとぞ西郷をかたしたまえ

うへっつめたいっ

はっはっはっくしょん

はっはっはっくしょん! うへっさむい

おやっ横山のやつどこへいったのかな……

発掘!! お宝格闘技漫画

あっ
なにとぞ……
ありがとう 横山くん
ありがとう……やるぞ 講道館柔道のためにも……
かならずやってみせる
つぎの朝から……
えいっ
いますこしでたてるんだが……あっ
こぞう 嘉納はいるかっ
あっ 秋月だ……
やくそくどおり試合にきたぞ
こぞう 嘉納はるすか
ここにいるぞっ
なにっ!
講道館では試合はやるが きみとは試合はできない
ふっふっふ
なぜだ!
ならずもの用心棒などとは試合はやれん
先生!
かえってもらおう
ぼくにやらせてください
先生!
いかん! おまえにはたいせつな試合がひかえている
先生! やらせてください
くどいぞ 西郷!
とうっ
あったたたっ
おお やったな 西郷 でかしたぞ
はいやっとたてました!
うむ いまの呼吸をわすれるなよ
はいっ
先生 たいへんです!
秋月があばれています
なにっ
きえっ

ど〜でしたか、お客さん！西郷四郎が猫から受け身の極意を学ぶという、あからさまに『いなかっぺ大将』のニャンコ先生から大ちゃんが教わったキャット空中三回転を先取りした『ねこの西郷』の巻は。まあ、後の梶原作品『柔道讃歌』や『柔道一直線』の原点でもあるわけなんだろうが、個人的には柔道着姿で布団に入る西郷の「いつなんどき、誰の挑戦でも受ける」猪木イズムと、ついでに骨法イズムも感じさせる常在戦場ぶりや、猫に柔道の何たるかを教わるだけあって自分のために水を浴びる横山君を見て陰ながら土下座する礼儀正しさを味わえただけで、もう満足。

そして第1回で意味ありげに現れたかと思えば第2回ではヤクザの用心棒として登場し、講道館の横山を肉眼では見えない空気蹴りで倒した秋月十介も最高であった。

「かならず講道館のかんばんをもらいにいく」との言葉通りに再登場して道場破りに挑んだ秋月は、講道館の始祖・嘉納治五郎との勝負をスタートさせた瞬間、なぜか衣装が柔道着になったり、終わった瞬間元に戻ったりというハイスパートな着替え術を披露してみせるのだ。凄え！「相手がワルツできたらワルツ、ジルバできたらジルバで返す」、元AWA王者ニック・ボックウィンクルのごとく相手が柔道できたら柔道着で立ち向かう秋月の男気にボクは惚れたね、心から。空手の鬼、最高だ！

次号に続く!!

●協力／真樹プロダクション

NEXT ISSUE

次号予告

SRS DX

Special Ring Side

スペシャル・リング・サイド

毎月第2、第4木曜日発売!
定価680円(税込)

お陰様でプロレスファンにも、格闘技ファンにも大好評

特集

次回は速報がない分、ゆっくり読ませます。

どうなる!?
極真世界大会の行方

どうなる!?
小川vs山本戦の行方

どうなる!?
K-1 JAPANの行方

どうなる!?
アルティメット大会

押忍!

もちろん
掣圏道も
やります

次号の発売日は、
都合により1日早い
8月11日(水)です。

読者コーナー お便り大募集中

読者コーナーへのお便りたくさんお送りいただき、ありがとうございます。前号で3号からガンガンいきます！なんて書いたけど、気が付いたらページがありませんでした。ゴメンナサイ。次号こそはホントに、絶対に、きっと、たぶん「読者コーナー」を始めます。お楽しみに!!

皆さんの格闘技に関する主張や意見を闘わすコーナー『格闘技　朝まで討論会』、イラスト、似顔絵・四コマ・ニコマ・マンガの投稿コーナー『格闘・イラスト・コロシアム』、さらに『SRSなんでもランキング』、『あれが知りたい!これが知りたい!』、『私のお宝フォト自慢』それぞれのコーナーでお便り大大大募集中デス。
採用させていただいた方には、雑誌内で掲載した写真をプリントしてプレゼントします。ご希望のお写真を明記して下さい。

あて先
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
『SRS・DX』編集部○○○○コーナーまで

格闘技・裏事情

編集部トーク

Ａ　今回のターザンとの座談会で、あらためてわかったことだけど、今の格闘技ファンというのは、①一般世間に広く浸透しているＫ―１ファンと、②いわゆるプロレスファン、③真剣勝負のみにこだわる少数の格闘技ファンに分かれるね。

Ｂ　特にこの3年間は、それがハッキリ分かれた。だから、雑誌メディアというのは、非常にターゲットを絞るのが難しくなっているんだよ。

Ｃ　Ｋ―１ファンとプロレスファン、そして格闘技ファンは求めていることが全然違いますからね。

Ｂ　そう。だから、それをくっつける作業をこれから「ＳＲＳ・ＤＸ」がやらなければならないこと。たとえば、フジテレビの「ＳＲＳ」は、Ｋ―１を一般世間にとどろかせるのが非常にうまい。また、Ｋ―１戦士のキャラクターがまた、それにピッタリ来るほどかっこいい。ターザン風に言えば、リッチな感じがする。

Ｃ　逆にプロレスファンの中では、平成ファンと昭和ファンに分かれると言いますね。その昭和ファンを引きつけているのが『プライド』でしょう。それと、いわゆる格闘技専門誌というのは、完全にターゲットを少数の格闘技ファンに絞ってますよね。

Ａ　それを同じ土俵でどう扱うか。それが凄く難しくなっているんだよ。本当はもっと過激な誌面にしてもいいんだけど、どうしても三つのターゲットを狙っているから、平均的な誌面作りになってしまう。今号なんて、ある意味ではイレギュラーを起こしているからね。なんて言ったって、ターザンとＫ―１ガールズが一緒に載っているんだから（笑）。

Ｃ　そういうイレギュラーは全部、ターザンにまかせましょう（笑）。そのイレギュラーな部分が読者にどう受けとられるかも楽しみです。

Ｂ　いや、でもＫ―１の中でも、石井館長は圧倒的にプロレスファンにも関心がもたれているでしょう。だから、そろそろ石井館長にまた何かを仕掛けてもらいたいんだけど。

Ｃ　ところで、グランプリの予選は、残すところあと8・22有明だけになったんですけど、その有明でもし佐竹とグッドリッジの試合が決まれば、久しぶりに緊張感のある他流試合が見られそうですね。

Ａ　うん、そのカードはいい。佐竹と武蔵・中迫の違いは、そういう試合で光るかどうかというところにある。やっぱり、ただ強くなるというより、観客を意識して、どうしても看板を背負って闘っているように見える佐竹は、異種格闘技戦となると俄然光るからね。佐竹VSキモ、佐竹VS海パン男、佐竹VS安生と、佐竹がらみでこういうカードは話題になるけど、武蔵・中迫だと違和感がある。そこを2人の若手はどう考えるかだね。そういうカードでワクワクさせられる存在になることが、観客動員につながると思うし。

Ｂ　あとは石井館長が「佐竹VS武蔵」「佐竹VS中迫」の世代交代マッチをいつやるか。それは楽しみだね。それと中国武術の散打が参加してくるけど、どれだけやるか。散打って、本当のところはどうなの?

Ｃ　僕は散打がどれだけ強いのか楽しみなんですけど、どうせなら蟷螂拳や八極拳の選手に出てもらいたいですね。中国武術ファンもそうですけど、その方がプロレスファンなんかも興味をもつでしょう。蟷螂拳VSカラテ、八極拳VSキックボクサーという方が幻想が沸くし、初期のＫ―１を思い起こさせますからね。そういう意味では、これから中国は楽しみです。Ｋ―１のブルース・リーの登場を見たいですね。

Ｂ　そうだね。今年のグランプリなんだけど、①アーツ、②アンディ、③グレコ、④ベルナルド、⑤ホースト、⑥佐竹、⑦セフォー、⑧バイラミ、⑨ヴァン・ダム、⑩名古屋トーナメント1位、⑪名古屋トーナメント2位、⑫ジャパン・グランプリ1位は決定。残りの4名をどうやって選ぶかに注目したい。今年はフィリォとグラウベが世界大会に専念するため、残っているところで有名なのは、バンナとルーファス、モーリスあたりか。

Ａ　そういえば、8月のラスベガス大会は正式に来年の5月くらいに延期になったので、北米・南米の選手は推薦になるだろう。でも、去年活躍したシュースターの怪我がまだ治っていないのは残念だ。

Ｂ　あと、石井館長が考えているのは、ロシアと中国。また、何とか、バンナの復帰が間に合うといいのだが…。

Ｃ　いずれにせよ、Ｋ―１は本当に国際色豊かになってきましたが、日本人の活躍を僕は期待したいです。

▲ゲーリー・グッドリッジとの対戦がもち上がった佐竹

★次号予告★

SRS DX 第4号

次号の発売日は**8月11日**（水）です。

（8月12日から取次各店が夏期休暇に入るため、発売日が1日早い水曜日になります）

どうなる!? 極真空手世界大会の行方

発行元★株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445
販売元★株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888

発行人・柳沢忠之　編集人・谷川貞治
●STAFF&WRITER
ソプラノ林、ユカポン、井上メガヒット、松林上等兵、橋本宗洋、“Show”大谷泰顕、宮崎正博、押切伸一、ターザン山本、島田裕二、中村カタブツ君、吉田豪、宇月田麿凛慧、上田康彦、ユキポン
●DESIGNER
梅村あゆみ、小幡浩史、早乙女事務所、IDS、suplex、水町由美子、D－CUBE

SRS DX 特集 第3弾

佐山聡の掣圏道とは何か？

「修斗」と別れ、UFOもやめてやりたかった新格闘技の全貌を解く！

前号でもお伝えしたように、佐山聡はUFOを辞めたあと、新しい格闘技として「掣圏道」を始めた。思えば、佐山は現在ブレイク中の総合格闘技「修斗」（シューティング）の創始者である。あの修斗を作った佐山が、次に何を生み出そうとしているのか？ その全貌が本誌によって、遂に明らかとなった。これは未来の格闘技界を占う「先取り企画」である。

構成◎谷川貞治
写真◎中嶋実

What is SEIKENDOH?

掣圏道は21世紀型の市街地型実戦武道だ！

UWFスタイル、修斗（シューティング）と、その技術と理論体系を作ってきた天才格闘家・佐山聡が、次に編み出した新しい格闘技「掣圏道」とは何か？　まずは、その格闘技理論から追求してみる。

創始者・佐山聡インタビュー

——佐山さん、前号では佐山さんの作った新しい格闘技「掣圏道」のさわりの部分をお聞きしました。本当によく考えているなぁと僕なりに閃くものがありましたので、今号ではさらに詳しく特集していきたいと思います。

佐山　ハイ、ありがとうございます。よろしくお願いしまーす。

——まず、この「掣圏道」という名前は佐山さんが考えたんですか。

佐山　ハイ、僕が考えましたよ。

——いやぁ、ネーミングのセンスがありますねぇ。前は闘いを修めるということで「修斗」。これは、まさに「打・投・極」という格闘技の技術を追求していくと、打撃から始まって関節技で終わるという意味でピッタリくるネーミングですし、今回の「掣圏道」も凄く奥が深い感じがしますね。

佐山　結局、格闘技の理論を深く追求していったということで、自然とそういう名前が出てきたんですね。理論的に把握していないと、やっぱり浮かんできませんよ。僕は格闘技をやってて、やっぱり一番大切なのは「間合い」だと確信しましたし、相手の上になって「制圧」することが大切だということが分かってきましたから。間合いは「圏」の問題ですね。そして制圧は「掣」。制の下に手がついていますが、これは手刀とか、拳を打ち下ろす意味が含まれているんです。最初は「圏掣道」にしようかなと思っていたんですけど、「掣圏道」の方が語呂がいいですからね。

——うまいですねぇ（笑）。そんなのパッと閃くわけですか。

佐山　名前を考えたのは、UFOの時ですね。でも、背広を着たまま実戦に役立つ格闘技というのは、シューティングをやっていた10年前から考えていましたね。それに、僕はどうしても武道をやりたかったんですよ。

——うん、それも不思議な感じがしたんですよ。最初、佐山さんが武道をやると聞いた時、どうしたんだろう？　遂に佐山さんは悟りを開いたのかなと思ったりして（笑）。

佐山　やっぱり、押忍の精神というものを教えたかったんですね。シューティングでは、なかなか押忍の精神は教えられないじゃないですか。

——え！　なぜですか。

佐山　シューティングとか、キックボクシングとか、ボクシングというのは、スポーツの中で強くなっていくことを目的にしてますからね。まして、プロだからただ強くなればいい世界なんです。これは極端な言い方ですけど、礼儀とか人間性より強くなることが大切なんですよ。でも、押忍の世界というのは、逆に強くなることよりも、規律とか人間性をまず大切にしなければならない。武道というのは、もともと殺

SRS-DX特集　佐山聡の掣圏道とは何か？

第3弾

修斗はかわいい子供という感じ もう商標も渡しちゃいました

し合いの中から生まれた文化じゃないですか。僕はそういうところへ行きたかったんですね。

——要するにアマチュア・ベースで「掣圏道」はやっていきたい、と。佐山さんは興行の世界でかなり苦労しましたからね。

佐山　多少は、そういう気持ちはあるでしょうね。やっぱり好きな格闘技を道場でしっかり子供たちに教えていく。「掣圏道」の一番の目的はそこにあります。

——ところで、これは佐山さんにぜひ聞きたかったんですが、佐山さんは今の修斗の盛り上がりをどう見ているんですか。

佐山　いいじゃあないですか。でも、僕は修斗のことはもう全然考えていないし、頭に入れないようにしているんですよ。

——というと？

佐山　いや、もちろん今も選手たちからは連絡をもらっていますよ。「佐山先生、今、こうなってるんです」とか言ってくる。でも、特にモメ事は聞きたくないですね。僕は弟子とか、選手には本当に何もないんですよ。単純にがんばれよ、って思うだけです。逆に、僕は修斗のために家までとられた人間ですからね。そのくらい犠牲にして作ったものだから、仲良くみんなで守ってくれよという気持ちだけですよ。モメないでよって。

——佐山さん、本当にいろいろありましたからね。

佐山　いや、だからそういう事も考えたくないですね。特に人間関係は疲れますから。俺にそんな話するなって思いますもん。俺は俺で理想に向かっていくというだけですからね。だから、シューティングとか、修斗の商標に関しても、この間渡たしちゃったし。

——え？　それは佐山さんが持っていたんですか。

佐山　持っていたというか、僕があの競技を作ったというのは周知の事実ですからね。僕のサインがいるんじゃないですか。だから、僕は「モメないようにね」と言って、サインしてあげちゃいましたけど。

——そのへんの割り切り方が、また佐山さんらしいというか（笑）。

佐山　今、僕はまた新しい「掣圏道」というものを作ったわけですけど、そういうきっかけを作ってくれたということで逆に良かったんじゃないですかね。何度も言うように、僕は弟子に何も思っていないですよ。それに、石山会長は凄くいい人間だったし。これは、誤解しないでくださいね。今でもゴルフを一緒にやるんですから。

——立ち入ったことを聞いちゃってすみませんでした。で、「掣圏道」の話に戻るんですが、僕は総合格闘技として「修斗」ほど完成されたものはないと思ったんですよ。だから、あれ以上のものって格闘技では出てこないと思っていたんです。

佐山　修斗はスポーツとして最高のものじゃないですか。それは自信ありますよ。でも、修斗でも実戦では役に立たないことってたくさんあるんです。だから、修斗の中から実戦で役に立たないものをすべて省いたものが「掣圏道」と考えてもらえれば分かりやすいんじゃないですか。

——修斗の中から実戦で役に立たないものを省いたのが、「掣圏道」？

佐山　そうです、そうです。逆に省いたことで強くなることっていっぱいあるんですよ。これは、修斗でも強くなるはずですよ。

——興味深いですねぇ。

佐山　考えてみてください。喧嘩でグラウンドになって関節技をとり合いますか。抑え込むだけで十分だし、もみ

掣圏道では、敬礼をしながら「押忍」という武道なのだ

佐山理論をよく理解するためのキーワード

修斗（しゅうと）……佐山聡が創始した「打・投・極」すべての技術を取り入れて競い合う総合格闘技のこと。試合はギブアップ、KO、TKOで決するルールあるスポーツ。シューティングとも言う。

掣圏道（せいけんどう）……佐山聡が新しく創始した「市街地型実戦武道」。市街地を想定し、ボディガードにも役立つ護身術として作った格闘技。その技術は、対武器あるいは武器携帯も想定している。また、礼儀と規律を重んじ、自己の信義感を鍛錬することも目的としている。

掣（せい）……相手を組み伏せて体を自由に動かせないようにすること。掣圏道では、寝ている相手の腹にヒザを乗せ、パンチが打てる状態の「ニープレス」を最高の状態と考えている。

圏（けん）……間合いのこと。掣圏道の理論の基本として、あらゆる攻防は、この間合いを制することにあるとしている。

掣圏（せいけん）……打撃、組み技、寝技のすべての間合を制して、組み伏せることを意味する。

アルファ……物事の始まり。格闘技でいえば立ち技から闘いは始まる。したがって、アルファの練習では、立ち技におけるパンチ、キック、組み討ち（相撲）、投げを練習する。

オメガ……物事の終わり。格闘技でいえば、寝技での攻防。最後は寝技での打撃、関節技、絞め技で終わる。

アンリミテッド……掣圏道のプロ競技のこと。

SA……掣圏道アソシエーションの略。

SAボクシング……掣圏道のプロの格闘技の試合。ルールは別掲参照。

SAプロレス……掣圏道のプロレスの試合。ルールは普通のプロレスと同じ。

アブソリュート……ロシア語で「究極」という意味。アメリカのアルティメット大会と同じく、目突き、噛みつき、髪の毛ひっぱり、金的攻撃などの人道に反する攻撃以外は、何でも有りのバーリ・トゥードの試合。掣圏道では、このアブソリュートの試合もやる。

修斗の中で実戦に役立たないものを省いたのが「掣圏道」の特徴だ

合っているうちに止められるでしょう。まして、グレイシーのように下になってガードポジションをとってゆっくり極めようなんて状況はまずないですからね。自分がボディガードを雇ったとして、ガードポジションをとられたら、嫌になるでしょう（笑）。そんなことをしているうちに、他の仲間に踏みつけられちゃいますよ。

——なるほど、スポーツとして競い合うのなら寝技での攻防はいいという意味が分かってきました。

佐山　「掣圏道」は「市街地型実戦武道」というのがコンセプトなんですけど、実戦で役に立つ格闘技というのは、まず立ち技が強くなくちゃいけない。そして、グラウンドになった時に絶対に上にならなければいけない。その技術を磨くのが「掣圏道」なんです。もちろん、寝技ができるということは大切なことですけど、寝技というのは素人でも3ヵ月もやっていれば強くなりますからね。だから、寝技中心の格闘技にしちゃダメということです。「Be ABOVE！（上になれ！）」が、「掣圏道」の絶対の考え方なんです。

——凄い発想だなぁ。じゃあ、「掣圏道」には打倒グレイシーとか、打倒・修斗という発想はないんですね。

佐山　ない、ない。そういうスポーツでの競い合いの発想はないですね。逆に修斗の人も、グレイシーも「掣圏道」をやればもっと強くなるはずですよ。だから、もっと強くなるために「掣圏道」をやりなさい、と（笑）。

——だんだん「掣圏道」という武道のコンセプトが分かってきたんですが、実際にどんな技術があるんですか。

佐山　まず、現代風に道衣は背広型の新しいものを作りました。そして、それを着て立ち技から、相手を制圧するまでの技術を追求しています。立ち技では、もちろん、パンチ、キック、ヒジ、ヒザ、そして組み討ちから投げですね。特に大切なのは、パンチとタックルです。これをどう磨くか。パンチとタックルができれば実戦ではかなり強いですよ。

——パンチもボクシングのように組んだら反則というルールがあれば打ち合えますけど、クリンチしたらもう終わりですからね。組み技のある打撃って、また全然違う技術になりますよね。

佐山　だから難しいんです。それで、「掣圏道」にも最高の形があります。それが「ニープレス」です。

——「ニープレス」？

佐山　そうです。馬乗りじゃダメなんです。総合格闘技ではいわゆるマウントポジション（馬乗り）が最高の形だと言われていますが、これは1対1ならOKです。でも、相手が複数だったら、次の動作にいけないんですよ。自分が固定されていますからね。

——ああ、そういえば長州さんがサソリ固めをかけている時、前田日明さんが後ろから顔を蹴りましたからね。それで長州さんは顔面を腫らした。馬乗りのような状態では、タッグマッチでは通用しない、と。

実戦では馬乗りもガードも役立たない「極」よりも「掣」が大切になる

佐山　それ、面白い発想ですね（笑）。そうそう。だから、一番いい形というのは、相手を下にして、お腹に片ヒザを乗せる状態。これが一番いいんです。これで、相手は動けなくなるし、上からパンチが打てるし、次の動作にも移れる。関節をとらなくても十分勝てるんです。これが「ニープレス」、または「ニー・オン・ザ・ベリー」（腹の上にヒザを乗せる）の状態です。修斗の極よりも、実戦では「掣」が大切なんです。

——いやぁ、本当に佐山さんは天才だ！

佐山　とんでもないでーす。だから、競技に関しては、「掣圏道」のコンセプトにそったルールで技術を磨くことにしました。立ち技はグローブをつけて、何んでも有り。寝技でも、立ち技でも膠着したらブレイクとなります。関節技や絞め技はありません。それで、アマチュアは防具をつけてポイント制、プロの「アンリミテッド」に関してはKOか、TKO、判定で勝負が決まります。これは、何度か実験してみたんですけど、寝技がない分だけ素人が見ても面白いですよ。

——素人が見ても面白いというのは、プロの可能性も楽しみですね。

佐山　いや、本当に総合格闘技の次は、「掣圏道」の時代が来るかもしれませんよ。僕は先見の明がありますから（笑）。

——確かに……。修斗も最初はパッとしなかったんですけど、今や大ブレイクしていますし、グレイシーが出てきた時も佐山さんは選手の反対を押しき

すでに旭川市内で仮設・虎の穴を作った佐山。ここでロシア人たちは毎日ハードトレーニングを積んでいる

上になってパンチを出すロシア選手。掣圏道マスターに必死だ

佐山もここで汗を流す

●掣圏道ルール●（佐山聡・3D製作）

アマチュア

3分一本勝負。一本は①寝技で2秒以上片ヒザがついて制した場合。②相手が打撃でダメージを負って倒れた場合。③トータルポイントが10ポイントになった場合。

〈掣圏道組み手用防具〉
強化プラスチック製防護マスク
インナー(服の内側)ボディープロテクター
オープンフィンガーナックルプロテクター
ファウルカップ
シンガードシューズ

打　撃

（4ポイント）
※金的・関節蹴りは反則

●顔面、ボディへのパンチ
●頭部、ボディへのキック
●顔面、ボディへのヒザ蹴り
●顔面へのヒザ打ち

投　げ

効果
タックルなど（1ポイント）

有効
足払いなど（2ポイント）

技有り
大きな投げ（4ポイント）

寝　技

立掣
ニープレス（10ポイント）

掣圧
抑え込み（2ポイント）

掣止
ガードにさせた場合（1ポイント）

プ　ロ

1R3分、1分休憩で3R～5R闘う。KO、TKO、ギブアップ、判定で決まる。階級制

有効技

●パンチ
●キック
●ヒザ
●グラウンドでの有効打
●グラウンドでの攻撃
●下からの攻撃
●瞬間的な関節技
●タックル
●投げ技

ブレイク

●グラウンドでのクリンチはスタンドから再開
●スタンド対グラウンドの膠着状態

反　則

●ヒジ打ち
●グラウンド相手に対する蹴り

って寝技の顔面パンチを取り入れましたからね。もし、取り入れていなかったら、時代の流れに取り残されていたかもしれない。

佐山　だから、僕の予感は当たるんですって（笑）。

――ＵＷＦスタイル、修斗、そして「掣圏道」か、佐山さんの発想はいつも時代の最先端をいってるからなぁ。

佐山　北海道には「虎の穴」を作りますけど、東京の六本木にはアマチュアの道場を出しますから、一度見に来てくださーい。武道ですから、段位制もあるし、型もこれから考えまーす。あと武器に対する闘い方も教えますから、面白いですよ。

――今のところ生徒は？

佐山　一人だけです。あとロシア人（笑）。

――いいですねぇ（笑）。ロシア人は全員、「アンリミテッド」のＳＡボクシングをやらせるんですか。

佐山　そうですね。でも、プロレスとかＫ―１とか、何んでもやらせますよ。それに、「掣圏道」でも、総合格闘技との違いを見せるために「アブソリュート」の試合も組みますし。いずれにせよ、虎の穴で怪物をたくさん作りますよ。日本人でもやりたいヤツがいたらぜひ連絡くださーい。

――夢が広がりますねぇ。

佐山　でしょう（笑）。面白くなりますよ。応援してくださーい。押忍（敬礼）！

――あ、佐山さん、その敬礼の「押忍」もバッチリです。その敬礼は、すでに僕らの間では、はやっているんですよ。

佐山　どうぞ、どうぞ、はやらせてください。よろしくお願いしまーす。■

●Be ABOVE●
上になれが掣圏道の極意

掣圏道の基本テクニックを分析する

佐山聡のインタビューで、「掣圏道」がとにかく、①立ち技中心で、②相手の上になって制圧することが分かってきた。修斗の「極」よりも「掣」を大切にしているのが、「掣圏道」の基本テクニックだ。では、実際にどうやってやるのか、元修斗ウェルター級王者の渡部優一と佐山に模範テクニックを披露してもらった。

掣圏道のテクニックは、とにかく上になることを目的としている。立ち技の攻防のあと、相手の攻撃に合わせたり、①タイミングを見計って、②タックルに入る。③相手にしっかりと密着して、④サイドに回り、⑤テイクダウンさせる。⑥そのまま、相手の股の間にヒザを入れながら、⑦相手に体重を乗せ、⑧ニープレスの状態になって、上からパンチを打ち落とす

What is SEIKENDOH?

佐山聡の掣圏道とは何か？

①低いタックルをしてきた場合は、自分の懐に空間を作りながら下がり、②上からガブって押し潰す。そして、③ニープレスの状態に掣圧する

掣圏道はどんな打撃も有効である（試合でスネ蹴りは反則）

①相手にタックルされそうになったら、②左足を一歩引きながら、③自分の懐に空間を作る。そして、④高いタックルに対しては、相手のワキに両手を差すようにもぐり込み。相撲の四つの状態にして止める

誌上対決

掣圏道はどこまで凄いのか？

日本一の格闘技術評論家 山田英司編集長が勝負を挑む！

〈格闘マガジンK〉

蟷螂（とうろう）拳VS掣圏道

佐山はこの疑問にどう答える？

前ページの技術講座で、「掣圏道」のテクニックは「Be ABOVE－（上になれ－）」ということが分かってきた。では、それが本当に実戦ではどれだけ役に立つのか。格闘技の技術に関しては、日本一詳しい「やる側」評論家で、自らグローブ空手や中国拳法を実践する「格闘マガジンK」の山田英司編集長に、掣圏道を肌で体験してもらった。佐山に対して、カンフー衣を着て「蟷螂拳（とうろうけん）」というカマキリ拳法で挑んでいった

山田編集長！

実戦で起こりうる、あらゆる局面に対して佐山はどう対処していくのか。「佐山さん、こう来たらどうしますか？」という山田編集長の質問を、佐山はひとつずつ「掣圏道」のテクニックで答えていった。

1 斧刃脚（ふいんきゃく）まずは禁じ手となっているスネ蹴りが来たらどうする？

①蟷螂拳の構えから、

②山田編集長がスネ蹴り、佐山はすぐさまバックステップ。

③そして足を手で刈りながら体当りタックル。

④ニープレスで抑え込まれ、ムギュウ！

PROFILE

（やまだ・えいじ）昭和30年4月20日生まれ。元「フルコンタクト空手」の編集長で2年前に独立。現在は「やる側」の格闘技専門誌「格闘マガジンK」（青人社）の編集長として活躍。また自ら極真空手、中国拳法、キックボクシングを学び、新空手やムエタイに挑戦することもしばしばある。数年前、前田日明に女子便所に監禁されるという武勇伝を残して話題になるなど、実戦派編集長として有名な人である。

佐山聡の掣圏道とは何か？

3 連珠砲（れんしゅほう）
意外と難しいワンツーに対しては？

①ワンツーが飛んできたら、ワンの左ジャブでタックル。

②ツーの右ストレートをかわしながら密着。

③後ろに回って、

④内側から手で相手の足を刈って倒す。

⑤そして、やっぱりニープレス。「重いざんす！」

2 取眼隙陰腿（しゅがんりょういんたい）カマキリ
拳法の恐ろしい技、金的・目突き攻撃に対しては？

①螳螂拳の構えから、

②金的と目突きを狙う山田編集長！

③佐山は金的はヒザを内側に曲げてブロックし、目突きは手当で受けた。

④そして、そのまま勢いをのせて体当たり、

⑤足で相手の足を刈りながらあびせ倒す。

⑥ニープレスで、あれぇ～

4 際陰掌右靠（りょういんしょううこう）
佐山が一番悩んだのはこの技だ！

①いきなり不意を突いて下から金的打ち。

②佐山は反射神経で内受けで払い。

③そのままワキの下に手を入れて、

④相手の体当たりをこらえた。

⑤そして、相手の上体にもぐり込んで倒す。

⑥この状態からやっぱりニープレス

5 座山勢→貫耳拳（ざざんせい→かんじけん）片エリをつかみ、耳を打つ。これはよくあるパターンだが……。

①片エリをつかんで殴りかかろうとする相手には、

②ヒジを折り曲げるように振り下ろし頭突き。

③そのまま体当りして、外掛けで相手を倒す。

④やっぱり、このあとニープレスへ。

6 鎖喉（さこう）これもよくある後からのスリーパー。さあ、佐山どうする？

①後ろから首を絞められたら、

②手で振りほどくようにして、

③相手のサイドに回り、そのまま倒して、

④ニープレス。

7 掛脚（かけきゃく）いきなり蹴りの達人が大技を出してきた。

①ローキックに対しては、外側に払いのけるようにして、

②そのまま軸足を払う

①ハイキックに対しては、

②相手のサイドに入り、

③相手の体に手を差し入れてニープレス。

SRS-DX特集 第3弾

What is SEIKENDOH?

佐山聡の掣圏道とは何か？

掣圏道は伝統武術や中国拳法と同じ発想の実戦武道ざんす！

山田編集長の感想

「掣圏道」の正体わかった！

いやぁ、「掣圏道」は面白いざんす。この「掣圏道」のポイントは、二つあります。ひとつは「立ち技の復権」、もうひとつは、「伝統武術の復権」ということ、ざんす。

私は佐山さんのことよく分かるんですよ。佐山さんは最初、総合格闘技を作るときに技術から考えていった。それがシューティングの「打・投・極」ですね。そして、佐山さんはその「打・投・極」を磨くために、近代競技化と同じ流れでスポーツにしていった。つまり、スポーツにすることで、強さの測定基準をしっかり計ろうと考えたわけです。

でも、やっていくうちに佐山さんはハッと気がついたんでしょう。「シューティングは実戦では役に立たない!」と。というのは、スポーツ化を追求していくと、技術は深く狭く磨ぎすまされていくんです。ボクサーのパンチが、キックボクサーよりうまいのは、パンチだけを追求しているからなんですね。それは、総合格闘技も同じで、総合格闘技を追求していくと、必ず寝技中心の格闘技になってしまうんですよ。

そうなると、もう実戦的ではなくなる。実戦というのは、総合格闘技で考えるんじゃなく、局面で考えるものだからです。局面というのは、相手が複数だったり、武器を持っていたり、格闘技じゃない攻め方をしてくる局面がいっぱいあるということ。そうなると、寝技なんてやってるヒマはないんですよ。

で、佐山さんは考えたわけ。「俺の発想は180度間違ってたぞ」と。つまり、「打・投・極」を深く狭く追求する必要はなく、技術は広く浅くていいんだと気がついちゃたんですね。

実はそれは、そのまま伝統武術の発想なんですよ。そして、立ち技の復権にもつながるんです。私は前から言ってるんですけど、一対一で喧嘩したら、空手家やキックボクサーは強い柔術家に絶対に勝てない。でも、喧嘩って強いヤツ一人を倒すための決闘ってめったにないんですよ。やっぱり、相手は弱いかもしれないけど、一度に何人も相手にしなきゃいけない。そうなったら、柔術よりも空手やキックをやっていた方がよっぽど役に立つんですよ。佐山さんが立ち技にこだわるのは、そこなんです。護身術という局面で考えると、

立ち技をやっていた方がよっぽどいい。相手が弱くても何人を何時間で倒せるかが重要なんですから。

佐山さんは、そういう「局面」で考えることに気がついちゃたんですね。局面から考えて、護身で使える技は何かというところから始まった。そうして、寝技は有効じゃない、下になるのは有効じゃない、上になっても密着するのは有効じゃないと、どんどんいらないものを省いていった。それが「掣圏道」の正体なんです。

で、その発想というのは、ハッキリ言って古武術や中国拳法とソックリなんですよ。だから、「掣圏道」は私の得意な中国拳法と同じ。それをまた佐山さんは競技化するなんていうのは、やっぱり天才です。もう歴史的快挙と言っていい。「掣圏道」によって、伝統武術や中国拳法の時代が、これからは絶対に来るざんす！

これがロシアからやって来た怪物たちだ！

掣圏道のプロ 第1号選手名鑑

前号でもお伝えしたように、掣圏道のプロ「アンリミテッド」の選手は、ロシアとの太いパイプを持った佐山が、ロシアの格闘技で数々のタイトルを取った選手を多数招聘することに成功！　アブソリュート、キック、空手のロシア王者が大挙来日し、SAボクシング、SAプロレスの他、K-1、バーリ・トゥードなどの他団体にチャレンジしていく。しかも、このメンバー以外にも、さらに大物がやって来ると言うから、掣圏道からはますます目が離せない！

◀モルダリエフ・エディル

国籍　キルギス
生年月日　1962年5月2日
身長　170㌢　体重　70㌔
格闘技歴　ボクシング10年、サンボ
得意技　右ストレート
戦歴等　97年キルギスタンボクシング選手権優勝。旧ソ連時代にボクシング・スポーツ・マスターの称号を受ける

◀ニキショフ・スタニスラフ

国籍　ロシア
生年月日　1966年11月18日
身長　183㌢　体重　81㌔
格闘技歴　キックボクシング22年
得意技　右フック、左ストレート
戦歴等　97年ロシアキックボクシング選手権優勝、98年同選手権準優勝、旧ソ連時代にアブソリュート・スポーツ・マスターの称号を受ける

◀タダシェフ・エルヌル

国籍　ロシア
生年月日　1977年1月26日
身長　178㌢　体重　74㌔
格闘技歴　ボクシング5年、キックボクシング2年、空手3年
得意技　左ストレート
戦歴等　96年及び97年モスクワボクシング選手権二連覇、98年ヨーロッパボクシング選手権準優勝

◀シバンコフ・デニス

国籍　ロシア
生年月日　1964年4月26日
身長　186㌢　体重　85㌔
格闘技歴　空手9年、アブソリュート
得意技　右ストレート
戦歴等　97年ロシアカップ優勝、98年イスラエルレスリング世界大会優勝、98年ロシアウーシュー選手権優勝

◀サリエフ・ソベトベク

国籍　キルギス
生年月日　1977年7月6日
身長　185㌢　体重　74㌔
格闘技歴　ボクシング7年
得意技　左ストレート
戦歴等　94年キルギスタンボクシング選手権優勝、96年97年98年アジアアブソリュート大会3位（各年とも）

◀プホフ・ミハイル

国籍　ロシア
生年月日　1975年5月5日
身長　172㌢　体重　81㌔
格闘技歴　キックボクシング10年
得意技　左ストレート
戦歴等　94年アジアキックボクシング選手権優勝、97年モスクワインターナショナルキックボクシングトーナメント3位

◀サビン・ニコライ

国籍　ロシア
生年月日　1975年1月14日
身長　180㌢　体重　80㌔
格闘技歴　キックボクシング6年、空手5年、アブソリュート3年
得意技　飛びヒザ蹴りから右ストレート
戦歴等　96年K1選手権サントペテルブルグ優勝（このK1は日本のK-1とはまったく別の大会）

◀スリン・アルトゥル

国籍　ロシア
生年月日　1973年3月13日
身長　182㌢　体重　81㌔
格闘技歴　ボクシング9年、アブソリュート8年
得意技　パンチ
戦歴等　96年フィンランドオープンキック優勝、97年モスクワアマチュアキック優勝

◀キルサノフ・アンドレイ

国籍　ロシア
生年月日　1974年3月4日
身長　184㌢　体重　95㌔
格闘技歴　キックボクシング6年、ウエイトリフティング4年
得意技　左回し蹴り
戦歴等　98年ヨーロッパキックボクシング選手権優勝

◀モナスティルロフ・アレクサンドル

国籍　ロシア　生年月日　1965年8月24日
身長　194㌢　体重　100㌔
格闘技歴　ボクシング12年、キック8年、アブソリュート2年
得意技　パンチ
戦歴等　94年パンアメリカンキックボクシング選手権優勝、97年アブソリュート大会3位、98年ロシアキックボクシング選手権優勝、旧ソ連時代にインターナショナル・キックボクシング・スポーツ・マスターの称号を受ける（国際的な活躍をした選手のみにインターナショナルの称号がつく）

◀シドロフ・オレグ

国籍　ロシア
生年月日　1974年11月19日
身長　184㌢　体重　88㌔
格闘技歴　ボクシング3年、キックボクシング3年、アブソリュート1年
得意技　キック、ヒザ蹴り
戦歴等　97年バルト海沿岸国際キックボクシングトーナメント優勝

◀トカレフ・ワジム

国籍　ロシア
生年月日　1972年2月29日
身長　178㌢　体重　84㌔
闘技歴　キックボクシング8年、アブソリュート
得意技　ローキック、左フック
戦歴等　98年ロシアキックボクシング選手権準優勝

◀ナグニビダ・ルスラン

国籍　ロシア
生年月日　71年12月10日
身長　175㌢　体重　73㌔
格闘技歴　ボクシング7年、テコンドー11年、散打3年、アブソリュート1年
得意技　オールマイティー
戦歴等　97年ロシアキックボクシング選手権優勝、旧ソ連時代にボクシング・スポーツ・マスターの称号を受ける

◀スルタンマゴメドフ・カフカズ

国籍　ロシア
生年月日　1971年8月24日
身長　178㌢　体重　90㌔
格闘技歴　アブソリュート10年、コンバットサンボ
得意技　殴ること　左ストレート
戦歴等　99年モスクワアブソリュート世界大会準優勝

◀コビトセフ・アレクセイ

国籍　ロシア
生年月日　1969年11月5日
身長　191㌢　体重　110㌔
格闘技歴　キックボクシング5年
得意技　右ストレート
戦歴等　96年ロシアアマチュアキックボクシング選手権チャンピオン

◀恩田武範

国籍　日本
生年月日　1974年6月28日
身長　194㌢　体重　94㌔
格闘技歴　正道空手K-1コース3年、ボクシング1年
得意技　右ストレート
戦歴等　グローブ空手大会優勝等戦歴は5戦4勝1敗4KO

遂にベールを脱いだ
拳圏道アンリミテッド旗揚げ戦

北海道で格闘技に革命が起こった！

レフェリーは元修斗ウェルター級王者・渡部優一が務めた

試合前ＳＡボクシングのチャンピオンベルトが紹介された

これが拳圏道の試合だ

ラウンドガールもロシアの美女が務めた

このルールなら格闘技史上初のタッグマッチもできるのでは…

▲試合のほとんどは立ち技でのキックボクシング。全体的にパンチがうまく、レベルは高かった

北海道の旭川。三千人しか入らない小さな体育館で、掣圏道のプロ「アンリミテッド」は旗揚げされた。

1999年7月10日。それは、のちに格闘技界に新たな革命を起こす記念すべき第一歩となるかもしれない。それを目撃するために、私は再び北海道へ向かったのだ。

登場人物は、まず天才格闘家・佐山聡。ロシア人13人と恩田武範という若い日本人一人。そして、他に3人のプロレスラーという異色メンバーで、掣圏道という新しいプロ格闘技はスタートを切った。

マスコミは、けっこうたくさん集まった。みんな、UWFスタイルや修斗を作った佐山が、次にどんな格闘技をやろうとしているのか、一目見ようと北海道に集まったのだ。格闘技理論にうるさい関係者も何人か姿を見せていた。

佐山が新しくやろうとしている掣圏道は、実戦に役立つ格闘技スタイルの競技化である。

それは、伝統武道や中国拳法、あるいは武道を追求する何人かが目指したものだ。しかし、結局それは、いつの間にかスポーツに変形し、実戦から遠ざかっている。

佐山はその命題に対し、スポーツから実戦で役に立たないものを省くという答を出して、掣圏道を作った。それは、寝技での関節技を省くというコンセプトだった。

キックボクシングのような立ち技に限定されたスポーツではなく、空手のように技を限定したスポーツでもない。何でも有りなんだけど、実戦で使わない技術はルールに入れない。それが掣圏道である。

バーリ・トゥードとの一番の違

▼佐山が絶賛したトカレフ・ワジムはパンチ力の強いキックボクサーだった

日本人唯一の恩田は、馬乗りパンチでKO勝ちした

日本人唯一の恩田は、大道塾の長田賢一に似てる

中国拳法もこのルールなら生きる

中国拳法の選手の足払いも、撃圏道では有効だ。これは後掃腿という技だ

アブソリュートの選手は打撃に付き合えず、投げ、タックルを連発した

正道会館のグローブ空手でも優勝している恩田は、どことなく大道塾の長田賢一に似ていた

寝技でのパンチも有効！

RESULTS

第1試合
△サヴィン・ニコライ（判定1－0）スリン・アルトゥル△

第2試合
○ダダンシェフ・エルヌル（判定3－0）サリエフ・ソベトベク●

第3試合
△ナグニビタ・ルヌラン（判定1－0）モルダリエフ・エディル△

第4試合
△ニキシェフ・スタニスラフ（判定0－0）ブホフ・ミハイル△

第5試合
○恩田武範（3R1分47秒マウントパンチKO）シバンコフ・デニス●

第6試合〈SAプロレス〉
○田中稔（9分10秒みのるスペシャル1）日高郁人●

第7試合〈SAプロレス〉
○初代ダイガーマスク（7分0秒体固め）アジアン・クーガー●

第8試合
○トカレフ・ワジム（判定3－0）シドロフ・オレグ●

第9試合
○スルタンマゴメドフ・カフカズ（判定3－0）キルサノフ・アンドレイ●

▲パンチのラッシュで苦しくなれば、タックルでグラウンドへもっていく

▲馬乗りパンチもOK！　しかし、このように膠着状態になると、ブレイクになる

いは、寝技で膠着になった時、すぐにブレイクさせること。これは、もし相手が複数だった場合、寝技で膠着していたら、後ろから蹴られたり踏み潰されたりするからである。まして、下になってガードポジションをとるのは、非常に危険が伴う行為である。

では、そのコンセプトが実際に試合に、どれだけ反映されていたか、気が付いたことを順にお伝えする。

まず、寝技で関節が狙えないということで、選手は自然と立ち技で勝負しようとこだわる。これはキックボクサーや空手家にとっては、バーリ・トゥードより圧倒的に有利なルールだ。

しかし、キックや空手に対して組み付きやタックル、投げがある。したがって、連打や大きな蹴りはキックのように出せない。これも撃圏道の特徴だ。キックや空手は、タックルがないから、あれだけ思い切って打撃が出せるのである。

そして、一番驚いたのが、かなりのスタミナがいる競技だということだ。寝技での抑え込みや膠着状態は、ある程度休むことが出来る。しかし、膠着になると、すぐに立たせられるので、選手は休むヒマがない。

あのスタミナの化け物のロシア人が1Rたった3分間で息が上がっているのである。打撃があって、組み討ちがあって、寝技でも休めない。さすがのロシア人も、これはシンドイ競技だという感じだ。考えてみれば、3分以上闘う喧嘩なんて、まず有り得ない話なのである。

しかし、佐山はこのことについ

撃圏道トーナメント
SEIKENDOH SA
SEIKENDOH BOXING
7・10　旭川市総合体育館

札幌までリーグ戦をやり、9月有明でチャンピオンを決める！

SAプロレスでは初代タイガー参上！

佐山は自ら初代タイガーマスクとなってプロレスの試合を。伝説の人が旭川にやって来た

カンフーのようなサイドに構えてからの横蹴り、後ろ回し蹴りを放つ選手もたくさんいた

投げ、グラウンドでの打撃もあるため、スタミナ的にはかなり苦しい

佐山聡のコメント

試合は60点、素質は120点
ニープレスをもっと使えば
闘い方は全く変わる！

「まだまだ選手は仕上がっていないという感じでしたね。もうちょっとビシバシ行ってくれないと。マウントはとっているんですけど、ニー・オン・ザ・ベリー（お腹にヒザを乗せる）が出来ていない。彼らはアブソリュートの選手なんで関節技にいきたいところなんですけど、このルールは嫌でしょうね。逆にキックボクサーは断然やりやすいと思いますよ。でも、みんなニー・オン・ザ・ベリーを覚えれば、闘い方も全く変わってきますから。どうですか？　SAボクシング。これはスポーツの観点じゃなく、武道の観点から見れば面白いと思いますから。最初はオープンフィンガーグローブにしようと思ったんですけど、彼ら試合数が多いんで、危ないからと思って10オンスのグローブにしたんです。札幌は最後なんで、オープンフィンガーにしちゃおうかな（笑）。でも、ロシアの選手も中国武術とか出て面白かったですね。ああいう選手もニープレス覚えれば十分闘えますよ。まあ、レフェリーに関しては、ブレイクするタイミングがいい時もあったし、悪い時もあった。殴れないと思ったら、もっと早くブレイクした方がいいですね。でも、この試合は総合格闘技よりスタミナが絶対にいりますよ。それもニープレスができたら、無駄なパンチ、強引な投げにはいかなくなるでしょうね。まあ点数をつければ60点ですね。でも、ロシア人の素質は120点、早く日本人も育てたいですね。このルールなら、結構やれると思いますよ」

▲アブソリュートの優勝者スルタンマゴメドフ・カフカズは優勝候補ナンバー１

▲タックルの得意な選手は、このルールで十分生きる

て、「ニープレスが誰も出来ていないからだ」と、その理由を語る。ニープレスで、相手のお腹にヒザを乗せれば、上からパンチでKOできる。馬乗りになったり、ガードポジションのとり合いをしようとしているから、無駄なスタミナを使ってしまうと言うのだ。

また、「投げやタックルにしても強引すぎる」と佐山は言った。倒すという意味では、中国拳法のような足払いで十分だと言う。これは、意外な格闘技が日の目を見そうだ。

柔術家や柔道家にとってはやりにくいルールで、立ち技の格闘家にはやりやすい「何でも有り」。しかし、レスリングの選手にとっては、かなりチャレンジしやすいルールだ。そして、実戦を目指す伝統武術や中国拳法の人が、このルールでどう闘うのか、見ものである。

旭川で旗揚げされた掣圏道の「アンリミテッド」は、オープニングシリーズで、函館、釧路、札幌と1週間に1回のペースで興行を行う。このシリーズでは、4階級の総当たりリーグ戦を行い、札幌で1位・2位を決める予定だ。

勝ち星は2点、引き分けは1点、負けは0点で、順位はその合計点で争われる。そして、そこで優勝した選手が、初代SAボクシング王者に輝くのである。

佐山が言う「ニープレス」は次に見られるのか。もし、それが可能ならば、格闘技界初のタッグマッチもできるのではないか、というのが一番の感想である。もちろん、ロシア人のレベルは高い。次に会うのが楽しみである。（谷川）

Wave-IV

全日本キック
7.13★後楽園ホール

魔裟斗、燃えず…

倒さずとも、それもよし。
ただ「明日」のためだけに…

倒すチャンスがあっただけに、勝利をしても魔裟斗の表情は曇りがち

MASATO DVLCK

写真◉黒田史夫

専守防衛のトレビジョンをパワーで圧倒！

真の"スーパー・キッカー"まであと一歩だ!!

全日本キック、黄金時代再来か？ 1950人超満員札止め！

▲久々に1950人超満員札止めの大盛況。90年代前半の勢いを取り戻してきた！　魔裟斗はリングイン後に必ず四方に礼をする

▲1Rから積極的に攻めていく魔裟斗。気合い十分だ

▲花道に仲間が作ったアーチをくぐってリングイン。コスチュームもどんどんオシャレになっていく

★第８試合（日本・イタリア国際戦／67キロ契約3分5R）
○魔裟斗（5R判定3-0）マテオ・トレビジョン●
（藤ジム）　（イタリア目白ジム）

折からのしのつく雨をついて、後楽園ホールにやってきた満員のファンの一人ひとり、きっと一番見たかったのは魔裟斗の派手なKOシーンじゃないのかな。シェイプアップされた逞しい体から繰り出される連続攻撃は、相変わらずのスピードに乗っけてあるパンチやキックを指折り数えても、とうてい追いつけないほどの数だった。魔裟斗が10なら、対戦相手の攻撃は1。それくらいに攻めまくった。けれど、やっぱりこの日も倒せなかった。

世の中つくづくうまくばかりに事は運ばないものだ。いや、だから面白い。楽しみが次回にも取っておける。弱冠20歳。この日を含めてキャリア11戦。とっておきとばかりに伸び盛りの魔裟斗である。チャパツが金髪に、そして今度は銀色の髪になった若きヒーローが、超人キック・ファイターになるまで、同時進行形でたっぷり見届けられるというものなのだ。

そうは言っても、ウンウンと頷いて納得ばかりしているわけにもいくまい。５月に対戦したフランス人のジェームス・シャサー戦に続く『打倒ヨーロッパ・シリーズ』で再び判定まで生き延びさせてしまったのには、そのファイトに何か欠落があったのだろう。なにより魔裟斗自身が「反省ばかり」と言うのだから。

当初のレオナルド・エルミッチの負傷により、同じイタリアからやってきたマテオ・トレビジョンは、プロボクシングでイタリア・ウェルター級５位という触れ込み。となると怖いのはパンチと思いきや、本当に怖かったのは背中の右

Wave-IV

全日本キック
7.13★後楽園ホール

▼ローキックも一発一発が重たい。だが、トレビジョンを倒せなかった

倒せねぇ〜！ 魔裟斗のもがきが伝わる…

魔裟斗のコメント

「今日は反省ばっかしです(笑)。ローの練習をしてきたんですけど、それが出なかった。いい環境で練習できたんですけどね。まだまだ甘かったです。適当な選手なら判定勝ちでもいいんでしょうけど、適当な選手じゃ終わりたくないですから。とにかくもっと練習して、たくさん経験を積まないと。また前田（憲作）さんにお世話になります」

トレビジョンのコメント

「今日の結果は残念だったけど、相手のマサトは凄く強かったです。特にハートが強かった。ただ、私自身もコンディションがいまひとつだったので、全力が出せなかったという部分もあります。試合が決まったのが10日前で、調整がうまくできませんでした。普段の試合はヒジ打ちと顔面へのヒザ蹴りがなしのルールでやっています」

▼何度もコーナーにトレビジョンを追いつめ、猛打を浴びせた魔裟斗だが、KOを奪うことは出来なかった

▼苦しくなると組んでいくトレビジョン。魔裟斗は強引に振りはらって外していた

▲「頑張っているのはわかるんですよ」と今回セコンドに就いた前田憲作

▲パンチからローのコンビネーションを練習してきた魔裟斗だが、本人が思っていたほど生かし切れなかったようだ

半分と右足のふくらはぎ、それに左の太股にあるシールのようなTATOOのみ。そんなトレビジョンも、魔裟斗の速さの前に手の打ちようがなかったと見るべきなのか、まともなフォームでパンチを出すことすらができなかった。

魔裟斗は1Rから出た。右ミドルキック、すかさず右パンチ。左フック。トレビジョンの白い体は何度も煽られて、ロープに打ちつけられる。トレビジョンは両腕を頭のそばでガッチリ固めて守るのが精一杯だ。

4Rに入るころになると、トレビジョンは疲れの色もくっきり。魔裟斗はこれを追いかけ、さらに追いかけ、また追いかけて左右のパンチを雨あられ。しかし、どうしてもダウンを奪うことはできなかった。このころには観客席の声援にも疲れが出てきて、会場は何となく静かになっていく。

5R、どうあってもKOとさらにねちっこく攻めた魔裟斗だったが、やっぱり倒せないまま終了ゴングを聞いてしまった。

採点は3ジャッジとも50―46の大差。文句なし。それでも、ちょっと物足らないか。

ふと見ると魔裟斗の傍らに前田憲作がいるではないか。そして、控室で「よくやった、及第点だと思いますよ」とポツポツと語り始めた。というのも魔裟斗は1ヵ月前からAJパブリックジムでこの前田から指導を受けているのだ。

「前回よりずっといい。今はまだ教えたことの20〜30％しか出ていない。次はもっと出ますよ」

世界王者の言葉に、魔裟斗の豪打の予感がしたのだ。（宮崎）

の強さは本物だ!

蹴り一発で完全失神。

攻撃仕様の性能差断然。イタリア人が戦意喪失

「オレはまたすぐ闘うぞ」

土屋、不完全燃焼のKO勝ち!

殺気あふれる土屋の入場。トレードマークのサングラスと赤いバラも健在

土屋のコメント

「プロであるからには、勝たないことには始まらないからね。勝つことは嬉しいです。でも、いい勝ち方をするというのがもうひとつのプロの条件なら、もちろん納得はしていないですけど。最初のダウンは何が効いたんだろう……自分でも分からなかったですね。イタリア人だから諦めが早いとは、最初から思っていましたが」

バルバーノのコメント

「今日の試合は、自分で自分が嫌いになるような内容でした。確かに、ツチヤは私よりも強いファイターでした。でも、そのことが問題なんじゃないんです。気持ちの部分、例えば、より『勝ちたい!』と思う気持ちであるとか、試合に向けてのコンセントレーションといった部分で、自分が彼より劣ってしまったというのが悔しいです」

◀キャリアは53戦と申し分ないバルバーノだったが、土屋には歯が立たなかった

①

②

③

▲▶最後は①右ストレートから②右ローキックで③バルバーノはダウンし、起きあがることが出来なかった。土屋の完勝である

★第9試合(日本・イタリア国際戦/3分5R)

○土屋ジョー(2R0分33秒、KO勝ち)カルロ・バルバーノ●

(谷山ジム)　(イタリア目白ジム)

※右ローキック。1Rに右ローキックでバルバーノは2度ダウンを喫した

なんたって格が違ったのだ。世界チャンピオンを前にしたら、サバットの欧州王者といえども、こんなものなのだろう。トレードマークの情熱の赤いバラを投げつけるほどの相手でもなかった。

バルバーノが右肩を低く傾げる独特の構えで、不気味がらせたのは最初の1分ほどだけ。1度目のダウンなんか、土屋からして「どの攻撃で倒れたのか分からない」という代物だ。さらに土屋がひざ蹴りの連打から右ローキックを旋回させると、イタリア人は右往左往。さっそく2度目のカウントだ。2R開始からほどなく、またも右ローでバッタリ。バルバーノの戦意はこれでカラッケツになった。

あまりの力量差に会場はあっけにとられたのだが、土屋が強いのだからしょうがない。ただし、本人もどうも物足らない様子である。「今、すぐに試合に出ること決めました。みなさんにはこの次に2試合分楽しんでもらいます」

リング上ですかさず次戦予告である。というのも、試合前から9月3日の大会のメンバーに土屋の名前が連ねてあったのだ。あまりにも間隔が短いと、土屋自身はきわめて気乗り薄だったのだが、今回の薄っぺらい勝利では、当人もいかんともしがたいというわけだ。

控室で土屋は喋る喋る。「強くてしかも目立ちたい」「あくまで打倒ムエタイ。だけど、その前にタイ以外(の列強を)やっつけて、十分に準備したいな」。などなど20分はたっぷり、身振り手振りつき。試合よりこちらの方が疲れたんじゃないのかな、この夜のジョーは。

(宮崎)

Wave-IV

全日本キック
7.13★後楽園ホール

金沢の強さは本物だ！

逆輸入ムエタイ・アタルを粉砕！

▶金沢と言えば、飛び技が代名詞となってきている。客席からも「飛べ、金沢！」と叫んでいる人もいたが、この日の飛行はアタルが警戒したためか、不完全に終わった

▼アタルのヒジが金沢に炸裂！ カットはされなかったが金沢のおでこはたんこぶが出来ていた

金沢のコメント

「アタル選手には巧さを感じましたね。タイミングとか、勉強になりました。今日、小林選手が負けたのは残念でしたけど、逆に五十嵐選手が出てきましたから。ライト級のランカーは全員視界に入ってます。みんなで盛り上げていきたいですね。余裕があった？　タイ人のマネして、きつくても笑ってたんですよ（笑）」

　これが全日本ライト級チャンピオンの強さだった。かつて「努力の人」だったり「黒星地獄からの復活」がキャッチだった男に、もうそんな泥臭い言葉は似合わない。対戦者のアタル・ヂッティジムは日本生まれでタイをベースにする異色のムエタイ戦士。25勝23敗の戦歴に本場のシブさを感じさせる。それでも「相手は上手かったですね」と金沢久幸に感心させるのがやっとだった。金沢は2R、バックハンドブローでチャンスを作るとコーナーに追い込み、右パンチを乱れ打ちしてあっさりダウンを奪う。3Rにはストマックに突き刺した右ストレートで、アタルをうずくまらせた。このあと金沢の右ヒザ蹴りが金的を捕えるアクシデントはあったものの、最後は左ヒザ蹴りをアタルのアゴにアッパーカットで決めて深々と眠らせた。「挑戦者ですか？　挑戦者決定戦で勝ってもらうことが条件です」。もはや無敵の境地にある金沢は、どこまでも余裕たっぷりだった。

最後は金沢の左上段ヒザ蹴りで決着。アタルはマットに大の字になった。金沢強し！　ライト級王者としての貫禄を見せつけた

★第7試合（日・タイ国際戦／3分5R）
○金沢久幸（3R2分58秒、KO勝ち）アタル・ヂッティジム●
（富士魅ジム）　（タイ）
※左ヒザ蹴り。2Rに右ストレート、3Rに左右ボディでアタルはダウンを喫した

野良犬・小林、痛恨！ 2度のダウン跳ね返せず

◀全日本復帰第一戦の小林は、ライト級4位の五十嵐と対戦したが、1Rに2度ダウンを喫し判定負け。復帰戦を白星で飾れなかった

★第5試合（ライト級／3分5R）
○五十嵐ヨシユキ（5R判定3-0）小林聡●
（アクティブJ）　（藤原ジム）
※2Rに左フック、右アッパーで小林は2度ダウンを喫した

蹴り一発で完全失神。増田が空位の日本王座へ！

★第6試合（第18代全日本フェザー級王座決定戦／3分5R）
○増田博正（4R0分12秒、KO勝ち）藤武蔵●
（アクティブJ）　（藤ジム）
※左ハイキック。1Rに左ストレートで藤はダウンを喫した

　全日本フェザー級新王者を決めたのは、鮮やかすぎるハイキックだ。4R、アゴを捕えた左ハイ一閃。そのとき増田博正は「いったな」と確信したという。マットに撃墜された藤武蔵はピクリとも動かない。元新空手王者・藤が1Rにダウンを奪われながら見せてきた粘りも、ただの一撃で水泡に帰したのだ。

増田の左ミドルからの左ハイキックがドンピシャリ！　衝撃的な幕切れだった

◀長いトーナメントを制し、歴史あるフェザー級の王者に輝いた増田。全日本キック勢の巻き返しに期待！

男としての最終試合でムエタイ戦士の意地がギラリ！　それでもなお…

女の道を選んだパリンヤーに幸あれ！

男としての最後の試合を終えたパリンヤー。
性転換手術など、気になる今後に関しての確定的なコメントはなかったが…

　ついに、この時がやってきた。あのパリンヤーが、男としてのラストマッチを迎えることになったのだ。〝おかまムエタイ戦士〟として一般マスコミにも注目されてきたパリンヤーも、今回で見納め。この日も数多くのカメラマンがリングサイドに陣取っていた。

　そんな周囲の期待と注目に応えるように、パリンヤーはパフィーの『アジアの純真』をテーマ曲に、なんとセーラー服を着て入場。リング上でも〝白粉をはたく少女〟と呼ばれるワイクーの美しさと艶やかさで、観客を魅了した。

　しかし、いざ1Rのゴングが鳴ると、パリンヤーは一気に戦闘モードに入る。

　対戦相手の片山隆之とは、これまでタイで三度対戦しており、手の内を知っているからだろうか、それとも最後の試合になってムエタイ戦士の意地と誇りが目を覚ましたのか、パリンヤーは前回の土井広之戦ではあまり見られなかったシャープな蹴りを連発、片山を苦しめる。キャラ先行型のパリンヤーではあるが、だてに29戦ものキャリアを積んでいるわけではない。練習では外国人選手のアゴを砕いたこともあるという。

　だが、それも前半戦まで。試合後半になってスタミナの切れたパリンヤーは徐々に片山に追い詰められてしまう。終わってみれば片山の明確な判定勝利だった。

　ある意味では試合よりも注目の大きかった試合後のインタビュー。パリンヤーは「また試合をやるかどうか、体調を見てから考えたいです。性転換手術は、やるとしても公表しないでこっそりやります」

Wメインイベントは SBvsMAキック対抗戦！

▲Wメインイベント第1試合（第6試合）にSBの闘う事務職員こと森谷吉博（左）が登場。MAキックの松下充也と対戦した。森谷は抜群のタイミングでカウンターを放ち、松下に2－0の判定勝ち

▲対抗戦での快勝にも森谷は「今日は最悪です。行く（攻める）べき時に行けなかった自分が悔しい」と渋い表情だった

▲Wメイン第2試合では、若宮一樹（右）がMAキック・ライト級3位の砂田政彦と対戦。試合は、若宮に常にプレッシャーをかけ続けた砂田が判定2－0で勝利

▲力強いフック、ヒジ打ちで攻める砂田に若宮は防戦を余儀なくされた。若宮は前回の前田辰也戦にも敗北しており、不振が続いている

▲ムエタイ特有のしなやかで鋭いミドル、ハイキックを繰り出したパリンヤー（左）。前回、6・10後楽園大会での土井広之戦よりも調子は良さそうだった

女心 ＞ ムエタイ

▲（写真左）なんとセーラー服姿で入場してきたパリンヤー。周囲に薦められて着たというが、本人も「可愛くって好き」とお気に入り（写真右）試合後半になると、パリンヤーはペースダウン。片山隆之に攻め込まれてしまう。パリンヤーは「女性ホルモンの影響で、スタミナがなくなってしまいました」とコメント

▲パリンヤーの話題性で、今回も数多くのマスコミが取材に訪れた。普段の格闘技の大会の倍以上の量だ

▲試合は判定までもつれたが、3－0で片山が勝利。片山はこれでパリンヤーとの対戦成績を2勝2敗とした

★特別試合（第8試合）ムエタイルール3分5R
○片山隆之（5R判定3－0）ノントゥム・パリンヤー●
〈寝屋川ジム〉　〈タイ〉

と、おとなしめのコメント。最後になって、ムエタイへの未練が頭をもたげたのか？　とはいえ、女性ホルモンを投与しているパリンヤーに現役続行は無理な話。最後は「試合はやりたいけど、身体的に不利だし…」と語り、芸能活動については「私にできることなら何でもやりたい」と意欲を見せた。片山はそんなパリンヤーを「試合の勝者は僕ですけど、人生の勝者はパリンヤーでしょう。周りに何を言われても、自分のやりたいことを貫いてるんだから」と称えた。どんな形であれ、今後は女としての道を行くパリンヤーの活躍ぶりが見られることだろう。

　昨年4月の初来日以来の〝パリンヤー狂騒曲〟は幕を閉じた。これまで中心選手だった吉鷹弘はすでに引退し、村浜武洋も離脱、緒形健一もKO負けが続き、休養が必要な状態。その上マスコミに大きな話題を提供していたパリンヤーも失うとなると、今後のSBはかなり苦しい状況となるが、団体の広報であり、軽量級のエース選手でもある森谷吉博はこう語る。

「今日は緒形が欠場して、結果的にパリンヤーがトリになりましたけど、今の状況では仕方がないとはいえ、納得いかないです。やっぱりメインはSBの選手がSBルールで試合をしなきゃいけない」

　一見、どん底に見えて、そこから盛り返すのがSBの真骨頂。吉鷹も村浜も、そうやって一時代を築いた。今度は森谷、土井らがそうする番なのだ。パリンヤーの話題性の裏で、彼らはそれができるだけの底力と個性を、十分に蓄えてきている。

（橋本）

桜井、37秒秒殺にも――

この不満顔。

【お願い】マッハの相手は、もっと強いヤツにして下さい。

修斗の会場は、Tシャツ（以下T）の見本市のようだ。選手関連のオリジナルTの充実ぶりはもちろん、観客たちがセンスを競うようにユニークなTを着まくっている。修斗Tを雑誌で見て「コレかわい～、ほっし～」というきっかけでハマるギャルもいる。

だから、試合前のTの売れ行きはものすごい。T売場の「芋洗い状態」を見ていると、コンサートの開演前を思い出す。最近のミュージシャンは皆、ノベルティグッズの販売に力を入れているせいか、開演前はロビーでくつろぐというより、血まなこになって〝買い〟に走るファンが多いのだ。その興奮状態を引きずるから、開演1曲目から盛り上がる。一石二鳥だ。

修斗にも似たような効果があるらしく、第1試合目からボルテージが高い。これは、K－1をのぞいた他格闘技では見られない現象だ。

第1試合から盛り上がる理由のもう一つに、選手育成の確かさがある。アマ修斗でもまれているせいか、2回戦でもレベルは高い。第2試合に登場した和田拓也はプロデビュー戦だったが、レベルの高さは驚異的だ。和田はミドル級だが近い将来ランク入りするはずだ。

さて、そのミドル級の王者、桜井速人がメインをつとめた。

37秒で一本勝ち。

桜井は1月の34秒TKOに続いて、今年早くも2度目のスピード決着を見たことになる。

まず、ブレッド・エアズが手探り気味で左を打ってくるところに、桜井が右ローキックを放つ。桜井が「手応えがあった」というロー一発でエアズの顔にタテ線が入り、

Shooto the RENAXIS 1999 7・16 ★ 後楽園ホール

▶桜井は左フックで間を詰めると、そのまま組み付いて難なくテイクダウン

マッハのローに右のカウンターパンチ。この挑戦者やるのか!?

▲エアズの左パンチに桜井が強烈なローキックを合わせると、エアズはすかさず右パンチのカウンターを狙う

桜井のコメント

「37秒ですか、うん、まぁいいんじゃないですか。でも、自分を出す前に終わっちゃったな。(ソツのない攻めのようでしたが?)いやぁ、まだまだだね。相手の問題じゃなくて、自分がね、出せなかったかな。今日の寝技じゃ、ブラジル人なら逃げられてる、まだちょっと甘いね。スタンドでの攻撃も練習してたんで出したかったんだけど、その前に組んじゃった(笑)。もの足りないって言えば、もの足りないかな」

ああ、もう終わっちゃった。もう少し見たかったのに……

「もの足りねぇ」

▶「この相手じゃ勝って当たり前」快勝にも笑顔を見せなかったマッハ

★第7試合(ミドル級3回戦)
○桜井“マッハ”速人(腕ひしぎ十字固め)ブレッド・エアズ●
(総合格闘技木口道場)　(オーストラリア・ジンウークン)

▲37秒——まさに電光石火の勝利。グラウンドになるやエアズの顔が激痛にゆがんだ

目が脅えの色になった。エアズはなんとかしようとカウンターのパンチを狙うそぶりを見せたが、桜井はそれをまったく気にせず、左フックから組みつき、そのままテイクダウン。上になったあと、ちょっとだけモタついたものの、すぐに腕ひしぎ十字で片づけた。

あまりの強さと速さ。もちろん客席は沸き立った。

だが、1月の勝利の瞬間とは微妙に違う空気が流れてもいた。1月は選手・関係者もあっけにとられ苦笑する姿が目立ったが、今回は冷静な表情の方が多かったように思う。桜井の頭ひとつ抜けた強さは周知の事実。どんな勝ち方をしてもなかなか驚いてもらえなくなってしまったのだ。

しかし、どんなに実力差があっても、1分以内に決めることは至難の業。まして、エアズはプロ修斗公式戦で勝っている選手である。桜井にしてみれば、「どうせいっちゅうんじゃ?」というところだろう。茨城弁でどう言うかは知らないが。

しかし、無責任で貪欲なファンの心情に立って言えば、「マッハにはもっと夢を見せてほしい」という気持ちが起きつつある。

単純にいえば、今の体重ぐらいで、ライトヘビー級の選手を倒し2階級制覇してほしいのだ。

もちろん、レベルアップ著しい修斗で、この夢がいかに叶いにくいものかは承知している。

たとえば、セミファイナルの佐々木有生とラリー・パパドポロスの闘いを見ても、それはイヤというほどわかる。伸び盛りの佐々木は打撃のパワーがあり、組んでも現

Shooto the RENAXIS 1999 7・16 ★ 後楽園ホール

この顔見たさに超満員2205人

◀入場式にはタオルを頭に巻くお馴染みのスタイルで登場

▶桜井と交流のある、ボクシング・スーパーフェザー級日本王者のコウジ有沢が花束を贈った「修斗の会場には初めて来ましたが、とても面白かったし、桜井選手はホントに強かった」（有沢）

Tシャツ売場はこの日も大盛況。恒例の限定Tも発売されていた

この日のベストバウト、桑原VSポール 観客も「オ〜イ、オ〜イ」の大熱狂！

▲▶第5試合。1Rから打撃で翻弄した桑原は、2Rにポールのタックルを切ってバックを取ると、下半身をロックしてパンチ連打でTKO勝ち。お決まりのキメポーズに会場大爆笑。最後は小方レフェリーに早く退場するよう注意され、また大爆笑

▲第6試合。パパドポロスが終始主導権を握り3-0の判定勝ち。佐々木は疲労困憊で終了と同時に大の字状態。しばらくは立ち上がれなかった

▲第2試合。コンバット・レスリング優勝の実力を持つ和田拓也がプロ修斗デビュー。川勝将軍を相手に判定ながら白星スタート。豪快なタックルに非凡さが光った

次回大会予定

the RENAXIS
9月5日(日)
後楽園ホール

朝日昇、強豪・ノゲーラにリベンジなるか!?
巽宇宙と池田久雄戦も決定

この日会場で、9月5日の大会のカードが2試合発表された。まず一つは、ライト級2位の巽宇宙対同級3位の池田久雄戦。そして、もう一つが朝日昇とアレクサンドレ・フランサ・ノゲーラの試合だ。朝日昇とノゲーラは昨年の4月26日に横浜アリーナで行われた『シュート・ザ・シュート　ダブルクロス』で対戦し、ノゲーラがフロント・スリーパー・ホールドで勝っている。試合で初めて〝落とされた〟朝日にとって、ノゲーラは絶対にリベンジしたい相手。しかし、朝日を破って一躍日本で名を上げたノゲーラは、その後もいろんな大会で実績を上げており、あの勝負がフロックでないことを証明している。果たして朝日のリベンジ成るか、それとも返り討ちか。朝日本人は「楽しい試合になる気がするんでぜひ会場に来て下さい」とコメントしたが、ドキハラの試合は必至。見逃せないゾ！　このところ超満員札止めが続いている修斗だけにチケット購入はお早めに！

（チケット情報はP54）

在パンクラスで活躍する菊田早苗らとの練習を通じて簡単にはやられない強さがある。私としては、佐々木が勢いでパパドポロスを押し切ると見ていたのだが、結局佐々木は何もできなかった。

1、2Rは常に差し合いでパパドポロスが優位に立ち、佐々木をコーナーに押しつける。ようやく3Rに初めてテイクダウンを奪ったものの返されてしまう。パパドポロスが老練な技と上半身の力をうまくミックスして、試合を支配した、ということだ。

80キロを超えた時の、日本人と西洋人のパワーの違いには、時に絶望的な気分にさせられる。しかも層の厚いクラス。ミドル級とライトへビー級の体重差が9キロということを考えると、やはり、桜井に託す夢はあまりに大きいのか？

しかし、我々は桜井が1月の勝利のあと、アブダビでスーパーへビー級の選手に一本勝ちしたことを知っている。だからこそ、桜井に夢を見るのだ。

第5試合で登場した桑原卓也は常に動き回って、アマレスの強豪ジョン・ボーンにタックルを許さなかったばかりか、短い足を精一杯駆使して、果敢にハイキックまで放っていった。そして最後はマウントポジションからパンチの雨を降らしてTKOした。桜井も、ライトへビー級相手にこの戦法で行けるのではないか、という期待が浮かんでしょうがない。

マッハよ、願わくばトゥブ（アラブの民族衣装）を着たアラブの王族の前ではなく、カラフルなTを得意気に着こなす日本の若者たちの前で、夢を見せてくれ。（押切）

灼熱の島に強者どもが集結!!

カキダミシってのは
男の肝を試す
"キモ"ダメシってことだろ!!

空手道真樹道場宗師にして梶原一騎の実弟、そして小説家

真樹日佐夫が語る THE KAKIDAMISHI 1 in 沖縄

（村上竜司）龍vs超象（チャンプア）

再戦の果てに大波乱！“城西の虎”恐怖の復活!!（添野義三）

★第10試合（3分5R）
○村上竜司（5R判定）チャンプア・ゲッソンリット●
（士道館）　（タイ）

なんで減点だアアア!!

▲「チャンプアはその前から竜司の金的を蹴ってたんだよ。それを取らずに竜司が一回投げただけで減点っていうのはおかしいよ」と試合後に語った添野館長

▲福富レフェリーの裁決に激怒した添野館長がリングに上がって猛烈抗議！　リングは一時騒然！　呆然!?

両国での負けをキッチリ返すんじゃッ!!

▲5R終了直前に投げを打った竜司だが、これをレフェリーの福富が反則として減点して波乱の幕開け！

真樹日佐夫が語るカキダミシ1

金玉をいっぱい蹴られたんだから竜司はアピールしなきゃダメだったんだ、あの時に。そしたらチャンプアも減点取られて、竜司も減点取られて、問題のない採点になったんだよ。竜司のパンチは効いてたよ。（最後のラウンドは竜司さんのパンチが2発まともに入ってチャンプアはダウン寸前でしたが？）そうだろ。倒れる寸前までいってたんだからな。

▲当然だが、一度下された裁定は覆らない。それでもポイント的に勝っていた竜司が勝利を手にするものの、抗議が通ったと勘違いした観客の一部からはブーイングが起こった

◀▲竜司の左対チャンプアの左ミドルが激突！　前半押される竜司だが5Rに左フックが炸裂し、チャンプアはダウン寸前に

いまや東映映画でもお目にかかることができない、海とサングラスがよく似合うダンディーな男が扉の写真の真樹日佐夫先生である。

元極真空手本部師範代、現・真樹道場宗師であり、『巨人の星』『空手バカ一代』などの名作漫画の原作者、故・梶原一騎の実弟。若い頃にはプロレスラーのバディ・オースチンを戦闘不能に追い込んだ逸話を持つ喧嘩屋にして、小説家でもある多才な人なのだ。

その真樹先生が空手発祥の地、沖縄で突如、とてつもない男たちを集めて、新たな格闘技イベントを開催した。

新格闘技イベント『カキダミシ』。UFC王者のバス・ルッテン、初代K―1王者のブランコ・シカティック、MA日本ヘビー級王者の村上竜司に初代タイガーマスクと名前を並べただけでもドキドキしてくる面子。立ち技系、総合系という格闘技の通常の枠組みを超越した本物の強者たちの試合。

それだけではない。

ドキドキするのはかつて『格闘技の祭典』という興行で二代目タイガーマスク時代の現・全日本プロレス社長三沢光晴が初代タイガーの佐山と奇跡の握手を交わし、正道会館の柳澤聡行が前田日明に挑戦表明、メインを務めたのは故・ジャイアント馬場とゴージャスの一言と言い切れる興行を実現させた男だからなのだ。

いやが上にも高まる期待！

だが、はっきり言って、その期待はいい意味で裏切られた。

そもそも『カキダミシ』とはかつての沖縄で、空手の達人たちが腕試しのためにしていた野試合の

THE KAKIDAMISHI 1

7.11★沖縄県武道館

▶汗一つかかずリングを降りるブランコ

K—1初代王者、余裕の秒殺!

▲試合開始からわずか10秒ほどで、ボディアッパーを受けて悶絶するベンケイ佐藤

女カキダミシ勃発!遺恨試合は柴田勝利

▲タフな試合を制した柴田。真樹先生も絶賛のファイトだった

▶昨年4月に試合して引き分けた両者。だが、バンビ陣営はこの採点に不服を申し立て、ついに再戦が実現した

▲タイガーマスクと好試合を展開したバトラーツの田中稔。真樹先生も太鼓判を押す実力の持ち主だ

▲第一試合で登場した初代タイガー。前日は北海道で試合し、この日の夜に東京でディナーショーを行った。ハード&タフな二日間を過ごした

その他のRESULT

第2試合　バーリ・トゥード
○アーロン・ライリー（レフェリーストップ）ロバート・タレック●
＜Hookn Shoot＞　＜カナダ王者＞

第3試合　キックボクシング
○ジェームズ・ビギンズ（2R TKO勝ち）マット・アンドリュース●
＜真樹ジムオキナワ＞　＜フリー＞

第4試合　キックボクシング
○有賀崇喜（5R判定）波平義彰●
＜真樹ジムオキナワ＞　＜稲毛道場＞

第5試合　バーリ・トゥード
○岡田滋（3分7秒チョークスリーパー）ティム・ジョーンズ●
＜フリー＞　＜チームオキナワ＞

第6試合　キックボクシング
○犬走健治（5R判定）ジェイソン・ロス●
＜白龍ジム＞　＜アメリカ軍人王者＞

第7試合　女子ボクシング
菊川未紀（ドロー）又吉真紀
＜名古屋BS＞　＜オキナワBS＞

第8試合　女子キックボクシング
○ 柴田早千予 （5R判定）バンビ・バートンチェロ●
＜白龍ジム＞　＜USA＞

第9試合　キックボクシング3分5R
○ブランコ・シカティック（1RKO勝ち）ベンケイ佐藤●
＜タイガージム＞　＜白龍ジム＞

真樹日佐夫が語るカキダミシ1

試合が早く終わったからブランコは欲求不満なんじゃないか?　さっきもビーチで大きな穴を掘ってたぞ。力が余ってるんだろ（笑）。まぁ、ベンケイ君もあれは頑張ったよな。なにしろ相手は天下のブランコ・シカティックだからなぁ。あれが格闘技者の姿なんだよ。恐れずに向かってく姿だよな。彼もイイ経験になっただろ。柴田早千予は長足の進歩だな。蹴りが良くなったな。彼女はこれから光っていくだろ。あと　田中君が良かったよな、キビキビ動いて。あれだろ、彼はバトラーツでは（アレクサンダー）大塚君の次に期待されてるスター候補生なんだろ。前評判通りのイイ動きだったよな。佐山タイガーは昨日北海道で興行を打ってこっちに来て試合して大変だったけどな、これで少しは痩せたんじゃないのか?（笑）

UFCヘビー級王者がレフェリーデビュー!?

▲特別ゲストとして招かれたバス・ルッテンは第5試合のバーリ・トゥードマッチを裁いた

こと。強さとともに豪気が試されるものらしい。

そう。今回は豪華なだけでなく、豪気だったのである。ブランコと闘うのは30キロも体重が軽いベンケイ佐藤。ブランコの石の拳で殺されるんじゃないかと本気で心配するほどスリリングなカードだ。事実ベンケイ選手は「頭蓋骨を割られないよう頭のガードだけは絶対に下げなかったんですが、ボディの一発でやられてしまいました」と語っている。

無闇に命掛け!

メインも大荒れ。昨年10月チャンプアに負けた村上の雪辱戦だったが、試合終了間際、村上の放った投げが反則を取られて減点1。

ここで村上の師、添野義三館長が猛烈抗議。レフェリーの福富は試合後「ホントに怖かった」と語るほどの迫力。城西の虎復活だ!

怒りの原因は試合中、村上が何度も金的を蹴られていたのに反則を取らず、村上の投げを注意もしないで即座に減点としたからだ。

関係者の意見は次ページを参考にしてほしいが、添野館長は後日「竜司は金的を蹴られてきつかったんだよ。それでも頑張ってたんだけど、最後の投げでいきなり減点はないよ。注意をしてから減点だと思うんだよね。レフェリーが難しいのはわかるけど選手は死ぬ気で闘ってるから先生としては引けないよな」と語っていた。

その一方で、試合のないルッテンは興行を満喫。フェアウェルパーティーでも観光気分丸だしで、盛り上がっていた。豪気と呑気、恐さと明るさが同居した抜群の興行であったということだ。（中村）

飲んで踊ったフェアウェル・パーティー&無礼講ミニ対談

▶試合がなかったルッテンは完璧にバカンスモード。パワフルに各テーブルを回って飲み三昧だ

▶ブランコ、ルッテンと外人勢が踊る中、最も精力的な日本人ダンサーだったのが実は白蓮会館の杉原館長。素敵だ!

▲「オレのミドルネームはダンスさ」と語るバス“ダンス”ルッテンが踊り出せばアッという間にパーティーは盛り上がる

無礼講につきバンビちゃんインタビュー急遽決行!

「タイガーvs田中戦」を裁いた島田裕二レフェリーがバンビちゃんの男性観に肉迫!

▲バンビちゃんを前にデレデレの島田レフェリー

▲このキュートな笑顔が格闘技関係者をキュンとさせるのか?

島田 今回の興行のカキダミシってタイトルは男を試すって意味があったんですよ。は〜い。で、バンビちゃんはどんな男が好きなの?

バンビ 私はそんなに好みはうるさくないわよ。性格の良い人が好きだわ。私は外見より内面を重視するから。

島田 真樹先生はどう?

バンビ イイ感じよ。服のセンスもいいし、顔もいいわ(笑)。

島田 キミは見る目があるねぇ。タイガーマスクはどう?

バンビ 彼の素顔を見たことないのよ。ただ今日彼と闘った人はなかなかいいわよ。

島田 やっぱり強い男が好きでしょ?

バンビ 肉体的にも精神的にも強い人が好き。そして目がきれいな人がいいわ。目がキレイだったらカッコ良く見えるの。

島田 竜司さんはどう?

バンビ かっこいいわ。特にヒゲが素敵だわ。

島田 俳優でいうと誰が好き?

バンビ ハリソン・フォードが大好きだわ(笑)。

島田 おじさまタイプだね。僕はケビン・コスナーに似てるって言われるけどね。

バンビ 本当?(笑)

島田 もちろんですよー!

バンビ あなた本当にレフェリーなの?(笑)

島田 わかってないねぇー。K-1レフェリーであり、高田ーヒクソン戦も裁いた男ですよ!

バンビ Oh!!やっぱり仕事ができる男の人が一番好きよ。

島田 結局オレかよ、んッ!

バンビ う〜ん……ごめんなさい。それは違うと思うの。

島田 キミは見る目がまったくなってないよ! コッ!(怒)

*バンビちゃんはまだ若いからオレの魅力がわかってないね。だけど、真樹先生のカッコ良さに気づくところはタダモノじゃないね。彼女はビッグスターになるよぉ。ワールドナンバー1レフェリーの俺様が言うんだから間違いないよぉ、はーい。

緊急対談

真樹日佐夫&村上竜司&福富栄一

チャンプア vs 村上戦で村上の投げをレフェリーの福富が反則減点1とし、添野義三士道館館長が「注意もせずいきなり減点はない」と抗議。またチャンプアが再三していた金的攻撃を反則にしないのもおかしいと指摘したことを巡って紛糾した問題について、緊急対談が行われた。

村上 チャンプアとは昨年の10月に闘って負けてるからリベンジできる場所を提供してくれた安里昌明師範(真樹道場沖縄支部)に感謝してます。押忍! できればKOしたかったんだけどね。さすがチャンプアも百戦錬磨だよ。打たれ強い。

――今日の試合ではチャンプア選手の蹴りが何度か金的に入っていたようですけど、なんでアピールしなかったんですか。

村上 やっぱりな。男が痛い顔したらダメだろ。蹴られても突っ込んでいかないと。それにオレがあそこで金玉を蹴り返したら選手宣誓が嘘になっちゃうからね(笑)。

真樹 やっぱり正々堂々とやらなきゃな。

村上 だけど、最後の減点で暴れちゃったからな、みんな(笑)。10月の時よりまともに金玉を狙ってたからな。バンバン入ったよ(笑)。

福富 でも痛いものは痛いってアピールしてください。

村上 それは武士道だから出来ねぇよな、やっぱりな(笑)。

福富 でも、アピールしてもらわないと減点も取れないですから。

真樹 だけど、カキダミシって言うのは肝試しってことだろ(笑)。

福富 今日は自分が肝試しでした(笑)。

真樹 そうだろ。怖い思いしたからなぁ(笑)。

福富 今日はレフェリーにとってもカキダミシでした。「オイ! こら、福富!」って添野先生に言われた時は怖かったぁ〜(笑)。

――とは言っても「ジャッジはジャッジですから」って感じでまったく引かなかったですね。

福富 そうじゃなきゃジャッジの意味がないですから。自分の判定については キチンとやったつもりです。ただ、自分もレフェリー一年生ですから本当に勉強になりました。

真樹 チャンプアも金的に蹴りが入ったことは謝ってきたからな。彼だって、ああいう幕切れじゃかわいそうなところはあるな。竜司の武士道だからという気持ちもわかるが、アピールしとけば問題にならなかったんだな。だけど選手に罪はないよな。新しいイベントで不慣れなこともあったけど、みんなよくやったんじゃないか?

――ルッテンとかブランコもきましたからね。

真樹 そうだろ(笑)。次も期待しろよ。な!(聞き手にボディパンチを入れる真樹先生)

――オッ……オス! ありがとうございましたぁ〜〜。

▲緊急対談後は、この笑顔!

真樹日佐夫が語るカキダミシ1総括

カキダミシっていうネーミングがいいよな。まだ空手が手(テイ)って言われてた頃の言葉で“果たし合い”って意味なんだろ。だから、この土地柄に合うし、東洋的でいいんだよな、響きが。お客さんもたくさん入ってたし、盛り上がったしな。カキダミシ2につながるイイ興行だったよ。特に今回一番良かったのはやっぱり竜司だな。男が「金玉蹴られました」ってアピールできないだろ、それは察してやってほしいな。彼は一戦一戦引退をかけて闘ってるからな。メインを張るに足るファイトだったよ。こんなところでいいか? 昼過ぎからまた原稿を書かなくちゃいけねぇんだよ。仕事ばっかりいっぱいあって、ちっとも金になんねぇんだよな(笑)。

ごっつぁん天国

・・・・・・・・・・速報!! 『ごっつぁん天国』イメージ・キャラ、タコヤキ丸くん解任ッ!!・・・・・・・・・・

悩みのタネ!? 読者プレゼント!

【ドリームステージエンターテインメント提供】

桜庭和志応援ハチマキ（サイン入り） ❸名様

「プライド6」で販売された例のハチマキ。次回「プライド7」に巻いて行こう！

【ベースボール・マガジン社提供】

桜庭和志ビデオ『凄技（スゴテク）』 ❷名様

噂の桜庭技術ビデオ。本誌創刊号のインタビューで、キドクラッチをマスターしたいといっていたサクだが、すでにキーロック、監獄固め、テキサス・クローバーホールドはマスターしていた!! 安易にプロレスをナメてるバカに見せたい逸品

魔裟斗Tシャツ（サイズ／L or M or S） ❸名様

7·13後楽園大会より販売された魔裟斗Tシャツ。今やキック界きっての人気者だけにとにかく押さえておきたい！

【全日本キック提供】

カーウソン・グレイシー軍団ロゴステッカー ❸名様

いまや桜庭のおかげで、すっかりヘタレ軍団視されているカーウソン軍団。でもロゴはあいかわらずカッコいいのだ！

【カーウソン親父提供】

カキダミシTシャツ ❷名様

取材に行った中村カタブツ君が、夜の沖縄で炎上したのもすべて『The Kakidamishi 1』を見たせい!? このTシャツに関するお問い合わせは、犬神商会☎098-866-3588まで

【真樹日佐夫先生（ワル）提供】

■応募方法

本ページ右下にある応募券を官製ハガキに貼って、

① 郵便番号・住所・電話番号 ② お名前
③ 年齢・ご職業 ④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事（複数可）
⑥ 今号で面白くなかった記事（複数可）
⑦ あなたが興味のある格闘技ジャンル（複数可）
⑧ あなたはプロレスファンですか？ YES or NO
⑨ あなたが今、一番好きな格闘技グッズ（Tシャツなど）
⑩ 本誌に対するご意見・ご感想を山ほどどうぞ！

を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先は、〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F SRS·DX編集部『ごっつぁん天国③』係 まで

※締め切り…8月14日（土）当日消印有効。

U.F.O. グッズ通信販売

いつ何時、誰の注文でも受けるっ!!

❺オーチャンステッカー

❶オーチャンTシャツA

❷オーチャンTシャツB

❹UFO Tシャツ

❸Mr.ウォーリーTシャツ

7・4「プライド6」でオーちゃんがグッドリッジに激勝してからというもの、爆発的なヒットで、入手困難となっているUFOグッズ。流行に敏感な『SRS・DX』では、このUFOグッズの通信販売をおこなっています。

住所、氏名、電話番号、希望商品（サイズも）を明記したメモを添えて、希望商品の代金と送料（何枚買っても500円）を現金書留で、編集部までお送りください。なお、ステッカーのみの販売はしません（送料を別途いただくのがしのびないので！）。商品は、ご注文をいただいてから3日〜2週間位でお届けします。

❶ オーチャンTシャツA（黒／サイズL・M）
❷ オーチャンTシャツB（ラグラン／サイズL・M・S・XS）
❸ Mr.ウォーリーTシャツ（サイズL・M）
❹ UFO Tシャツ（サイズL・M）
❺ オーチャンステッカー

Tシャツはすべて￥3,500（税込）
ステッカーは￥1,000（税込）

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F SRS・DX編集部『UFOグッズ通販』係まで

異常人気!!

応募券 ごっつぁん天国 第3号

格闘家入場テーマ曲 着メロコレクション vol.3

FIGHTER'S MUSIC on ケータイ

佐竹雅昭

闘志天翔～覇王・佐竹雅昭のテーマ～
(シングルCD/『伊福部昭　特撮映画マーチ集』に収録)

もはや何も言うまい。今回は格闘家のテーマ曲としては最も有名といっていい、佐竹雅昭の『闘志天翔』の登場だ。この曲は、特撮・怪獣映画好きの佐竹が以前から入場時に使用していたゴジラ映画の音楽『怪獣大戦争マーチ』を、作曲者の伊福部昭氏（映画音楽、というより日本音楽界の重鎮）が自ら佐竹のために編曲し直したもの。発表時には映画専門誌でも絶賛された、一度聴いたら忘れられない名曲だ。

対応機種タイプ

Type. 1
DoCoMo／P206、P205
J-PHONE／DP145
IDO／521G、521GII
Tu-Ka／TH081
デジタルツーカー／P3
セルラー／HD60P、HD61P

Type. 2
DoCoMo／P207、P157、P601ev
J-PHONE／J-P01　IDO／531G
Tu-Ka／TH091
デジタルツーカー／P4　セルラー／D101P

Type. 3
DoCoMo／D207、D207S
J-PHONE／J-D01
Tu-Ka／TH48s、TH241、TH243
デジタルツーカー／D4

Type. 4
IDO／529G、526G
Tu-Ka／TH181、TH18K、TH18S
セルラー／HD60K、HD61K、D201K、D202K

『闘志天翔』作・編曲：伊福部昭
●日本音楽著作権協会（出）許諾第9908799-901号

TYPE 1

1 1 1 2 2 2 3 3 4 4 4 3
3 0 5 5 5 0 2 2 2 0 5 5
5 0 1 1 1 2 2 2 3 3 4 4
4 3 3 0 3 3 2 2 2 1 1 1
0 7 0 6 0 6 5 5

TYPE 3

1 9 1 2(×2) 3(×2) 4(×2) 3(×4) 5(×4) 2(×4) 5(×4) 1(×2) 2(×2)
3(×2) 4(×2) 3(×4) ▶ 3(×2) 2(×2) 1(×4) 7 9(×2) 7(×3) 6(×4) ▶
6(×2) 5 8 5 6 8 6(×3) 7(×4) 1 9 1 2(×2)
3(×2) 7 9(×2) 7 1 9 1(×3) 7 9(×2) 7(×3) 6(×4) ▶
6(×2) 5 8 5 6 8 6(×3) 7(×4) 1 9 1 7
9(×2) 7 6(×4)

TYPE 2

1(×5) * 2(×5) * 3(×3) * 4(×5) * 3(×3) 5(×5) 2(×5) 5(×5)
1(×5) * 2(×5) * 3(×3) * 4(×5) * 3(×3) ▶ 3(×3) *
2(×5) * 1(×5) 7 6 ▶ 6 * 5(×2) * 6 7
1(×5) * 2(×5) * 3(×3) * 7 * 1(×5) 7 6 ▶
6 * 5(×2) * 6 7 1(×5) * 7 * 6

TYPE 4

↑(×14) # ↑(×16) # ↑(×18) # ↑(×19) # ↑(×18) 0 # ↑(×21)
0 # ↑(×16) 0 # ↑(×21) 0 # ↑(×14) # ↑(×16) #
↑(×18) # ↑(×19) # ↑(×18) 0 # ↑(×18) # ↑(×16) # ↑(×14)
0 # ↑(×13) 0 # ↑(×11) 0 # ↑(×11) # ↑(×10) #
↑(×11) 0 # ↑(×13) 0 # ↑(×14) # ↑(×16) # ↑(×18) #
↑(×13) # ↑(×14) 0 # ↑(×13) 0 # ↑(×11) 0

OTHERS

Type. 1～4までの機種以外を使っている方は、この表を元に、それぞれの機種に応じて入力してください。表の見方は次の通りです。
ド↑…1オクターブ上げる
ド#…半音上げる
□…休符
また、音符・休符の横の数字は音の長さを表し、十六分音符を1として八分音符＝2、四分音符＝4と増えていきます。

ド↑2　レ↑2　ミ↑2　ファ↑2　ミ↑4
ソ↑4　レ↑4　ソ↑4　ド↑2　レ↑2
ミ↑2　ファ↑2　ミ↑4　ミ↑2　レ↑2
ド↑4　シ4　ラ4　ラ2　ソ#2　ラ4
シ4　ド↑2　レ↑2　ミ↑2　シ2　ド↑4
シ4　ラ4　ラ2　ソ#2　ラ4　シ4　ド↑2
シ2　ラ4

リクエスト受付中！

このコーナーでは、「この選手のテーマ曲を着メロにしてほしい！」という読者のみなさんからのリクエストを受付中です。希望する選手とテーマ曲、住所、名前、電話番号を明記の上、

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『着メロ』係

まで、どしどしご応募ください。人気の高い曲は、どんどん紹介していく予定です。

SRSDX 8・12 創刊第3号
7・18 K-1DREAM'99 名古屋大会速報
7・10 掣圏道プロ興業[アンリミテッド]旗揚げ

1999年8月12日発行(毎月第2・第4木曜日 発行) 第1巻・第3号・通算3号
編集人・谷川貞治 発行人・柳沢忠之 発行所・(株)フジテレビ出版/(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F 電話/03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円 本体648円

雑誌 21582-8/12 T1121582080682 Printed in Japan